

令和7（2025）年度 第1学年 シラバス目次

シラバスの活用方法	2
歯科衛生学科授業科目一覧	4
教育の理念等	5
年間教務予定表	6
授業時間表	7
【前学期】	
英語 I	8
生物学	11
接遇・コミュニケーション技法	14
国語表現	17
情報リテラシー	20
人体の構造と機能 I	23
人体の構造と機能 II	26
口腔解剖学実習	29
口腔の構造と機能 I	33
公衆衛生学	36
歯科衛生士概論（含医療倫理）	39
キャリア教育 I	41
早期体験演習	43
歯科予防処置論	45
歯科予防処置演習 I	49
歯科保健指導論 I	51
歯科診療補助論	55
歯科材料学	57
歯科診療補助演習 I	60
【後学期】	
英語 II	62
口腔の構造と機能 II	65
病理学	68
微生物学	71
薬理学	74
口腔衛生学・衛生統計学	78
衛生行政・社会福祉	82
総合講義 I（専門基礎分野）	85
臨床歯科医学 I 総論 A（歯科放射線学）	87
臨床歯科医学 II 基礎（歯科保存学・歯周治療学）	89
歯科予防処置演習 II	93
歯科保健指導論 II（生化学・栄養・食生活）	97
歯科保健指導演習 I	101
歯科診療補助演習 II	105
総合講義 I（専門分野）	108

シラバスの活用方法

本シラバスは毎日必ず携行し、授業の前後に記載内容を確認しながら、能動的に学習を進めてください。

各授業科目における記載項目、内容およびそれらの活用方法は以下の通りです。

【記載項目】

◆授業形態

講義・演習・実習

◆授業責任者

授業科目の責任者（◎印は実務経験のある教員）

◆学期

前期・後期・通年

◆授業概要

授業の概要を記載しています。初回の授業前には必ず確認しましょう。

◆一般目標（General Instructional Objective:GIO）

学習することにより得られる成果を総合的に示したもので、授業科目を終了した時点で達成されるべき目標です。

◆学習成果

授業を通して得られる成果が、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーのどの部分に該当するのかを記載しています。

◆教科書・参考書

授業において使用する教科書・参考書および教員推薦の図書などを記載しています。授業中だけでなく予習・復習などの自己学習を充実するために、教科書だけでなく、参考書も積極的に利用しましょう。

◆アクティブラーニング

学生の能動的な学修への参加を取り入れた学習法の総称。

PBL（Project Based Learning）：テーマに沿ったプロジェクト又は特定の問題を提示し、それらの問題解決を通して、様々な知識・スキルを学ばせる方法。

ディベート：明確なルールに基づいて、肯定派と否定派に分かれて議論する方法。

ディスカッション：決められたテーマに対して自由に意見を交わす方法。

フィールドワーク：学内外のフィールドに赴き、調査や観察を通して情報収集を行う方法。（学外施設等の見学を含む。）

プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で発表を行う方法。

◆成績評価の方法

各授業科目における評価方法を記載しています。

複数の評価方法がある場合には、比率を明示していますので予め確認しておきましょう。

目標への到達度は、知識については定期試験における論述試験や客観試験で、臨床実習・臨地実習については、学習の成果を評価します。

◆オフィスアワー

授業科目責任者や授業担当者の連絡方法を記載しています。

授業内容に関する質問や学習方法に関する相談などを行う際に利用してください。

◆授業担当者

授業日ごとの授業担当者を記載しています。(◎印は実務経験のある教員)

◆授業内容

授業のテーマ、授業の内容を記載しています。

◆行動目標 (Specific Behavioral Objectives:SBOs)

SBOsはGIOを達成するために必要な具体的・観察可能な行動を示しています。授業の進行に応じて到達度を確認するときに利用しましょう。

講義科目については、試験前にも必ず確認してみましょう。

◆準備学習（予習・復習）

1単位は45時間の学習に相当します。

講義の場合は、受講15時間と予習・復習30時間、演習の場合は、受講30時間と予習・復習15時間、実習の場合は、受講45時間となっています。

本欄に記載されている担当教員からの指示にしたがって、予習・復習を実施しましょう。

◆単位数

各授業科目の単位数は、次の基準により計算しています。ただし、1時間は40分としています。

①講義については、15時間の授業をもって1単位とします。

②演習（語学を含む）については、30時間の授業をもって1単位とします。

③実習については、45時間の授業をもって1単位とします。

④教育上必要があるときは、講義及び演習については15時間～30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって、実験・実習及び実技については30時間～45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって、それぞれ1単位とすることがあります。

歯科衛生学科授業科目一覧（新カリキュラム：R5.4.1 以降入学者対象）

科目名		単位数
基礎分野		
1	英語 I	演 2
2	英語 II	演 2
3	生物学	講 1
4	接遇・コミュニケーション技法	演 1
5	国語表現	講 2
6	医療心理学	講 2
7	情報リテラシー	演 1
小計		11
専門基礎分野		
8	人体の構造と機能 I	講 2
9	人体の構造と機能 II	講 2
10	口腔解剖学実習	実 1
11	口腔の構造と機能 I	講 2
12	口腔の構造と機能 II	講 2
13	病理学	講 1
14	口腔病理学	講 1
15	微生物学	講 2
16	薬理学	講 2
17	口腔衛生学・衛生統計学	講 2
18	公衆衛生学	講 2
19	衛生行政・社会福祉	講 2
20	リハビリテーション論	講 1
21	総合講義 I (専門基礎分野)	講 1
22	総合講義 II (専門基礎分野)	講 1
23	総合講義 III (専門基礎分野)	講 1
24	総合講義 IV (専門基礎分野)	講 1
小計		26
専門分野		
25	歯科衛生士概論 (含医療倫理)	講 1
26	キャリア教育 I	講 0.5
27	キャリア教育 II	講 0.5
28	臨床歯科医学 I 総論 A(歯科放射線学)	講 0.5
29	臨床歯科医学 I 総論 B(臨床検査学)	講 0.5
30	臨床歯科医学 II 基礎(歯科保存学・歯周治療学)	講 1
31	臨床歯科医学 II 応用(歯科保存学・歯周治療学)	講 1
32	臨床歯科医学 III(歯科補綴学)	演 1
33	臨床歯科医学 IV(口腔外科学・歯科麻酔学)	演 1
34	臨床歯科医学 V(矯正歯科学)	演 1
35	臨床歯科医学 VI(小児歯科学)	演 1
36	臨床歯科医学 VII(高齢者歯科学)	演 0.5

科目名		単位数
37	臨床歯科医学 VIII(障害者歯科学)	演 0.5
38	早期体験演習	演 1
39	歯科予防処置論	講 2
40	歯科予防処置演習 I	演 1
41	歯科予防処置演習 II	演 2
42	歯科予防処置演習 III	演 2
43	歯科予防処置演習 IV	演 1
44	歯科保健指導論 I	講 2
45	歯科保健指導論 II	講 2
46	歯科保健指導演習 I	演 1
47	歯科保健指導演習 II	演 1
48	歯科保健指導演習 III	演 1
49	歯科衛生過程論 I	講 1
50	歯科衛生過程論 II	講 1
51	歯科診療補助論	講 1
52	歯科材料学	講 1
53	歯科診療補助演習 I	演 1
54	歯科診療補助演習 II	演 2
55	歯科診療補助演習 III	演 2
56	歯科診療補助演習 IV	演 1
57	看護学概論	講 1
58	病院実習・臨地実習 I	実 10
59	病院実習・臨地実習 II	実 10
60	総合講義 I (専門分野)	講 1
61	総合講義 II (専門分野)	講 1
62	総合講義 III (専門分野)	講 1
63	総合講義 IV (専門分野)	講 1
小計		61
選択必修分野		
64	専門歯科治療概論	講 2
65	健康文化論	講 1
66	プレゼンテーション技能	講 2
67	手話	講 2
68	医療保険事務 I	講 1.5
69	医療保険事務 II	講 1.5
70	ケアコミュニケーション技法 I	講 1.5
71	ケアコミュニケーション技法 II	講 1.5
72	歯科衛生研究概論	講 2
小計		15
合計		113

教育の理念等

教育の理念

本学学則には、「その目的を「本学は、学校教育法の精神に基づき、歯科衛生及び歯科技工に関する専門の知識と技術を教授研究し、高度な歯科衛生士及び歯科技工士の育成を図ることを目的とする」と規定している。この目的を体して、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識と技術と倫理観、すなわち学・術・道を兼ね備えた歯科衛生士、歯科技工士を養成する。」

教育の目的

教育の理念を具現するために、一般教養と基礎医学及び臨床に関する最新の講義と実習を行い修得させる。これにより、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識と技術と倫理観、すなわち学・術・道を兼ね備えた歯科衛生士、歯科技工士を養成し口腔保健衛生、歯科技工の向上に寄与し、保健・医療・福祉に貢献することを目的とする。

教育の目標

1. 地域医療に貢献できる歯科衛生士を育成する。
2. 健康増進と疾病の予防に貢献できる歯科衛生士を育成する。
3. 自らの健康を守り、豊かな人間性を持った歯科衛生士を育成する。
4. 幅広い教養と倫理観を持った歯科衛生士を育成する。
5. 社会のニーズに対応し、自己研鑽できる歯科衛生士を育成する。
6. 多職種の中での役割を理解し、協働連携できる歯科衛生士を育成する。
7. 問題を発見し解決する能力を持った歯科衛生士を育成する。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得することにより、短期大学士の学位が与えられるとともに、歯科衛生士国家試験受験資格を取得できます。

1. 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
2. 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
3. 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
4. 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
5. 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学は、教育の理念に基づいた人材育成のために、教養科目および専門基礎・臨床の均整のとれた科目を構築し、以下の方針で教育を行います。

1. 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
2. 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
3. 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
4. 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
5. 国家資格取得を支援するための教育を行う。

令和7年度 歯科衛生学科 年間教務予定表

月	日	曜	事 項
4	1	火	春期休業 2年・3年 (~3日(木))
	3	木	入学式
	4	金	1年オリエンテーション (~7日(月)2日間) 2年・3年オリエンテーション
	7	月	2年・3年前学期授業開始
	8	火	1年前学期授業開始 3年実力判定試験①
	26	土	クラブ活動週間 (~5月6日(火)まで休講)
5	21	水	学生交流会(休講)
6	1	日	創立記念日
中旬			定期健康診断
	22	日	浜浦祭(学生会主催)
7	22	火	2年OSCE
	23	水	2年実力判定試験①
	24	木	2年夏期休業開始(8月31日(日)まで)
	25	金	1年夏期休業開始(8月31日(日)まで)
8	1	金	3年夏期休業開始 (~31日(日), 成績下位者補講)
9	1	月	1年・2年・3年前学期授業再開
	8	月	1年前学期授業終了
	10	水	1年前学期定期試験開始 2年前学期授業終了
	11	木	2年前学期定期試験開始
	16	火	3年実力判定試験②
下旬			2年登院前特別実習(~30日(月)) 1年・2年後学期オリエンテーション
10	1	水	1年後学期授業開始 2年登院式・登院オリエンテーション
	2	木	3年秋期休業開始 (~7日(火), 成績下位者補講)
	8	水	2年病院実習開始(登院)
	8	水	3年後学期授業開始
11			
12	3	水	3年総合試験①
	16	火	2年実力判定試験②
	24	水	1年冬期休業開始 (~1月12日(月)) 3年冬期休業開始 (~1月6日(火), 成績下位者補講)
	27	土	2年冬期休業開始 (~1月4日(日))
1	5	月	2年後学期授業再開
	7	水	3年総合試験②
	13	火	1年後学期授業再開
2	5	木	1年後学期授業終了
	6	金	3年卒業試験
	24	火	1年後学期定期試験開始
	25	水	2年総合試験
3	上旬		3年総合試験
	中旬		第35回歯科衛生士国家試験 第41回卒業式

※第1学年…7月24日(木), 10月14日(火), 11月5日(水), 11月27日(木)は月曜授業

新潟短期大学 歯科衛生学科
令和7（2025）年度 第1学年 授業時間表

	1限	2限	3限	4限	5限	
	9:00~10:20	10:40~12:00	13:00~14:20	14:40~16:00	16:20~17:40	
月	情報リテラシー	接遇・コミュニケーション技法	歯科衛生士概論 (医療倫理含む)	早期体験実習	基礎学習	
			早期体験実習			
火	国語表現	人体の構造と機能Ⅰ (解剖学)	公衆衛生学	歯科保健指導論Ⅰ	基礎学習	
水	生物学	人体の構造と機能Ⅱ (組織学・生理学)	口腔解剖学実習		基礎学習	
	基礎学習					
木	英語Ⅰ	口腔の構造と機能Ⅰ (口腔解剖学)	歯科材料学	基礎学習	基礎学習	
			キャリア教育Ⅰ			
金	歯科予防処置論		歯科診療補助論	基礎学習	基礎学習	
	歯科予防処置演習Ⅰ		歯科診療補助演習Ⅰ			

	1限	2限	3限	4限	5限	
	9:00~10:20	10:40~12:00	13:00~14:20	14:40~16:00	16:20~17:40	
月	キャリア教育Ⅰ	口腔の構造と機能Ⅱ (口腔組織学・口腔生理学)	歯科保健指導論Ⅱ (栄養・食生活・生化学)	臨床歯科医学Ⅰ総論A (歯科放射線学)	基礎学習	
				基礎学習		
火	英語Ⅱ	口腔衛生学・衛生統計学	微生物学	病理学	基礎学習	
				基礎学習		
水	基礎学習		衛生行政・社会福祉	総合講義Ⅰ (専門基礎分野・専門分野) 地域包括ケア学	基礎学習	
木	歯科保健指導演習Ⅰ		歯科診療補助演習Ⅱ		基礎学習	
金	薬理学	臨床歯科医学Ⅱ基礎 (歯科保存学・歯周治療学)	歯科予防処置演習Ⅱ		基礎学習	

授業科目名	英語 I			授業形態	演習			
授業責任者	木村富士枝		学年	学期	曜日	授業時間		
			第1学年	前期	木曜日	9:00~10:20		
授業概要								
外国语を学ぶことは教養を身につけるという意味ではもちろん、特に医療を志す者にとって、第1には外国語の良い教科書、文献を読むため、第2には外国語で知識や情報を交換するために必要なことである。本講義では健康・医療に関する英文と、歯科医院での実用的な英会話を通じて英語の基礎を修得する。								
一般目標(GIO)								
「読む」「聞く」「話す」「書く」に関する基本的知識と技能を修得し、英語の基礎力を身につける。								
学習成果(ディプロマ・ポリシー)								
<input type="checkbox"/>	①	地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。						
<input type="checkbox"/>	②	豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。						
<input type="checkbox"/>	③	歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。						
<input type="checkbox"/>	④	歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。						
<input type="checkbox"/>	⑤	長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。						
学習成果(カリキュラム・ポリシー)								
<input type="checkbox"/>	①	全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	②	豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	③	協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。						
<input type="checkbox"/>	④	専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	⑤	国家資格取得を支援するための教育を行う。						
教科書								
歯科医院での実用英会話(医歯薬出版) Quality of Life(南雲堂)								
参考書								
辞書持参(種類は問わない)								
アクティブラーニング(複数選択可)								
<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	ディベート	<input type="checkbox"/>	ディスカッション			
<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション					
<input type="checkbox"/>	その他()							
成績評価の方法と割合								
<input type="checkbox"/>	定期試験(40 %)	<input type="checkbox"/>	提出物(ノート・レポート)(30 %)					
<input type="checkbox"/>	ポートフォリオ(%)	<input type="checkbox"/>	成果発表(口頭・実技)(30 %)					
<input type="checkbox"/>	その他()(%)							
テキスト・授業内容に関する筆記試験(40%)、Unit 毎のレポート提出(30%)、会話テキスト内容に関する口頭試験(30%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。								
オフィスアワー								
授業終了後 課題提出・質問等はメールにて(メールアドレスは授業中に提示する)								

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	木村 富士枝	始めに 学習の方法	テキスト各章のタイトルを理解する。
	準備学習	シラバスを熟読し、質問等をまとめておく。	
第2回	木村 富士枝	Handling Calls at Reception (1) Quality of Life Unit 1 (1)	1. 病院受付での電話応対について、基本的な表現を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第3回	木村 富士枝	Handling Calls at Reception (2) Quality of Life Unit 1 (2)	1. 病院受付での電話応対を聞き、内容を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-3
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第4回	木村 富士枝	Handling Calls at Reception (3) Quality of Life Unit 1 (3)	1. 病院受付での電話応対について、基本的な表現を列記できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第5回	木村 富士枝	Service at Reception (1) Quality of Life Unit 2 (1)	1. 病院受付での初診応対について、基本的な表現を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-3
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第6回	木村 富士枝	Service at Reception (2) Quality of Life Unit 2 (2)	1. 病院受付での初診応対を聞き、内容を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-3
	準備学習		
第7回	木村 富士枝	Caring for the Patient (1) Quality of Life Unit 2 (3)	1. 病院受付での初診応対について、表現を列記できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第8回	木村 富士枝	Caring for the Patient (2) Quality of Life Unit 3 (1)	1. 病院受付での初診応対について、表現を列記できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-3
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第9回	木村 富士枝	Consultation (1) Quality of Life Unit 3 (2)	1. 問診に関する基本的な表現を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第10回	木村 富士枝	Consultation (2) Quality of Life Unit 3 (3)	1. 問診に関する対話を聞き、内容を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-3
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第11回	木村 富士枝	Consultation (3) Quality of Life Unit 4 (1)	1. 問診に関する基本的な表現を列記できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	

第12回	木村 富士枝	Consultation (4) Quality of Life Unit 4 (2)	1. 問診に関する基本的な表現を列記できる。2. Quality of Life (QOL) に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第13回	木村 富士枝	In the X-ray Room Quality of Life Unit 4 (3)	1. レントゲン室での応対に関する基本的な表現を理解できる。2. Quality of Life (QOL) に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第14回	木村 富士枝	Payment and Next Appointment (1) Quality of Life Unit 1-4まとめ (1)	1. 支払い・予約に関する基本的な表現を理解できる。2. Quality of Life (QOL) に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第15回	木村 富士枝	Payment and Next Appointment (2) Quality of Life Unit 1-4まとめ (2)	1. 支払い・予約に関する基本的な表現を列記できる。2. Quality of Life (QOL) に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-3
	準備学習	試験範囲を復習しておく	

授業科目名				授業形態			
生物学			講義				
授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間			
今井 あかね	第1学年	前期	水曜日	9:00～10:20			
授業概要							
本講義では、生命の最小単位である細胞を中心として、生命の根本原理、生命を担う機構、生命の起源や連続性について学ぶ。さらに細胞の集合体である組織や器官についての概要と生体の機能調節機構を理解して、専門基礎科目の土台となる知識を修得する。生物学全般のみならず一つの生命体としての人体に関する理解を深める。							
一般目標(GLO)							
生命現象の特質、細胞の微細構造と機能、生命の起源と連続性および生物界の多様性を理解するために、自然科学的生命観を養い、専門教科の学習に対応できる生命科学の基礎概念を身につける。							
学習成果(ディプロマ・ポリシー)							
<input type="checkbox"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。 <input type="radio"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 <input type="checkbox"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。 <input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。							
学習成果(カリキュラム・ポリシー)							
<input type="radio"/> ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。 <input type="radio"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。 <input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。 <input type="checkbox"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。 <input type="radio"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。							
教科書							
【歯科衛生学シリーズ】生物学（医歯薬出版）							
参考書							
高等学校の生物の教科書 【歯科衛生学シリーズ】人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学（医歯薬出版） 【歯科衛生学シリーズ】人体の構造と機能2 生化学・口腔生化学（医歯薬出版）							
アクティブラーニング(複数選択可)							
<input type="checkbox"/> PBL		<input type="checkbox"/> ディベート		<input type="checkbox"/> ディスカッション			
<input type="checkbox"/> フィールドワーク		<input type="checkbox"/> プレゼンテーション					
<input type="radio"/> その他（練習問題プリント）							
成績評価の方法と割合							
<input type="radio"/> 定期試験（100%）		<input type="checkbox"/> 提出物（ノート・レポート）（ %）					
<input type="checkbox"/> ポートフォリオ（ %）		<input type="checkbox"/> 成果発表（口頭・実技）（ %）					
<input type="checkbox"/> その他（ ）（ %）							
一般目標で示した項目についての多選肢形式(80%)および記述式(20%)筆記試験により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。							
オフィスアワー							
毎日 16:00～18:30 ・ 短期大学教授室（2号館3階・在室時） E-mail: imaiak@ngt.ndu.ac.jp							

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第 1 回	今井 あかね	はじめに 生命について 組織と細胞（1）	1. 生命の尊厳について説明する。 2. 生物と生命の概念を述べる。 3. 生物种の進化の過程を概説する。 4. 生命を構成する物質を具体的に述べる。 5. アミノ酸の分子構造とペプチド結合を説明する。 6. タンパク質の一次構造と高次構造を区別して述べる。 基礎 A-1-4)、A-1-5) -①、B-1-①、専門基礎 A-2-1) ①②
	準備学習	・教科書 1～19 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第 2 回	今井 あかね	組織と細胞（2）	1. 生命の単位が細胞であることを説明する。 2. 真核細胞と原核細胞の特徴を説明する。 3. 細胞内小器官とその働きを具体的に述べる。 4. 酵素の構造、機能および代謝調節を説明する。 5. 細胞呼吸とエネルギー産生を説明する。 基礎 A-1-1) -①②、A-1-2) -①②、A-1-5) -⑤、 専門基礎 A-1-2) -①、A-2-1) -①
	準備学習	・教科書 20～35 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第 3 回	今井 あかね	組織と細胞（3）	1. 細胞分裂と細胞周期を説明する。 2. ネクローシスとアポトーシスの違いを説明する。 3. 細胞を分類して、上皮組織の特徴を述べる。 4. 外分泌腺と内分泌腺の相違を述べる。 5. 組合組織、筋組織および神経組織の概要を述べる。 6. 消化器官系の基本構造と機能を述べる。 7. 循環器官系・呼吸器官系・泌尿器官系の概要を説明する。 基礎 A-1-1) -③、専門基礎 A-1-2) -②～⑥⑨⑩、 A-1-4) - (1) -②⑥、- (2) -①、- (6) -①、- (7) - ①、C-1-1) -②
	準備学習	・教科書 36～47 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第 4 回	今井 あかね	生命の連続（1）	1. 遺伝子と染色体の構造を説明する。 2. 減数分裂における染色体の挙動を説明する。 3. 遺伝の法則について説明する。 4. 伴性遺伝を説明する。 5. 遺伝子と遺伝情報について述べる。 基礎 A-1-3) -①②⑤⑥、専門基礎 A-1-3) -①
	準備学習	・教科書 50～68 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第 5 回	今井 あかね	生命の連続（2）	1. DNA の化学的性質を述べる。 2. 遺伝子暗号について説明する。 3. 転写と翻訳について説明する。 4. セントラルドグマの概念を説明する。 5. 受精と受精卵の特徴を説明する。 6. 胚葉の形成について説明する。 7. 三胚葉から形成される組織と器官を説明する。 基礎 A-1-3) -③④、A-1-5) -④、専門基礎 A-1-3) -①②③
	準備学習	・教科書 55～72 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第 6 回	今井 あかね	環境と動物の反応（1）	1. ヒトの感覚器の種類と仕組みを説明する。 2. 神経系による刺激の伝達について述べる。 3. 中枢神経系と末梢神経系について説明する。 専門基礎 A-1-4) - (4)、- (5) -②
	準備学習	・教科書 74～83 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	

第7回	今井 あかね	環境と動物の反応（2）	1. ホメオシタシスについて説明する。 2. 体液および血液の成分と役割を述べる。 3. ホルモンの種類と役割について述べる。 4. ヒトの免疫系のしくみと応用について説明する。 専門基礎A-1-4) - (8)、A-2-6) -①②、C-2-2) -②
	準備学習	・教科書84～96 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第8回	今井 あかね	環境と動物の反応（3）まとめ	1. 生得的および修得的行動について述べる。 2. 人類の誕生と進化について述べる。 3. 地球環境の問題点について述べる。 専門基礎D-1-4) -①～④
	準備学習	・教科書97～105 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第9回	今井 あかね	本試験	
	準備学習	第1～8回までの授業内容について試験勉強をする。	

授業科目名

接遇・コミュニケーション技法

授業形態

演習

授業責任者

宮崎 晶子	学年 第1学年	学期 前期	曜日 月曜日
-------	------------	----------	-----------

授業時間

10:40~12:00

授業概要

仕事をしていく上で必要なものが、コミュニケーション能力です。「話す力」「聞く力」の二本柱を総合的に学ぶことで、より効果的に、そしてより的確に意見を伝えられるコミュニケーション技法を学びましょう。様々な状況を設定した演習を行い、「話し方」や「聞き方」についての技術を磨きましょう。

一般目標(GIO)

歯科衛生士業務を円滑に行うための基本となる「話す」、「聞く」技術を身につけ、良好なコミュニケーションをとることができるスキルを修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

コミュニケーション技法(ウェブ版)
コミュニケーション検定初級過去問題集(ウェブ版)

参考書

患者さんを迎えてから見送るまで 普原徹著(HYORON)

アクティブラーニング(複数選択可)

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他()

成績評価の方法と割合

- 定期試験(100 %) 提出物(ノート・レポート)(%)
- ポートフォリオ(%) 成果発表(口頭・実技)(%)
- その他()(%)

サーティファイ コミュニケーション能力検定委員会が行う初級コミュニケーション検定試験により評価を行う(多肢選択方式)。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

月～金曜日・9:00～18:00・3号館2階教授室 ※授業終了後またはメールで連絡でも可(akjo@ngt.ndu.ac.jp)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	宮崎 晶子	コミュニケーションとは ・効果的な自己紹介 ・定義	1.行動と感情・思考およびパーソナリティとの関係を概説できる。 基礎B-5-①
	準備学習	テキスト序章（6～14）の要点確認	
第2回	宮崎 晶子	コミュニケーションの基本 (1) 話し方と人間関係	1.集団における人間関係を概説できる。基礎B-5-⑬
	準備学習	テキスト第1章（16～21）の要点確認	
第3回	宮崎 晶子	コミュニケーションの基本 (2) 挨拶と返事	1.文化や慣習によるコミュニケーション方法を列挙することができる。 基礎B-5-⑨
	準備学習	テキスト第1章（22～36）の要点確認	
第4回	宮崎 晶子	きれいな発声・発音を身につけよう	1.腹式呼吸、母音の練習、滑舌の練習をしながら発音・発声をはっきりおこなうことができる。 基礎B-5-⑩
	準備学習	テキスト第2章（38～46）の要点確認	
第5回	宮崎 晶子	正しい日本語（1） 書き言葉と話し言葉	1.話す言葉と書き言葉の違いを説明できる。 基礎B-5-⑧⑨⑩
	準備学習	テキスト第3章（48～68）の要点確認	
第6回	宮崎 晶子	正しい日本語（2） 敬語	1.尊敬語と謙譲語、丁寧語の違いを理解し、話すことができる。 基礎B-5-⑨⑩⑪
	準備学習	テキスト第3章（48～68）の要点確認	
第7回	宮崎 晶子	話すときの心構え（1） プレゼンテーション	1.自分の話し方をチェックしながら現状のコミュニケーション能力を確認する。基礎B-5-⑧⑩
	準備学習	テキスト第4章（70～80）の要点確認	
第8回	宮崎 晶子	話すときの心構え（2） 準備と内容の組み立て	1.聞き手を意識をしながら、伝えたい事項を述べることができる。基礎B-5-⑧⑩
	準備学習	テキスト第4章（70～80）の要点確認	
第9回	宮崎 晶子	効果的な話し方 ・整理と工夫	1.効果的に聞き手に伝えるために、5W2HやAIDMAの法則を使いながら話すことができる。 基礎B-5-⑧⑩⑪
	準備学習	テキスト第5章（82～88）の要点確認	
第10回	宮崎 晶子	効果的な表現力 ・表現力を高める技法	1.言語コミュニケーションと非言語的コミュニケーションを用いて、意思伝達をすることができる。 基礎B-5-⑧⑨⑩⑪
	準備学習	テキスト第6章（100～120）の要点確認	
第11回	宮崎 晶子	聞くことの重要性 ・聞く、聴く、訊く ・聞く態度を身につける	1.聞くことの重要性を述べることができる。 基礎B-5-⑧⑨⑩⑪
	準備学習	テキスト第二部第1章（122～142）の要点確認	

第12回	宮崎 晶子	各種コミュニケーションと場面のポイント ・報告・説得・交渉 ・ディベート	1.Time、Place、Occasion（時、場所、場合に応じて）、対象に合わせて話し方を使い分けすることができる。 基礎B-5-⑩
	準備学習	テキスト第二部第2章（144～157）の要点確認	
第13回	宮崎 晶子	検定対策（1）	1. コミュニケーション初級検定試験対策として、練習問題を解く。
	準備学習	問題集（2～34）の要点確認	
第14回	宮崎 晶子	検定対策（2）	1. コミュニケーション初級検定試験対策として、練習問題を解く。
	準備学習	問題集（36～82）の要点確認	
第15回	宮崎 晶子	総括 ・自己分析 ・人間関係の構築	1. 良好な人間関係構築のための基本スキルを修得する。 基礎B-5-①⑧～⑪⑬
	準備学習	自分のわからないところを振り返る。	

授業科目名	国語表現			授業形態	演習							
授業責任者	木林理恵			学年	第1学年	学期	前期	曜日	火曜日	授業時間	9:00～10:20	
授業概要 言語(文章、会話)を媒介とするコミュニケーションにおいて、適切な情報の理解や伝達と、関係性の構築に必要となる言語表現を身につける。とくに、将来の職場現場における言語活動を良好に行っていくための知識の習得と言語表現の実践的活動を行う。												
一般目標(GLO) 他者との良好な人間関係を構築し社会活動を行うために、「読む」「書く」「話す・聞く」の言語活動を支える言語表現、及び、言語運用に関する知識と俯瞰的な視点を修得する。また、言語コミュニケーションという点から、自分の得意・不得手に気づく。												
学習成果(ディプロマ・ポリシー)												
<input type="checkbox"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。 <input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 <input type="checkbox"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。 <input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。												
学習成果(カリキュラム・ポリシー)												
<input type="checkbox"/> ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。 <input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。 <input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。 <input type="checkbox"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。 <input type="checkbox"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。												
教科書												
毎回プリントを配布し使用する。												
参考書												
三森ゆりか『大学生・社会人のための言語技術トレーニング』大修館書店 田中真理・阿部新『Good Writingへのパスポート—読み手と構成を意識した日本語ライティング』くろしお出版												
アクティブラーニング(複数選択可)												
<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> ディベート <input type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他(グループワーク)												
成績評価の方法と割合												
<input type="checkbox"/> 定期試験(%) <input type="checkbox"/> 提出物(ノート・レポート)(70 %) <input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%) <input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%) <input type="checkbox"/> その他(期末課題)(30 %)												
授業期間中の課題(70%)、期末課題(30%)である。指定された課題は、次回の授業で必要なものなので、期日までに提出すること。												
オフィスアワー												
相談等は授業後に可能です。事前にメールで知らせてもらえるとスムーズです。(r-kibayashi@keiwa-c.ac.jp)												

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	木林 理恵	対話：①論理的な発話について考える。②事実と意見を区別する。	1.説明等の不十分な点に気づき、指摘する。 2.論理的、建設的に対話する方法を理解する。
	準備学習	なし	
第2回	木林 理恵	日常会話の展開	1.日常会話の特徴を理解する。 2.発話には人を動かす力があることを理解する。 3.聞き手としての振舞い方を理解する。
	準備学習	第1回の課題を提出する（第2回で解説を行うため）	
第3回	木林 理恵	ボライトネス理論と円滑なコミュニケーション	「敬語」といった言語形式だけでなく、行動の面からも、日本語における円滑なコミュニケーション方法を理解する。
	準備学習	①事前配付資料を読む。②第2回の授業の振り返りを提出する	
第4回	木林 理恵	物語の分析	1.文章作成にも役立つ「物語の構造」を把握する。 2.「物語の構造」から離脱することで生まれる効果を理解する。
	準備学習	第3回の授業の振り返りを提出する	
第5回	木林 理恵	物語の分析（続き）文の基本	1.あいまいさのない、明快な文を書くポイントを理解する。 2.文の観点から日本語の特徴をつかむ。
	準備学習	第4回の課題を提出する（第5回で共有とフィードバックを行うため）	
第6回	木林 理恵	要約	1.文章の要点を把握する。 2.パラフレーズのための語彙や方法を理解する。
	準備学習	第5回の課題を提出する（第6回でフィードバックを行うため）	
第7回	木林 理恵	文章の種類と目的／パラグラフ・ライティング	1.説明文の種類や目的に合わせて文章のモードやタイプが異なることを理解する。 2.パラグラフ・ライティングの方法を理解する。
	準備学習	第6回の課題を提出する（第7回でフィードバックを行うため）	
第8回	木林 理恵	文章のモード①ナラティブ（報告文）	1.時間軸に沿った説明文の構造を理解する。 2.時間軸に沿った説明文を作成する。
	準備学習	第7回の課題を提出する（第8回でフィードバックを行うため）	
第9回	木林 理恵	文章のモード②描写	1.空間配置を説明する文章の構造を理解する。 2.空間配置を説明する文章を作成する。
	準備学習	期日までに報告文を提出する（第9回でフィードバックを行うため）	
第10回	木林 理恵	創作ワークショップ	1.自分が持つ固定概念と、そうではない部分に気づく。 2.まわりの人から刺激を受けることで、発想が広がることを体験する。
	準備学習	期日までに報告文を提出する（第10回でフィードバックを行うため）	
第11回	木林 理恵	文章のモード③-1 比較・対照	1.説明の観点を論理的に整理する。 2.観点ごとに比較する文章の構造を理解する。 3.観点ごとに比較する文章を準備する。
	準備学習	第10回の授業の振り返りを提出する	

第12回	木林 理恵	文章のモード③-2 比較・対照	1. 観点ごとに比較する文章を作成する。 2. 他者の文章を評価する観点を理解する。 3. 相手への助言を工夫し、伝える。
	準備学習	期日までに比較の文章を提出する（第12回でフィードバックを行うため）	
第13回	木林 理恵	文章のモード④-1 意見文	1. 意見を述べるときの文章の構造を理解する。 2. 意見を述べるときの文章の表現を学ぶ。
	準備学習	第12回の課題を提出する（第13回でフィードバックを行うため）	
第14回	木林 理恵	文章のモード④-2 意見文	1. 他者の助言を取り入れる。 2. 推敲を通して文章の改善点に気づき、修正する。
	準備学習	第13回の課題を提出する（第14回でフィードバックを行うため）	
第15回	木林 理恵	表現ワークショップ	1. 自分の思いを表現し、周りとの対話を通して「気づき」を得る 2. 「気づき」をもとに、自分の願いや夢の具現化を進めしていく 3. 主觀をはさまずに相手の言うことを傾聴する
	準備学習	期日までに意見文を提出する（第15回でフィードバックを行うため）	

授業科目名			
情報リテラシー			授業形態
			演習
			IT教室

授業責任者	学年	学期	曜日
渡辺みのり	第1学年	前期	月曜日

授業概要
情報リテラシーとは情報を活用して適切に読み解いて書く能力のことである。ネット社会では簡単に必要な情報を得られる反面、取り扱いを誤ると一生涯のトラブルに発展する危険も併せ持つ。そのため、情報を扱うには情報モラルやセキュリティの基礎知識が欠かせない。一方、仕事や研究で文章を用意する際にはPC(パソコン)を用いてWordを用いることが一般的である。本演習では、情報モラルやセキュリティを事例から理解を深め身につけ、書く能力をWindows環境でWordを使って視覚的にも伝わりやすい文章の実践的な作成技術を習得する。

一般目標(GIO)
情報の授受に効果的なコンピューターの利用法を理解し必要なデータや情報を有効活用するために、インターネットを利用した情報の収集や開示などに関する基本的知識・技能・態度を習得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)
<input type="radio"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。 <input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 <input type="checkbox"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。 <input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)
<input type="radio"/> ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。 <input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。 <input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。 <input type="checkbox"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。 <input type="checkbox"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書
2025 事例でわかる情報モラル & セキュリティ Word2021ライツマスター TM Word 文書処理技能認定試験 3級問題集

参考書
Microsoft Word2021基礎(FOM 出版)

アクティブ・ラーニング(複数選択可)
<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> ディベート <input type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> プрезентーション <input type="checkbox"/> その他()

成績評価の方法と割合
<input type="checkbox"/> 定期試験(%) <input type="radio"/> 提出物(ノート・レポート)(50%) <input type="checkbox"/> ポートフォolio(%) <input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%) <input type="radio"/> その他(検定、小テスト)(50%)
Word検定(40%)、第14～15回に作成するWordの最終課題(40%)、情報モラルとセキュリティの知識を確認するための小テスト(10%)、および毎回の講義の宿題(10%)により評価を行う。Word検定合格の場合のみ単位を認定する。

オフィスアワー
火曜日・12:00～12:50・2号館3階物理学研究室 ※事前にメールで予約(メールアドレスは授業初回に提示する)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	渡辺 みのり 吉村 建	Windows の基本操作 (プリント、Chap. 2)	1 . PC を起動する。 2 . デスクトップアイコンを設定する。 3 . ホームポジションを意識して文字を入力する。 4 . 新規フォルダの作成や削除ができる。 5 . USB フラッシュメモリにファイルを保存する。 6 . ブラウザで URL を入力し、ホームページを閲覧する。 基礎 B- 3) - ① , ② , ④ , ⑤
	準備学習	初回授業では、教科書一式とUSBフラッシュメモリを必ず持参する。 10分で400文字が打てるようブラインドタッチ(キーボードを見ないでの入力)を練習する。	
第2回	渡辺 みのり 吉村 建	Word の基本 (Chap. 1) 文字の入力と編集の基本操作① (Chap. 2)	1 . Word を起動する。 2 . 文字の入力と変換をする。 3 . 文書を保存する。 基礎 B- 3) - ②
	準備学習	P.38まで復習する。10分で400文字が打てるようブラインドタッチを練習する。	
第3回	渡辺 みのり 吉村 建	文章の入力と編集の基本操作② (Chap. 2) 文章の編集① (Chap. 3)	1 . 文字列を選択する。 2 . 文字列の編集とコピー・移動をする。 3 . ページの書式を設定する。 4 . 文字の書式を設定する。 基礎 B- 3) - ②
	準備学習	P.68まで復習する。10分で400文字が打てるようブラインドタッチを練習する。	
第4回	渡辺 みのり 吉村 建	文書の編集② (Chap. 3) 文章の印刷 (Chap. 4)	1 . 文字幅と文字間隔を設定する。 2 . 文字列の配置と字下げと行間を設定する。 3 . 禁則処理、罫線と網掛けを実施する。 4 . ヘッダーとフッターを設定する。 5 . 段落番号の書式を設定する。 基礎 B- 3) - ②
	準備学習	P.98まで復習する。10分で400文字が打てるようブラインドタッチを練習する。	
第5回	渡辺 みのり 吉村 建	文章の作成 (Chap. 5) 表を使った文章の作成① (Chap. 6)	1 . 段落番号の書式設定をする。 2 . 節条書きの設定をする。 3 . タブとリーダーを設定する。 4 . インデントを設定する。 5 . 表を作成する。 基礎 B- 3) - ②
	準備学習	P.140まで復習する。10分で400文字が打てるようブラインドタッチを練習する。	
第6回	渡辺 みのり 吉村 建	・ 表を使った文章の作成② (Chap. 6) 図形や画像を使った文章の作成① (Chap. 7)	1 . 表を選択し、編集や装飾をする。 2 . ワードアートを挿入する。 基礎 B- 3) - ②
	準備学習	P.175まで復習する。10分で400文字が打てるようブラインドタッチを練習する。	
第7回	渡辺 みのり 吉村 建	図形や画像を使った文章の作成 (教科書②) (Chap. 7)	1 . 画像を挿入する。 2 . 図形の作成と編集をする。 3 . テキストボックスの作成をする。 4 . アイコンの挿入をする。 基礎 B- 3) - ②
	準備学習	P.202まで復習する。10分で400文字が打てるようブラインドタッチを練習する。	

第8回	渡辺 みのり 吉村 建	Word 実践学習 1～3 (問題集)	1. Word 3 級の模擬問題の使い方を確認する。 2. Word 3 級の模擬問題を検定試験と同じ環境で実施する。 基礎 B- 3) - ②
	準備学習	問題集で出来なかったところを教科書で復習しておく。	
第9回 第10回	渡辺 みのり 吉村 建	Word 実践学習 1～3 (問題集)	Word 3 級の模擬問題を検定試験と同じ環境で実施する。 基礎 B- 3) - ②
	準備学習	問題集で出来なかったところを教科書で復習しておく。	
第11回	サーティファイ担当者	検定試験 ・Word 文章処理技能認定試験 3 級	Word の検定試験を実施する。 基礎 B- 3) - ②
	準備学習	問題集で出来なかったところを教科書で復習しておく。問題集を解き直す。	
第12回	今井あかね	ネット社会のモラルとマナー 個人情報と知的財産	1. ネット社会のモラルとマナーを理解する。 2. ネット社会での生活を理解する。 基礎 B- 3) - ③
	準備学習	情報モラルの教科書の各テーマのトライ問題と確認問題 (P.84-88) で知識を確認する。	
第13回	吉村 建	ネット社会での生活 情報サービスとセキュリティ	1. 個人情報と知的財産を理解する。 2. 情報サービスとセキュリティを理解する。 基礎 B- 3) - ⑦
	準備学習	情報モラルの教科書の各テーマのトライ問題と確認問題 (P.84-88) で知識を確認する。	
第14回 第15回	渡辺 みのり 吉村 建	小テスト Word 最終課題制作 ・院内チラシの作成	授業変更を予定している。詳細はWebカレンダー参照のこと。 1. 情報モラルとセキュリティの知識を確認する。 2. 歯科医院内で掲示するチラシを作成する。 基礎 B- 3) - ②
	準備学習	院内チラシ作成のアイディアを考える。	

授業科目名	人体の構造と機能 I			授業形態	講義	
授業責任者	吉村 建		学年	学期	曜日	
			第1学年	前期	火曜日	
授業概要	<p>解剖学は医学・歯学の基礎となる重要な学問である。将来、歯科衛生士として医療にたずさわる上で、人体を構成する諸器官の形態と構造、それらのはたらきを理解する事は必須である。本講義では、まず人体を構成する諸器官の形態や構造について学ぶ。さらに人体を総合的に理解する為に、形態や構造と機能との関連についても深く理解する。</p>					
一般目標(GIO)	<p>人体を総合的に理解するために、人体を構成する諸器官の形態と構造と機能との関連性について修得する。</p>					
学習成果(ディプロマ・ポリシー)	<p><input checked="" type="checkbox"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。 <input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 <input type="checkbox"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。 <input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。</p>					
学習成果(カリキュラム・ポリシー)	<p><input type="checkbox"/> ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。 <input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。 <input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。 <input type="checkbox"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。 <input type="checkbox"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。</p>					
教科書	<p>【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学</p>					
参考書	<p>【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (学連書院) 口腔顎面解剖ノート 第2版</p>					
アクティブラーニング(複数選択可)	<p><input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> ディベート <input type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他()</p>					
成績評価の方法と割合	<p><input type="checkbox"/> 定期試験(100%) <input type="checkbox"/> 提出物(ノート・レポート)(%) <input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%) <input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%) <input type="checkbox"/> その他()(%)</p>					
<p>一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験(100%)により評価を行う。臨時試験、再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。</p>						
オフィスアワー	<p>火曜日・17:00~18:00・短大研究室(3号館2階) E-mail:yoshimura@ngt.ndu.ac.jp ※事前にメールで要予約・メールでの質問も対応可能(メールには氏名を明記してください)。</p>					

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	吉村 建	頭蓋骨・頭蓋を構成する骨の種類と形態を理解する。	1. 頭蓋骨の構成を説明する。 2. 頭蓋骨の構造を説明する。 専門基礎A-1-1)、専門基礎A-1-4) (4) -①②、専門基礎B-1-1) -④⑪
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P46~49、52~53)、口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P11~26) を一読する。例：テキスト第2章 (1 ~ 2) の要点確認	
第2回	吉村 建	体幹・体肢の骨・体幹・体肢の骨について学習する。	1. 生体を構成する主な骨を列挙する。 2. 体幹・体肢の骨の構成を説明する。 専門基礎A-1-1)、専門基礎A-1-4) (4) -①②
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P56~63) を一読する。	
第3回	吉村 建	頭頸部の筋・頭頸部の筋の構造と機能を理解する。	1. 表情筋の構成と機能を説明する。 2. 咀嚼筋の構成と機能を説明する。 3. 頸部の構成と機能を説明する。 専門基礎A-1-4) (4) -③、専門基礎B-1-1) -⑤
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P26~34) を一読する。	
第4回	吉村 建	体幹・体肢の筋・体幹・体肢の筋について学習する。	1. 体幹・体肢の筋の構成と機能を説明する。 専門基礎A-1-4) (4) -③
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P69~80) を一読する。	
第5回	吉村 建	中枢神経・脳と脊髄の構造とはたらきを理解する。	1. 小脳の構造を説明する。 2. 脳幹の構造を説明する。 3. 脊髄の構造を説明する。 専門基礎A-1-4) (3) -①②
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P185~194) を一読する。	
第6回	吉村 建	脳神経・脳神経12対の概要を理解し、中枢神経との関連について学習する。	1. 脳神経の種類を説明する。 2. 脳神経の構造を説明する。 専門基礎A-1-4) (3) -①③、専門基礎B-1-1) -⑦ ⑧
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P196~198)、口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P49~59) を一読する。	
第7回	吉村 建	脊髄神経・自律神経・脊髄神経と自律神経の概要を理解し、そのはたらきについて学習する。	1. 脊髄神経の種類と構造を説明する。 2. 自律神経の種類と構造を説明する。 専門基礎A-1-4) (3) -①③
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P198~204)、口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P60~61) を一読する。	
第8回	吉村 建	感覚器・感覚器全般の構造とはたらきについて学習する。	1. 感覚器の種類と構造を説明する。 専門基礎A-1-4) (5)、専門基礎A-1-4) (10) -①、専門基礎B-1-1) -⑯
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P161~176) を一読する。	
第9回	吉村 建	消化器系 (1) ・消化器官全般について学習し、特に口腔、咽頭の構造と機能を理解する。	1. 消化管全般の構成について説明する。 専門基礎A-1-4) (6) -① 2. 消化管(口腔・咽頭・食道)の構造と機能を説明する。 専門基礎B-1-1) -①②⑨⑩⑪⑫⑯⑰⑲⑲
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P84~90)、口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P2~9、62~67) を一読する。	

第10回	吉村 建	消化器系（2） ・胃、小腸、大腸および脾臓、肝臓の構造と機能を理解する。	1. 消化管（胃・小腸・大腸）の構造と機能を説明する。 専門基礎 A-1-4) (6) -①②③ 2. 脾臓・肝臓の構造と機能を説明する。 専門基礎 A-1-4) (6) -① 3. 脾臓の外分泌と内分泌の特徴を説明する。 専門基礎 A-1-4) (7) -②
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P90~97)、口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P2~9、62~67) を一読する。	
第11回	吉村 建	呼吸器系 ・肺呼吸にたずさわる呼吸器系全般について学習する。	1. 気道の構造と機能を説明する。 2. 肺の構造と機能を説明する。 専門基礎 A-1-4) (1) -①,②、専門基礎 B-1-1) -⑩,⑫
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P214~225) を一読する。	
第12回	吉村 建	泌尿器系 ・尿形成とその排出に関する泌尿器系全般について学習する。	1. 腎臓の構造と機能を説明する。 2. 尿管・膀胱・尿道の構造を説明する。 専門基礎 A-1-4) (8)
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P235~238) を一読する。	
第13回	吉村 建	生殖器系 ・生殖器の構造について学習し、精子形成、卵子形成のメカニズムを理解する。	1. 生殖器の構造と機能を説明する。 専門基礎 A-1-4) (9) 2. 性周期と分泌するホルモンを説明する。 専門基礎 A-1-4) (7) -②
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P259~265) を一読する。	
第14回	吉村 建	内分泌系 ・内分泌器官について学習し、恒常性の維持との関わりについて理解する。	1. 内分泌系の種類と機能を説明する。 専門基礎 A-1-4) (7)
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P246~254) を一読する。	
第15回	吉村 建	脈管系 ・脈管系全般の意義を理解し、心臓、動・静脈、リンパ系について学習する。	1. 肺循環と体循環を説明する。 専門基礎 A-1-4) (2) -② 2. 心臓の構造を説明する。専門基礎 A-1-4) (2) -④ 3. 脈管系の種類と構造を説明する。 専門基礎 A-1-4) (2) -①③、専門基礎 B-1-1) -⑥
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P122~128)、口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P38~46) を一読する。	

授業科目名	人体の構造と機能 II			授業形態	講義		
授業責任者	高橋 瞳	学年	第1学年	学期	前期	曜日	水曜日
授業概要	解剖学の一分科である組織学で、人体の構築を細胞レベルでとらえ、人体を構成する四種類の組織を学ぶことで人体の基本構造を理解する。次に、生理学で細胞・組織・器官・器官系の正常な機能を学び、本講義では人体の生理学の概要を学習する。						
一般目標(GIO)	歯科衛生士の業務遂行上必要な知識を身につけるために、人体の基本的なり立ちを組織・細胞レベルで理解し、細胞・器官・器官系の「基本的な機能と調節機構」を修得する。						
学習成果(ディプロマ・ポリシー)							
<input type="checkbox"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。 <input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 <input type="checkbox"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。 <input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。							
学習成果(カリキュラム・ポリシー)							
<input type="checkbox"/> ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。 <input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。 <input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。 <input type="checkbox"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。 <input type="checkbox"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。							
教科書	【歯科衛生学シリーズ】人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 第1版 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会(医薬出版)						
参考書	入門組織学 改訂第2版 牛木辰男 著(南江堂) 基礎歯科生理学 第7版 岩田幸一・井上富雄・船橋 誠・加藤隆史 編(医薬出版)						
アクティブラーニング(複数選択可)							
<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション		<input type="checkbox"/> ディスカッション			
成績評価の方法と割合							
<input type="checkbox"/> 定期試験(100%) <input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%) <input type="checkbox"/> その他()(%)		<input type="checkbox"/> 提出物(ノート・レポート)(%) <input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%)					
一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験(100%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。							
オフィスアワー							
水曜日・12:00~12:30 4号館3階解剖学II研究室、5号館3階生理学研究室 ※事前にメールで要予約(メールアドレスは授業中に提示する)							

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	熊倉 雅彦	組織学概論	1. 組織の定義を説明し、分類する。(専門基礎A-1-2)-(④)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第2回	熊倉 雅彦	上皮組織	1. 上皮組織の特徴を説明し、形態的と機能的に分類する。(専門基礎A-1-2)-(⑤)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第3回	熊倉 雅彦	支持組織	1. 支持組織の特徴を説明し、形態的と機能的に分類する。(専門基礎A-1-2)-(⑧)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第4回	熊倉 雅彦	筋組織	1. 筋組織の構造と機能を説明する。(専門基礎A-1-2)-(⑩)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第5回	熊倉 雅彦	神経組織	1. 神経組織の構造と機能を説明する。(専門基礎A-1-2)-(⑪) 2. 興奮の伝導と伝達を概説する。(専門基礎A-1-4)-(3)-(④)
	準備学習	教科書上皮組織の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第6回	高橋 瞳	細胞・神経(1)	1. 細胞の基本的生理機能を説明する。(専門基礎A-1-2)-(①) 2. 神経組織の構造と機能を説明する。(専門基礎A-1-2)-(⑩) 3. 興奮の伝導やシナプスでの伝達を説明する。(専門基礎A-1-4)-(4)-(④)
	準備学習	教科書第1章(P. 12-21)、第6章(P. 179-185)を読み、要点を確認する。	
第7回	高橋 瞳	神経(2)	1. 中枢神経系と末梢神経系の機能を説明する。(専門基礎A-1-4)-(4)-(①②③) 2. 隨意運動を説明する。(専門基礎A-1-4)-(4)-(⑤)
	準備学習	教科書第6章(P. 185-212)を読み、要点を確認する。	
第8回	高橋 瞳	血液・循環	1. 血液循環を説明する。(専門基礎A-1-4)-(1)-(①②) 2. 心筋の特徴、刺激伝導系を説明する。(専門基礎A-1-4)-(4)-(④) 3. 血圧と心電図を説明する。(専門基礎A-1-4)-(1)-(⑤) 4. 血液の組成と機能、血液型、止血、凝固および線溶現象を説明する。(専門基礎A-1-4)-(1)-(⑥⑦⑧⑨)
	準備学習	教科書第4章(P. 109-155)を読み、要点を確認する。	
第9回	高橋 瞳	呼吸	1. 呼吸器系の機能を説明する。(専門基礎A-1-4)-(2)-(①) 2. 換気とガス交換を説明する。(専門基礎A-1-4)-(2)-(②) 3. 呼吸の調節を説明する。(専門基礎A-1-4)-(2)-(③)
	準備学習	教科書第7章(P. 213-233)を読み、要点を確認する。	
第10回	高橋 瞳	体温	1. 体熱の産生と体温の調節を説明する。(専門基礎A-1-4)-(10)-(②)
	準備学習	教科書第11章(P. 269-278)を読み、要点を確認する。	

第11回	高橋 瞳	筋	1. 筋組織の構造と機能を説明する。(専門基礎 A-1-2) -⑨) 2. 筋の種類と特徴を説明する。(専門基礎 A-1-4)-(3) -③) 3. 骨格筋の収縮の特徴と筋収縮の機序を説明する。(専門基礎 A-1-4) - (3) -④)
	準備学習	教科書第2章 (P. 64-83)	を読み、要点を確認する。
第12回	高橋 瞳	消化・吸収	1. 消化器の機能を説明する。(専門基礎 A-1-4)-(6)-①) 2. 胃と腸における消化と吸収を説明する。(専門基礎 A-1-4) - (6) -②③) 3. 排便の仕組みを説明する。(専門基礎 A-1-4)-(6)-④)
	準備学習	教科書第3章 (P. 84-108)	を読み、要点を確認する。
第13回	高橋 瞳	排 � 泌	1. 泌尿器系を説明する。(専門基礎 A-1-4) - (7) -①) 2. 尿の生成と体液の調節を説明する。(専門基礎 A-1-4) - (7) -②③))
	準備学習	教科書第8章 (P. 234-245)	を読み、要点を確認する。
第14回	高橋 瞳	内分泌	1. 内分泌器の基本構造とホルモンを説明する。(専門基礎 A-1-4) - (8) -①) 2. ホルモンの働きを説明する。(専門基礎 A-1-4)-(8) -②)
	準備学習	教科書第9章 (P. 246-258)	を読み、要点を確認する。
第15回	高橋 瞳	感 覚	1. 感覚の種類と感覚器を説明する。(専門基礎 A-1-4) - (5) -①②))
	準備学習	教科書第5章 (P. 156-178)	を読み、要点を確認する。

授業科目名	口腔解剖学実習			授業形態	実習		
授業責任者	吉村 建	学年	第1学年	学期	前期	曜日	水曜日
授業概要	歯科衛生士として歯科医療に携わる上で、口腔を始めとする人体の構造を理解することは必須です。歯と骨格の形態を立体的に理解するために、歯型彫刻、骨格標本の観察等を通して、口腔解剖学に関する基本的知識・技能を身につける。						
一般目標(GIO)	人体と顎顔面を総合的に理解するために、口腔並びに人体を構成する諸器官の形態と構造と機能との関連性について修得する。						
学習成果(ディプロマ・ポリシー)							
<input type="checkbox"/>	① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。						
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。						
<input type="radio"/>	③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。						
<input type="radio"/>	④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。						
<input type="checkbox"/>	⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。						
学習成果(カリキュラム・ポリシー)							
<input type="radio"/>	① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。						
<input type="radio"/>	④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。						
<input type="radio"/>	⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。						
教科書	【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯・口腔の構造と機能口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学						
参考書	(学建書院)口腔顎顔面解剖ノート 第2版						
アクティブラーニング(複数選択可)							
<input type="checkbox"/> PBL	<input type="checkbox"/> ディベート	<input type="checkbox"/> ディスカッション					
<input type="checkbox"/> フィールドワーク	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション						
<input type="checkbox"/> その他()							
成績評価の方法と割合							
<input type="radio"/> 定期試験(40%)	<input type="radio"/> 提出物(ノート・レポート)(60%)						
<input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%)	<input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%)						
<input type="checkbox"/> その他()(%)							
一般目標で示した項目についての提出物(骨・歯のスケッチ、課題(空欄の穴埋め))(60点)および多選択肢形式筆記試験(40点)							
オフィスアワー							
4 ~ 9月: 水曜日16:00~17:00事前にメールで予約をお願いします。不在の場合はメールでも対応します。							

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	吉村 建	オリエンテーション ・骨学実習・口腔解剖学実習の進め方を理解する。 骨学実習（1） ・頭蓋前面を観察し、スケッチする。	1. 実習を準備し、実習の進め方を系統立てて調べる。 2. 頭蓋前面を観察し、スケッチする。 3. 頭蓋を構成する骨の名称を列記する。 専門基礎B-1-1) -④
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P46~49、52~53、56~57)、口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P11~26) を一読する。	
第2回	吉村 建	骨学実習（2） ・頭蓋側面を観察し、スケッチする。	1. 頭蓋側面を観察し、スケッチする。 2. 頭蓋を構成する骨の名称を列記する。 3. 課題プリントを履修する（宿題）。 専門基礎B-1-1) -④
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P46~49、52~53)、 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P11~26) を一読する。	
第3回	吉村 建	骨学実習（3） ・下顎骨を観察し、スケッチする。	1. 下顎骨（内面觀）を観察し、スケッチする。 2. 頭蓋を構成する骨の名称を列記する。 3. 課題プリントを履修する（宿題）。 専門基礎B-1-1) -④
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P46~49、52~53)、 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P11~26) を一読する。	
第4回	吉村 建	骨学実習（4） ・内頭蓋底を観察し、スケッチする。	1. 内頭蓋底を観察し、スケッチする。 2. 内頭蓋底に存在する孔や突起を列記する。 3. 課題プリントを履修する（宿題）。 専門基礎B-1-1) -④
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P46~49、52~53)、 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P11~26) を一読する。	
第5回	吉村 建	骨学実習（5） ・外頭蓋底を観察し、スケッチする。	1. 外頭蓋底を観察し、スケッチする。 2. 外頭蓋底に存在する孔や突起を列記する。 3. 課題プリントを履修する（宿題）。 専門基礎B-1-1) -④
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P46~49、52~53)、 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P11~26) を一読する。	
第6回	吉村 建	骨学実習（6） ・全身の骨格を観察し、スケッチする。	1. 全身の骨格を分類する。 2. 全身を構成する骨を観察する。 3. 全身に存在する孔や突起を列記する。 4. 課題プリントを履修する（宿題）。 専門基礎A-1-1)、専門基礎A-1-4) (4) -①
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P56~63) を一読する。	
第7回	吉村 建	骨学実習（7）総括 頭頸部の骨について学んだ内容を振り返る。 全身の骨について学んだ内容を振り返る。	・各自の授業ノートの充実・補間を行う。 ・骨の解剖学に関し実習試験に必要となる知識の確認を行う。 専門基礎B-1-2) -③、 専門基礎A-1-1)、 専門基礎A-1-4) (4) -①
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P46~49、52~53)、 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P11~26) を一読する。	

第8回	吉村 建	口腔解剖学実習（1） ・上顎右側中切歯を観察し、スケッチする。 ・上顎右側側切歯を観察し、スケッチする。	1. 上顎右側中切歯を観察し、5面展開図としてスケッチする。 2. 上顎右側側切歯を観察し、5面展開図としてスケッチする。 3. 課題プリントを履修する（宿題）。 専門基礎B-1-2) -③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P83～85）を一読する。	
第9回	吉村 建	口腔解剖学実習（2） ・下顎右側中切歯を観察し、スケッチする。 ・下顎右側側切歯を観察し、スケッチする。	1. 下顎右側中切歯を観察し、5面展開図としてスケッチする。 2. 下顎右側側切歯を観察し、5面展開図としてスケッチする。 3. 課題プリントを履修する（宿題）。 専門基礎B-1-2) -③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P85～88）を一読する。	
第10回	吉村 建	口腔解剖学実習（3） ・上顎右側犬歯を観察し、スケッチする。 ・下顎右側犬歯を観察し、スケッチする。	1. 上顎右側犬歯を観察し、5面展開図としてスケッチする。 2. 下顎右側犬歯を観察し、5面展開図としてスケッチする。 3. 課題プリントを履修する（宿題）。 専門基礎B-1-2) -③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P88～91）を一読する。	
第11回	吉村 建	口腔解剖学実習（4） ・上顎右側第一小白歯を観察し、スケッチする。 ・上顎右側第二小白歯を観察し、スケッチする。	1. 上顎右側第一小白歯を観察し、5面展開図としてスケッチする。 2. 上顎右側第二小白歯を観察し、5面展開図としてスケッチする。 3. 課題プリントを履修する（宿題）。 専門基礎B-1-2) -③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P91～95）を一読する。	
第12回	吉村 建	口腔解剖学実習（5） ・下顎右側第一小白歯を観察し、スケッチする。 ・下顎右側第二小白歯を観察し、スケッチする。	1. 上顎右側小白歯を観察し、5面展開図としてスケッチする。 2. 下顎右側小白歯を観察し、5面展開図としてスケッチする。 3. 課題プリントを履修する（宿題）。 専門基礎B-1-2) -③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P95～99）を一読する。	
第13回	吉村 建	口腔解剖学実習（6） ・上顎右側大臼歯を観察し、スケッチする。 ・下顎右側大臼歯を観察し、スケッチする。	1. 上顎右側大臼歯を観察し、5面展開図としてスケッチする。 2. 下顎右側大臼歯を観察し、5面展開図としてスケッチする。 3. 課題プリントを履修する（宿題）。 専門基礎B-1-2) -③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P99～109）を一読する。	
第14回	吉村 建	口腔解剖学実習（7）総括 1	・解剖学（骨学）に関し学んだ内容を振り返る。 ・実習試験に必要となる知識の確認を行う。 ・歯科衛生士書き込み式学習ノートの実習関連ページの穴埋めを行う。 専門基礎B-1-2) -③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P85～88）を一読する。歯科衛生士書き込み式学習ノート（P131～133、P142～154）を一読する	

第15回	吉村 建	口腔解剖学実習（8）総括 2	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の解剖学に関し学んだ内容を振り返る。 ・実習試験に必要となる知識の確認を行う。 ・歯科衛生士書き込み式学習ノートの実習関連ページの穴埋めを行う。 専門基礎B-1-2) -③
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学、口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学、歯科衛生士書き込み式学習ノート（P131～133、P142～154）を一読するの実習関連範囲を一読する。	

授業科目名	口腔の構造と機能 I			授業形態	講義		
授業責任者	吉村 建	学年	第1学年	学期	前期	曜日	木曜日
授業概要	歯および歯列の正確な形態は、歯科衛生士の業務を遂行する上で、必須の基礎知識である。本講義では、歯の基本的な形態と用語、乳歯と永久歯の形態特徴、歯列と咬合の形態を学習し、歯の形態についての基礎知識の修得を行う。						
一般目標(GIO)	歯科衛生士の業務である歯科予防処置および歯科診療補助を適切に行うために、その基礎となるヒトの乳歯と永久歯の形態の特徴を理解する。						
学習成果(ディプロマ・ポリシー)							
<input type="checkbox"/> ①	地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。						
<input type="checkbox"/> ②	豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。						
<input type="checkbox"/> ③	歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。						
<input type="radio"/> ④	歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。						
<input type="checkbox"/> ⑤	長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。						
学習成果(カリキュラム・ポリシー)							
<input type="radio"/> ①	全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。						
<input type="checkbox"/> ②	豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。						
<input type="checkbox"/> ③	協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。						
<input type="radio"/> ④	専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。						
<input type="radio"/> ⑤	国家資格取得を支援するための教育を行う。						
教科書	【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)歯・口腔の構造と機能口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学						
参考書	【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学 (学連書院)口腔顎面解剖ノート 第2版						
アクティブ・ラーニング(複数選択可)							
<input type="checkbox"/> PBL	<input type="checkbox"/> ディベート	<input type="checkbox"/> ディスカッション					
<input type="checkbox"/> フィールドワーク	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション						
<input type="checkbox"/> その他()							
成績評価の方法と割合							
<input type="radio"/> 定期試験(100%)	<input type="checkbox"/> 提出物(ノート・レポート)(%)						
<input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%)	<input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%)						
<input type="checkbox"/> その他()(%)							
一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験(100%)により評価を行う。臨時試験、再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。							
オフィスアワー							
火曜日・17:00~18:00・短大研究室(3号館2階) E-mail:yoshimura@ngt.ndu.ac.jp ※事前にメールで要予約・メールでの質問も対応可能(メールには氏名を明記してください)。							

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	吉村 建	口腔の範囲、口腔の形と用語 ・口腔の範囲、口腔の形態、口腔の用語を理解する。	1 . 顔面ならびに口腔の範囲を説明する。 専門基礎 B- 1 - 1) - ① 2 . 顔面ならびに口腔の各部位の名称を列挙する。 専門基礎 B- 1 - 1) - ①
	準備学習	解剖学・組織発生学・生理学 (P86~89)、口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P2 ~ 11) を一読する。	
第 2 回	吉村 建	歯の定義、歯の形態と用語 ・歯の定義、歯の形態、歯の用語を理解する。	1 . 歯種別の形態と特徴を説明する（歯式を含む）。 専門基礎 B- 1 - 2) - ③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P72~74,P78~82) を一読する。	
第 3 回	吉村 建	歯の種類と数、記号と歯式 ・ヒトの歯の種類と数、名称および記号、歯式、方向用語を理解する。	1 . 歯種別の形態と特徴を説明する（歯式を含む）。 専門基礎 B- 1 - 2) - ③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P74~77) を一読する。	
第 4 回	吉村 建	上顎の中切歯と側切歯 ・側切歯の共通な特徴、上顎の中切歯と側切歯の形態の違いを理解する。	1 . 歯種別の形態と特徴を説明する（歯式を含む）。 専門基礎 B- 1 - 2) - ③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P83~85) を一読する。	
第 5 回	吉村 建	下顎の中切歯と側切歯 ・下顎の中切歯と側切歯の形態の違いを理解する。	1 . 歯種別の形態と特徴を説明する（歯式を含む）。 専門基礎 B- 1 - 2) - ③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P85~88) を一読する。	
第 6 回	吉村 建	上顎と下顎の大歯 ・大歯の共通な特徴、上顎大歯と下顎大歯の形態の違いを理解する。	1 . 歯種別の形態と特徴を説明する（歯式を含む）。 専門基礎 B- 1 - 2) - ③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P88~91) を一読する。	
第 7 回	吉村 建	上顎の第 1 と第 2 小臼歯 ・小臼歯の共通な特徴、上顎第 1 と第 2 小臼歯の形態の違いを理解する。	1 . 歯種別の形態と特徴を説明する（歯式を含む）。 専門基礎 B- 1 - 2) - ③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P91~95) を一読する。	
第 8 回	吉村 建	下顎の第 1 と第 2 小臼歯 ・下顎の第 1 と第 2 小臼歯の形態の違いを理解する。	1 . 歯種別の形態と特徴を説明する（歯式を含む）。 専門基礎 B- 1 - 2) - ③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P95~99) を一読する。	
第 9 回	吉村 建	上顎第 1 第 2 第 3 大臼歯 ・大臼歯の共通な特徴、個々の上顎大臼歯の形態の違いを理解する。	1 . 歯種別の形態と特徴を説明する（歯式を含む）。 専門基礎 B- 1 - 2) - ③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 (P99~103) を一読する。	

第10回	吉村 建	下顎第1 第2 第3 大臼歯 ・下顎の第1・第2・第3 大臼歯の形態の違いを理解する。	1. 歯種別の形態と特徴を説明する（歯式を含む）。 専門基礎 B-1-2) -③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P104～109）を一読する。	
第11回	吉村 建	乳切歯と乳犬歯 ・乳歯の共通な特徴、乳切歯および乳犬歯の形態の違いを理解する。	1. 永久歯と比較した乳歯の特徴を説明する。 専門基礎 B-1-2) -④
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P110～116）を一読する。	
第12回	吉村 建	乳臼歯 ・上下顎の第1 乳臼歯と第2 乳臼歯の形態の違いを理解する。	1. 永久歯と比較した乳歯の特徴を説明する。 専門基礎 B-1-2) -④
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P116～121）を一読する。	
第13回	吉村 建	歯列と咬合 ・歯列の形態、上下顎歯の位置関係、咬合様式を理解する。	1. 歯列と咬合を概説する。 専門基礎 B-1-2) -⑧
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P128～134）を一読する。	
第14回	吉村 建	歯の数の異常と歯の萌出時期 ・歯の数の異常、歯の萌出時期について理解する。	1. 歯種別の形態と特徴を説明する（歯式を含む）。 専門基礎 B-1-2) -③ 2. 歯の萌出と交換を概説する。 専門基礎 B-1-2) -②
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P122,126～127,189）を一読する。	
第15回	吉村 建	特色のある歯の形態 ・典型的ではない歯の形態と出現する歯種を理解する。	1. 歯種別の形態と特徴を説明する（歯式を含む）。 専門基礎 B-1-2) -③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学（P122～128）を一読する。	

授業科目名				授業形態			
公衆衛生学			講義				
授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間			
鴨田剛司	第1学年	前期	火曜日	13:00~14:20			
授業概要							
<p>衛生学・公衆衛生学は、人間と人間を取り巻く自然・社会環境の関係から健康について考える学問である。健康問題を人間集団の現象としてとらえ、そのレベルから疾病の原因追求、疾病的予防、さらには健康を増進していくためには、衛生学・公衆衛生学的な考え方と手法は不可欠である。</p> <p>そこで本講義では、衛生学・公衆衛生学的な考え方と知識を身につける。</p>							
一般目標(GIO)							
<p>日常の生活環境が健康におよぼす影響について理解とともに、将来地域を主体とする保健活動に参画するための理論と具体的な活動の計画・実践・評価についての知識を理解し、活動の基盤となる法律・組織とそれぞれの口腔保健サービスの進め方などについて必要な知識を身につける。</p>							
学習成果(ディプロマ・ポリシー)							
<p><input type="checkbox"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。</p>							
学習成果(カリキュラム・ポリシー)							
<p><input type="checkbox"/> ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。</p>							
教科書							
<p>【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学</p>							
参考書							
<p>歯学生のための健康科学 第4版(一世出版)</p>							
アクティブラーニング(複数選択可)							
<p><input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> ディベート <input type="checkbox"/> ディスカッション</p> <p><input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>							
成績評価の方法と割合							
<p><input type="checkbox"/> 定期試験(90%) <input type="checkbox"/> 提出物(ノート・レポート)(10%)</p> <p><input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%) <input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%)</p> <p><input type="checkbox"/> その他()(%)</p>							
<p>成績評価は以下のように行う 本試験での客観試験(60点)・記述試験(30点)、その他(課題提出状況等)(10点)</p>							
オフィスアワー							
<p>木曜日・16:00~17:00・衛生学研究室(4号館3階) 連絡先 kamoda-t@ngt.ndu.ac.jp(鴨田剛司)</p>							

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	鴨田 剛司	総論	1. 衛生学・公衆衛生学の意義を理解する。 2. 健康の概念を説明する。 3. 疾病の自然史と予防の段階を説明する。 専門基礎D-1-1)
	準備学習	教科書p2-7の内容を予習しておきましょう。	
第 2 回	鴨田 剛司	人口	1. 人口に関する指標を説明する。 2. わが国の人囗動向を説明する。 3. わが国の生命表を説明する。 専門基礎D-1-3)
	準備学習	教科書p18-33の内容を予習しておきましょう。	
第 3 回	鴨田 剛司	環境と健康（1）	1. 環境と健康の概念を理解する。 2. 空気と健康との関わり合いを説明する。 3. 水と健康との関わり合いを説明する。 4. 温熱環境と健康との関わり合いを説明する。 専門基礎D-1-4) -①②
	準備学習	教科書p34-45の内容を予習しておきましょう。	
第 4 回	鴨田 剛司	環境と健康（2）	1. 環境悪化要因の生体影響を説明する。 2. 地球環境問題と健康影響との関係を説明する。 3. わが国の環境保全対策を説明する。 4. 廃棄物処理の対策を説明する。 専門基礎D-1-4) -③④⑤⑥
	準備学習	教科書p49-59の内容を予習しておきましょう。	
第 5 回	小松崎 明	疫学	1. 疫学の概念と要因を理解する。 2. 疾病頻度を表す指標を説明する。 3. 疫学研究の方法論を説明する。 4. スクリーニング検査の評価法を説明する。 専門基礎D-1-2)
	準備学習	教科書p8-17の内容を予習しておきましょう。	
第 6 回	小松崎 明	感染症	1. 感染症成立の要因を理解する。 2. 感染症の動向を説明する。 3. わが国の感染症対策を説明する。 専門基礎D-1-5)
	準備学習	教科書p60-75の内容を予習しておきましょう。	
第 7 回	小松崎 明	食品と健康	1. 食品保健の目的を理解する。 2. わが国の食生活の現状を説明する。 3. わが国の食生活の対策を説明する。 専門基礎D-1-6)
	準備学習	教科書p76-86の内容を予習しておきましょう。	

第8回	小松崎 明	前半講義内容についてのレポート作成	1. 第7回までの内容のうち、重要と考えられるテーマについてレポートを作成する。
	準備学習	第1～7回の内容を復習しておきましょう。	
第9回	小野 幸絵	地域保健	1. 地域保健の特徴と仕組みを説明する。 2. 地域保健の概念を説明する。 3. 地域保健の進め方を説明する。 専門基礎D-3-1)
	準備学習	教科書p216-247の内容を予習しておきましょう。	
第10回	小野 幸絵	母子保健	1. 母子保健の意義を理解する。 2. 母子保健対策を説明する。 3. 乳幼児健康診査を説明する。 専門基礎D-3-2)
	準備学習	教科書p248-262の内容を予習しておきましょう。	
第11回	小野 幸絵	学校保健	1. 学校保健の意義を理解する。 2. 学校保健の二大領域を説明する。 3. 学校保健関係職員を説明する。 4. 学校における健康診断を説明する。 専門基礎D-3-3)
	準備学習	教科書p263-279の内容を予習しておきましょう。	
第12回	小野 幸絵	成人保健・老人保健	1. 成人・老人保健の意義を理解する。 2. 生活習慣病のリスク要因を説明する。 3. 健康増進法による保健事業を説明する。 4. 特定健康診査・特定保健指導を説明する。 専門基礎D-3-4)、専門基礎D-3-6)
	準備学習	教科書p280-286,p299-308の内容を予習しておきましょう。	
第13回	小野 幸絵	産業保健	1. 産業保健の目的を理解する。 2. 職業性疾病を説明する。 3. 産業保健の3管理を説明する。 4. 産業保健活動を説明する。 専門基礎D-3-5)
	準備学習	教科書p287-298の内容を予習しておきましょう。	
第14回	小野 幸絵	精神保健・国際保健	1. 精神障害の動向を説明する。 2. 精神保健対策を説明する。 3. 国際協力に関わる機関を説明する。 4. 国際協力の仕組みを説明する。 専門基礎D-3-7)、専門基礎D-3-8)
	準備学習	教科書p309-316の内容を予習しておきましょう。	
第15回	鴨田 剛司	総括	1. 復習により学習内容を理解する。
	準備学習	これまでの授業内容を復習しておきましょう。	

授業科目名				授業形態		
歯科衛生士概論(含医療倫理)			講義			
授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間		
池田 裕子	第1学年	前期	月曜日	13:00~14:20		
授業概要						
歯科衛生士概論では、歯科衛生士の役割と法的位置づけ、専門職としての自覚・心構え・医療倫理を学ぶとともに、歯科医療を実践するために必要な医療安全対策について学ぶ。						
一般目標(GIO)						
チーム医療の一員として、倫理的判断と医療安全に基づいた歯科衛生活動を行うために必要な知識および態度を習得する。						
学習成果(ディプロマ・ポリシー)						
<input type="checkbox"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。 <input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 <input type="checkbox"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。 <input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。						
学習成果(カリキュラム・ポリシー)						
<input type="checkbox"/> ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。 <input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。 <input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。 <input type="checkbox"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。 <input type="checkbox"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。						
教科書						
【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯科衛生学総論						
参考書						
【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2保健・医療・福祉の制度 歯科医療倫理学						
アクティブラーニング(複数選択可)						
<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> ディベート <input type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他())						
成績評価の方法と割合						
<input type="checkbox"/> 定期試験(100%) <input type="checkbox"/> 提出物(ノート・レポート)(%) <input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%) <input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%) <input type="checkbox"/> その他()(%)						
試験は、多選択肢形式および筆記試験形式で出題。8回の授業終了後に試験を行う。						
オフィスアワー						
講義終了後、教室にて。その他、質問等はE-mailで連絡してください。 E-mail: ikeda@ngt.ndu.ac.jp(池田裕子) E-mail: piglet@ngt.ndu.ac.jp(石井瑞樹) E-mail: akjo@ngt.ndu.ac.jp(宮崎晶子)						

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回 4/14	◎池田 裕子	歯科衛生士の役割	1. 7歯科衛生士の役割を説明する。 専門基礎D-1-1) -①、専門基礎D-4-1) -④、専門A-1-①②
	準備学習	歯科衛生学総論の該当箇所を確認して授業に参加する	
第2回 4/21	◎池田 裕子	歯科衛生士の法的位置付けと免許取得	1. 歯科衛生士の法的位置付けを理解する。 専門基礎D-4-2) -①②④ 2. 歯科衛生士の免許取得について理解する。 専門基礎D-4-2) -③ 3. 歯科医師の責務を理解する。 専門基礎D-4-2) -⑤
	準備学習	歯科衛生学総論の該当箇所を確認して授業に参加する	
第3回 5/12	◎池田 裕子	医療安全対策	1. 歯科衛生士業務の実践におけるコミュニケーション力の必要性を理解する。 専門A-1-⑩ 2. 医療安全対策の必要性と方策を理解する。 専門A-2-2) -①③ 3. 多職種との連携の意義を理解する。
	準備学習	歯科衛生学総論の該当箇所を確認して授業に参加する	
第4回 5/19	◎池田 裕子	総括	1. 歯科衛生士に求められているものとは何か、自分の考えを述べる。 専門基礎D-4-1) -④、専門A-1-②⑩ 専門A-2-3) -①②③
	準備学習		
第5回 5/26	◎宮崎 晶子	多職種との協働	1. 多職種との連携の意義を理解する。 2. チーム医療における歯科衛生活動を理解する。 専門A-1-⑫⑬⑭
	準備学習	歯科衛生学総論の該当箇所を確認して授業に参加する	
第6回 6/2	◎石井 瑞樹	医の倫理	1. 医療倫理に関する宣言と法令を理解する。 2. インフォームド・コンセントを理解する。 3. 患者の権利と自己決定権を説明できる。 4. バイオエシックス（生命倫理）を説明できる。
	準備学習	歯科衛生学総論の該当箇所を確認して授業に参加する	
第7回 6/9	◎宮崎 晶子	歯科衛生士の倫理綱領 (1) 前文と本文の理解	1. 歯科衛生士の倫理綱領を概説できる。 2. 歯科衛生士の専門性を説明できる。 専門A-1-⑧⑨
	準備学習	歯科衛生士の倫理綱領（日本歯科衛生士会HP掲載）を読む。	
第8回 6/16	◎宮崎 晶子	歯科衛生士の倫理綱領 (2) 事例検討	1. 歯科衛生士の倫理綱領を概説できる。 2. 歯科衛生士の専門性を説明できる。 専門A-1-⑧⑨
	準備学習	歯科衛生士の倫理綱領（日本歯科衛生士会HP掲載）を読む。	

授業科目名	キャリア教育 I			授業形態	講義				
授業責任者	◎加藤 千景	学年	第1学年	学期	通年	曜日	前期 木曜日 後期 月曜日	授業時間	前期 木曜日13:00～14:20 後期 月曜日 9:00～10:20
授業概要 多種多様な職業の中における歯科衛生士の役割を知り、歯科衛生士としての責任を果たすうえで必要な能力や態度を修得する。キャリア教育は、歯科医療を担う他職種、そして様々な分野で活躍する歯科衛生士を知り、自身の理想とする歯科衛生士像の確立を目指し開講する。									
一般目標(GIO) 歯科衛生士が専門職としての責務を果たすためには、歯科衛生業務の基礎となる知識・技術の習得はもとより、高い倫理観を備えることが不可欠である。本授業において、歯科衛生士の責務について学び、自分の目指す歯科衛生士像の確立を目指す。									
学習成果(ディプロマ・ポリシー) <input type="checkbox"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。 <input type="radio"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 <input type="radio"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。 <input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。									
学習成果(カリキュラム・ポリシー) <input type="checkbox"/> ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。 <input type="radio"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。 <input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。 <input type="radio"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。 <input type="checkbox"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。									
教科書 									
参考書 									
アクティブラーニング(複数選択可) <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> ディベート <input type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他()									
成績評価の方法と割合 <input type="checkbox"/> 定期試験(%) <input type="radio"/> 提出物(ノート・レポート)(100%) <input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%) <input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%) <input type="checkbox"/> その他()(%)									
該当授業についてのレポートを評価する。									
オフィスアワー E-mail: chikage@ngt.ndu.ac.jp(加藤千景)新潟短期大学(短大2階)									

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	◎加藤 千景	歯科に関わる職業を理解する。	1. 歯科医師の業務を理解する。 専門基礎D- 4 - 1) -④、専門A- 1 -②⑩⑪⑬
	準備学習	例：テキスト第2章（1～2）の要点確認	
第2回	◎清野 加那子	歯科衛生士の活動する場（1） ・様々な立場で活躍する歯科衛生士を知る。	1. 歯科衛生士専任教員の業務を理解する。 専門基礎D- 4 - 1) -④、専門A- 1 -②⑩⑪⑬⑭
	準備学習		
第3回	◎加藤 千景 ◎青木 唯	歯科衛生士の活動する場（2） ・社会で必要とされる歯科衛生士および歯科衛生士の将来展望を考える。	1. 社会で必要とされる歯科衛生士を考察する。 2. 歯科衛生士の将来像を考察する。 専門基礎D- 4 - 1) -④、専門A- 1 -②⑩⑪⑬⑭
	準備学習		
第4回	◎加藤 千景 ◎若月 真実	歯科衛生士の活動する場（3） ・社会で必要とされる歯科衛生士および歯科衛生士の将来展望を考える。	1. 社会で必要とされる歯科衛生士を考察する。 2. 歯科衛生士の将来像を考察する。 専門基礎D- 4 - 1) -④、専門A- 1 -②⑩⑪⑬⑭
	準備学習		
第5回	◎加藤 千景 ◎星 美幸	歯科衛生士の活動する場（4） ・様々な立場で活躍する歯科衛生士を知る。	1. 病院歯科に勤務する歯科衛生士の業務を理解する。 専門基礎D- 4 - 1) -④、専門A- 1 -②⑩⑪⑬⑭
	準備学習		
第6回	◎加藤 千景 ◎桐生 雅恵	歯科衛生士の活動する場（5） ・様々な立場で活躍する歯科衛生士を知る。	1. 病院歯科に勤務する歯科衛生士の業務を理解する。 専門基礎D- 4 - 1) -④、専門A- 1 -②⑩⑪⑬⑭
	準備学習		
第7回	◎加藤 千景 ◎高橋 彰子 ◎関口 博一 ◎青木 悠	歯科に関わる職業を理解する。	・薬剤師の業務を理解する。 ・歯科技工士の業務を理解する。 ・栄養士の業務を理解する。 専門基礎D- 4 - 1) -④、専門A- 1 -②⑩⑪⑬⑭
	準備学習		
第8回	今井 あかね	歯科衛生研究の進め ・歯科衛生士を目指す者として、歯科衛生業務に関しての疑問や課題を発見・研究し、新しい知識や理論を導き出す心構えを培う。	1. 歯科衛生研究の目的を述べる。 2. 歯科衛生業務の専門性とその位置づけについて説明する。 3. 研究における倫理的配慮について説明する。 基礎分野B- 1 - ②
	準備学習	歯科衛生士が研究を必要とする理由と注意すべき点を 2 つ以上書き出しておくこと。	

授業科目名	早期体験演習			授業形態	演習		
授業責任者	学年		学期	曜日	授業時間		
◎加藤 千景	第1学年	前期	月曜日	13:00~16:00			
授業概要							
歯科衛生士は医療を学ぶ者としての心構えを培うため、早期体験実習を行う。そこで本実習では、すべての歯科医療行為の基本となる知識・技術・態度の修得を行う。							
一般目標(GIO)							
すべての実習を円滑に行うために必要な器材・器具の取り扱いや管理、および患者対応・口腔内観察などの基本的知識・技術・態度を修得する。							
学習成果(ディプロマ・ポリシー)							
<input type="checkbox"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。	<input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。	<input type="radio"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。	<input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。	<input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。			
学習成果(カリキュラム・ポリシー)							
<input type="checkbox"/> ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。	<input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。	<input type="radio"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。	<input type="checkbox"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。	<input type="checkbox"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。			
教科書							
参考書							
歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版)							
アクティブラーニング(複数選択可)							
<input type="checkbox"/> PBL	<input type="checkbox"/> ディベート	<input type="checkbox"/> ディスカッション	<input type="checkbox"/> フィールドワーク	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション			
<input type="checkbox"/> その他()							
成績評価の方法と割合							
<input type="checkbox"/> 定期試験(%)	<input type="radio"/> 提出物(ノート・レポート)(100%)						
<input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%)	<input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%)						
<input type="checkbox"/> その他()(%)							
歯科衛生士を目指して学んでいくうえで最も重要な基本的知識・技術を習得とともに、医療人としてふさわしい態度を習得するために、本学新潟病院を見学を行う。これらについてのレポートを評価する。							
オフィスアワー							
E-mail: chikage@ngt.ndu.ac.jp(加藤千景)新潟短期大学(短大2階)							

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	◎加藤 千景	病院体験実習オリエンテーション	【病院体験実習オリエンテーション】 1. 医療・歯科医療に関心を持ち、学ぼうとする意欲を持つ。 専門A-1-(12)(13)(14)、専門D-2-4) -②
	準備学習	大学ホームページの新潟病院を閲覧したうえで参加する事。	
第2,6,7,8回	◎加藤 千景	病院体験実習 ・本学の新潟病院を見学し、医療を学ぶ学生として望ましい態度を培う。 ※診療科ローテーションは、オリエンテーション時に配布される資料を参照のこと。	1. 歯科衛生士学生にふさわしい振る舞い、身だしなみ、言葉遣いを実践する。 2. 指導教員やコ・メディカルスタッフとコミュニケーションをする。 3. 患者とコミュニケーションをする。 4. 医療・歯科医療に興味を持ち、学ぼうとする意欲をもつ。 専門A-1-(12)(13)(14)、専門D-2-4) -②
	準備学習	オリエンテーション内容を十分把握したうえで参加する事。	
第3回	◎宮崎 晶子	合同実習① 口腔清掃状態の記録	1. 口腔清掃の必要性を説明する。 2. 自身の口腔清掃状態を把握する。 3. 患者の気持ちを理解する。 専門A-1-②、専門D-2-3) -①②
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論 P126のPCRの箇所を読む。	
第4回	◎宮崎 晶子	合同実習② 口腔清掃状態の記録	1. 口腔清掃の必要性を説明する。 2. 自身の口腔清掃状態を把握する。 3. 患者の気持ちを理解する。 専門A-1-②、専門D-2-3) -①②
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論 P126のPCRの箇所を読む。	
第5回	◎宮崎 晶子	合同実習③ 口腔清掃指導	1. 患者役を通して指導を受ける患者の立場を理解する。 2. 自分に合った口腔清掃を実践する。 専門A-1-(9)(10)、専門D-3-2) -①～⑤
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論 III 4章を読む。	

授業科目名	歯科予防処置論			授業形態	講義		
授業責任者				学年	学期	曜日	授業時間
◎嵐 聖芽	第1学年	前期	金曜日	9:00~10:20・10:40~12:00			
授業概要 歯科予防処置は、歯科医師や歯科衛生士などの専門家によって行われる歯や口腔の疾患を予防するための処置である。本講義では、う蝕発生のメカニズム、う蝕抑制機序、歯周疾患の発生機序、予防手段と処置に関する知識を修得する。							
一般目標(GIO) 歯科衛生士として、歯科予防処置を行うために必要な専門知識を修得する。							
学習成果(ディプロマ・ポリシー)							
<input type="checkbox"/>	① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。						
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。						
<input type="checkbox"/>	③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。						
<input type="checkbox"/>	④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。						
<input type="checkbox"/>	⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。						
学習成果(カリキュラム・ポリシー)							
<input type="checkbox"/>	① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性・社会性・コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。						
<input type="checkbox"/>	④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。						
教科書 【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯周病学 【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法							
参考書 【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯科予防処置論・歯科保健指導論 【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 保健生態学							
アクティブ・ラーニング(複数選択可)							
<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	ディベート	<input type="checkbox"/>	ディスカッション		
<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション				
<input type="checkbox"/>	その他()						
成績評価の方法と割合							
<input type="checkbox"/>	定期試験(100%)	<input type="checkbox"/>	提出物(ノート・レポート)(%)				
<input type="checkbox"/>	ポートフォリオ(%)	<input type="checkbox"/>	成果発表(口頭・実技)(%)				
<input type="checkbox"/>	その他()(%)						
試験は、多選択肢形式および筆記試験形式で出題。15回の授業終了後に試験を行う。							
オフィスアワー							
講義終了後、3号館3階331教室。 その他、質問等は事前にE-mailにて連絡し確認してください。 E-mail:kiyoka@ngtn.du.ac.jp(嵐 聖芽)新潟短期大学 E-mail:chikage@ngtn.du.ac.jp(加藤千景)新潟短期大学 E-mail:hiroki@ngtn.du.ac.jp(阿角祐子)新潟生命医学部歯周病学講座 E-mail:springsea@ngtn.du.ac.jp(清野可那子)新潟短期大学研究室II(3号館2階) 美音終了後E-mailにて連絡し確認してください。							

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第 1 回	◎加藤 千景	口腔および歯の診査	1. 口腔内検査の意義を説明する。 専門B-1-2) -①② 2. 口腔内検査の方法と用いる器材について説明する。 専門B-1-2) -①②
	準備学習	保存修復・歯内療法の該当箇所を事前に確認の上、参加すること。	
第 2 回	◎加藤 千景	歯の硬組織疾患（う蝕）	1. 歯の硬組織疾患の種類を説明する。 専門B-2-① 2. う蝕発病のメカニズムについて説明する。 専門基礎C-1-7) -④ 3. う蝕の病因と病態を説明する。 専門基礎C-1-7) -④⑤
	準備学習	保存修復・歯内療法の該当箇所を事前に確認の上、参加すること。	
第 3 回	◎嵐 聖芽	歯の種類と歯式	1. 歯の部位と方向用語を説明する。 専門基礎B-1-2) -②③ 2. 歯式について説明する。 専門基礎B-1-2) -②③
	準備学習	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学の教科書 2章歯の形態、歯の解剖学総論を確認しておくこと	
第 4 回	◎清野 可那子	歯科予防処置の基礎知識①	1. 歯科予防処置の目的を述べる。 専門C-1-1) 2. 歯科予防処置における歯科衛生士の役割を説明する。 専門B-2-⑧、専門C-1-1)、専門C-1-2) -① 3. 口腔内の付着物、沈着物を述べる。 専門基礎C-1-7) -③、専門C-1-3) -③④ 4. う蝕発病のしくみと発生要因を理解する。 専門基礎C-1-7) -④、専門C-1-3) -⑤ 5. う蝕におけるプラークの関わりとう蝕原因菌について理解する。 専門基礎B-2-4) -①、専門基礎C-2-3) -③⑤ 6. う蝕予防の基礎知識を理解する。 専門C-3-1) -①②③
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習しておくこと	
第 5 回	◎嵐 聖芽	歯科予防処置の基礎知識②	1. 歯科予防処置の目的を述べる。 専門C-1-1) 2. 歯科予防処置における歯科衛生士の役割を説明する。 専門B-2-⑧、専門C-1-1)、専門C-1-2) -① 3. 口腔内の付着物、沈着物を述べる。 専門基礎C-1-7) -③、専門C-1-3) -③④ 4. 歯周病予防を概説できる。 専門C-1-1) -④
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習しておくこと	
第 6 回	◎両角 祐子	歯周病	1. 歯周病の種類と症状を説明する。 専門B-3-① 2. 歯周病の検査を説明する。 専門B-3-③ 3. 歯周治療を説明する。 専門B-3-②④
	準備学習	教科書 歯周病学、歯科予防処置論・歯科保健指導論の当該箇所の要点を確認する。	

第7回	◎清野 可那子	う蝕活動性試験	1. う蝕活動性試験の目的と種類を理解する。 専門C-3-1) -④ 2. う蝕活動性試験の検体と評価項目を理解する。 専門C-3-2) -② 3. う蝕活動性試験の結果から予防方法を考える。 専門C-3-2) -②
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第8回	◎嵐 聖芽	フッ化物応用①	1. う蝕の予防に用いる薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。 専門基礎C-3-11) -①、専門基礎D-2-5) -④⑤、 専門C-3-3) -①② 2. フッ化物の毒性および正しい対処法を理解する。 専門基礎D-2-5) -①②③
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第9回	◎嵐 聖芽	フッ化物応用②	1. 悪心嘔吐発現フッ化物量を算出する。 専門基礎D-2-5) -③ 2. フッ化物歯面塗布法を理解する。 専門C-3-3) -③⑤
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第10回	◎嵐 聖芽	フッ化物洗口とフッ化物配合歯磨剤	1. フッ化物洗口に用いる薬剤と取扱いを理解する。 専門C-3-4) -① 2. フッ化物洗口の対象年齢と洗口方法を理解する。 専門C-3-4) -② 3. フッ化物配合歯磨剤の種類と特徴を理解する。 専門C-3-5) -① 4. フッ化物配合歯磨剤の年齢に応じた使用量を理解する。 専門C-3-5) -②
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第11回	◎清野 可那子	小窩裂溝填塞法の概要	1. 小窩裂溝填塞材の種類と特徴を理解する。 専門C-3-6) -① 2. 小窩裂溝填塞の適応歯を知る。専門C-3-6) -② 3. 小窩裂溝填塞の術式を知る。専門C-3-6) -③
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第12回	◎嵐 聖芽	歯周疾患予防の概要	1. 歯科予防処置の概念と内容を説明する。 専門C-1-1) -① 2. 歯科予防処置の法的位置づけについて説明する。 専門C-1-1) -② 3. 歯科予防措置の範囲と業務を概説できる。 専門C-1-1) -③
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第13回	◎嵐 聖芽	歯周病の原因	1. 歯石の形成過程と成分について説明する。 専門C-1-3) -④
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第14回	◎清野 可那子	歯周病の検査、歯周疾患の予防手段と処置①	1. 歯周病の検査を説明する。専門B-3-③ 2. 予防処置の対象者を把握する方法を説明する。 専門C-1-2) -①
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	

第15回	◎清野 可那子	歯周疾患の予防手段と処置 ②	1. 予防処置の対象者を把握する方法を説明する。 専門C-1-2) -① 2 歯周病の原因と分類、進行および予防方法について説明する。専門C-1-3) ⑥ 3 歯周病予防を概説できる。専門C-1-1) -④
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	

授業科目名

歯科予防処置演習 I

授業形態

演習

授業責任者

◎清野 可那子

学年 学期 曜日

第1学年

前期

金曜日

授業時間

9:00～12:00

授業概要

歯科予防処置は、歯科衛生士の3大業務の一つであり、歯科医師や歯科衛生士などの専門家によつて行われる、歯や口腔の疾患を予防するための処置である。実際に狭い口中では、歯だけではなく柔らかく傷つきやすい歯肉や粘膜が接しており、そのような部位に様々な器具や薬剤などを取り扱うためには、安定した確実な手技が必要となる。

本実習では、歯科予防処置で使用する器具や薬剤の取り扱いについて実習で手技を修得する。

一般目標(GLO)

歯科予防処置における歯科衛生士の役割を理解し、口腔の健康管理を目的とした歯科予防処置を行いうための知識・技能・態度を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)歯科予防処置論・歯科保健指導論
【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)歯周病学
【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法

参考書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)歯科予防処置論・歯科保健指導論
【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)歯周病学
【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法

アクティブラーニング(複数選択可)

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他()

成績評価の方法と割合

- | | |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 定期試験(%) | <input type="radio"/> 提出物(ノート・レポート)(50%) |
| <input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%) | <input type="radio"/> 成果発表(口頭・実技)(50%) |
| <input type="checkbox"/> その他()(%) | |

実習に関するレポート評価(50%)および実技試験(50%)で評価する。また、レポートは提出日から1日遅れるごとに1点減点して評価する。

オフィスアワー

実習終了後E-mailにて連絡し確認してください。
E-mail:springsea@ngt.ndu.ac.jp(清野 可那子)新潟短期大学研究室II(3号館2階)
E-mail:kyokan@ngt.ndu.ac.jp(風 壘芽)新潟短期大学研究室II(3号館2階)
E-mail:ikeday@ngt.ndu.ac.jp(池田 裕子)新潟短期大学研究室III(3号館2階)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	歯石の探知（実習）	1. 歯周診査用探針の操作方法を説明する。 2. 歯周診査用探針で歯石の探知を行う。 専門C-2-2) -①③
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第 2 回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子	手用スケーラーについて（講義）	1. 手用スケーラーの分類を知る。 2. シックルタイプの使用目的を説明する。 3. ゲレーシータイプの操作方法を説明する。 4. ユニバーサルタイプの操作方法を説明する。 専門C-2-3) -①
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第 3 回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	シックルタイプスケーラーの基本操作（実習）	1. シックルタイプスケーラーで歯肉縁上歯石の除去を行う。 専門C-2-3) -②
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第 4 回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	ゲレーシータイプキュレットの基本操作（実習）	1. ゲレーシータイプキュレットで歯肉縁下歯石の除去を行う。 専門C-2-3) -②
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第 5 回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	ユニバーサルタイプキュレットの基本操作（実習）	1. ユニバーサルタイプキュレットで歯肉縁下歯石の除去を行う。 専門C-2-3) -②
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第 6 回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	歯周ポケットの測定（講義・実習）	1. プローピングにより得られる情報を列挙する。 2. 必要な器材を述べる。 専門C-2-2) -① 3. プローピングデータの記入を行う。
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第 7 回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	フッ化物歯面塗布法(1)(実習)	1. フッ化物の毒性および正しい対処法を理解する。 2. 悪心嘔吐発現フッ化物量を算出する。 専門基礎C-3-3) -① 3. フッ化物歯面塗布を実施する。 専門C-3-3) -③④
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第 8 回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	フッ化物歯面塗布法実技試験	1. フッ化物歯面塗布実施上の注意点を説明する。 専門C-3-3) -⑤
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	

授業科目名				授業形態			
歯科保健指導論 I				講義			
授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間			
◎ 煤賀 美緒	第1学年	前期	火曜日	14:40~16:00			
授業概要							
歯科保健指導とは、「個人や集団を対象として、生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動に変容させるために行われる専門的な指導」のことという。本講義では、健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識を習得する。							
一般目標(GLO)							
医療・介護・福祉・保健の場において、人々の健康に対するニーズに科学的根拠をもって応えるために、歯科保健指導に関する知識を修得する。							
学習成果(ディプロマ・ポリシー)							
<input type="radio"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。 <input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 <input type="radio"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。 <input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。							
学習成果(カリキュラム・ポリシー)							
<input type="radio"/> ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。 <input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。 <input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。 <input type="checkbox"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。 <input type="radio"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。							
教科書							
歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 (医歯薬出版)							
参考書							
歯科衛生学シリーズ 保健生態学(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学(医歯薬出版)							
アクティブ・ラーニング(複数選択可)							
<input type="checkbox"/> PBL		<input type="checkbox"/> ディベート		<input type="checkbox"/> ディスカッション			
<input type="checkbox"/> フィールドワーク		<input type="checkbox"/> プレゼンテーション					
<input type="radio"/> その他(インタビュー)							
成績評価の方法と割合							
<input type="radio"/> 定期試験(90 %)		<input type="radio"/> 提出物(ノート・レポート)(10 %)					
<input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%)		<input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%)					
<input type="checkbox"/> その他()(%)							
全15回を網羅した筆記試験(90%)と、インタビュー調査やレポート等課題の実施状況(10%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。							
オフィスアワー							
月～金曜日 16:00～18:00 (3号館2階 研究室II) 連絡先 : mio@ngt.ndu.ac.jp							

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	◎煤賀 美緒	歯科保健指導論の概要と健康	1. 歯科保健指導の概要を説明する。 2. 歯科保健指導を個人・集団に分けて説明する。 3. プライマリヘルスケアを説明する。 4. ヘルスプロモーションを説明する。 5. 健康日本21（第三次）を説明する。 専門A-1-(③④⑤)、2-(①②)
	準備学習	教科書の【健康の概念】【歯科保健指導の位置づけ】に関する内容を一読する。	
第2回	◎煤賀 美緒	行動変容の理論	1. 行動変容に関連する理論を列挙する。 2. 健康信念モデルを説明する。 3. 学習理論（オペラント条件付け）を説明する。 4. 社会的認知理論（自己効力感）を説明する。 5. 行動変容ステージモデルを説明する。
	準備学習	教科書の【行動科学、行動変容】に関する内容を一読する。	
第3回	◎煤賀 美緒	対象別の歯科衛生介入 —新生児期・乳児期—	1. 新生児期・乳児期の一般的特徴を列挙する。 2. 新生児期・乳児期の口腔の特徴を列挙する。 3. 新生児期・乳児期の身体の発育を述べる。 4. 新生児期・乳児期の口腔の発達を述べる。 5. 新生児期・乳児期に望ましい歯科保健行動を述べる。 専門D-3-3)～4)、専門D-4-1)～2)
	準備学習	事前に家族へインタビュー調査を行う。 教科書の【乳児期】に関する内容を一読する。	
第4回	◎煤賀 美緒	対象別の歯科衛生介入 —幼児期—	1. 幼児期の一般的特徴を列挙する。 2. 幼児期の口腔の特徴を列挙する。 3. 幼児期に望ましい歯科保健行動を述べる。 専門D-3-3)～4)、専門D-4-1)～2)
	準備学習	事前に家族へインタビュー調査を行う。 教科書の【幼児期】に関する内容を一読する。	
第5回	◎煤賀 美緒	対象別の歯科衛生介入 —学齢期—	1. 学齢期の一般的特徴を列挙する。 2. 学齢期の口腔の特徴を列挙する。 3. 学校における歯・口に関する課題を列挙する。 4. 学齢期に望ましい歯科保健行動を述べる。 専門D-3-3)～4)、専門D-5-3)-①、D-6-4)-①
	準備学習	教科書の【学齢期】に関する内容を一読する。	
第6回	◎煤賀 美緒	対象別の歯科衛生介入 —青年期—	1. 青年期の一般的特徴を列挙する。 2. 青年期の口腔の特徴を列挙する。 3. 青年期に望ましい歯科保健行動を述べる。 専門D-3-3)～4)、専門D-5-3)-①、D-6-4)-①
	準備学習	教科書の【青年期】に関する内容を一読する。	
第7回	◎煤賀 美緒	対象別の歯科衛生介入 —成人期—	1. 成人期の一般的特徴を列挙する。 2. 成人期の口腔の特徴を列挙する。 3. 成人期に望ましい歯科保健行動を述べる。 専門D-3-3)～4)、専門D-5-3)-①、D-6-4)-①
	準備学習	教科書の【成人期】に関する内容を一読する。	

第8回	◎煤賀 美緒	対象別の歯科衛生介入 —老年期、要介護高齢者—	1. 現代における超高齢社会の現状を述べる。 2. 老年期の一般的特徴を列挙する。 3. 老年期の口腔の特徴を列挙する。 4. 老年期に望ましい歯科保健行動を述べる。 5. 要介護高齢者の身体的特徴を列挙する。 6. 要介護高齢者の精神的特徴を列挙する。 7. 要介護高齢者の口腔の問題点を列挙する。 8. 口腔ケアで配慮する点を述べる。 専門D-3-3)～4)、専門D-5-3)～①、D-6-4)～①
			準備学習 教科書の【老年期、配慮を要する者（要介護高齢者）】に関する内容を一読する。
第9回	◎煤賀美緒	対象別の歯科衛生介入 —障害児者—	1. 障害児者の全身的特徴を列挙する。 2. 障害児者の歯科的特徴を列挙する。 3. 障害児者の口腔の問題点を列挙する。 4. 障害児者の望ましい歯科保健行動を述べる。 専門D-3-3)～4)、専門D-5-3)～①、D-6-4)～①
			準備学習 教科書の【配慮を要する者（障害児者）】に関する内容を一読する。
第10回	◎煤賀 美緒	対象別の歯科衛生介入 —妊娠婦期—	1. 妊娠婦期の一般的特徴を列挙する。 2. 妊娠婦期の口腔の特徴を列挙する。 3. 妊娠婦期に望ましい保健行動を述べる。 専門D-3-3)～4)、専門D-4-1)～2)
			準備学習 事前に家族へインタビュー調査を行う。 教科書の【妊娠婦期】に関する内容を一読する。
第11回	◎煤賀 美緒	生活習慣と非感染性疾患	1. 生活習慣が健康に及ぼす影響を述べる。 2. 非感染性疾患の定義を述べる。 3. 非感染性疾患を列挙する。 専門D-4-1)～①②、D-4-2)～③、専門D-4-3)～④
			準備学習 教科書の【非感染性疾患（NCDs）】に関する内容を一読する。
第12回	◎煤賀 美緒	ストレスマネジメント	1. ストレス反応発生のメカニズムを説明する。 2. ストレッサーを列挙する。 3. ストレスコーピングの方法を列挙する。 4. 自身の経験をもとにストレスコーピングを立案する。 専門D-4-1)～①②、D-4-2)～③、専門D-4-3)～④
			準備学習 教科書の【ストレスマネジメント、ストレスコーピング】に関する内容を一読する。 授業後に提出される課題で自己の事例を検討する。
第13回	◎煤賀 美緒	地域歯科保健指導	1. 地域保健の場の特徴を述べる。 2. 対象に応じた教育活動を述べる。 3. 歯科衛生教育活動に置ける歯科衛生士の役割を説明する。 専門D-7-1)～2)
			準備学習 教科書の【地域歯科保健活動、健康教育】に関する内容を一読する。
第14回	◎煤賀 美緒	大規模災害時の歯科保健活動	1. 大規模災害時の歯科の問題を列挙する。 2. 保健活動フェーズを列挙する。 3. フェーズに応じた歯科保健活動を述べる。 専門基礎D-3-8)～①②、専門D-3-4)～③
			準備学習 教科書の【配慮を要する者（大規模災害被災者）】に関する内容を一読する。

第15回	◎煤賀 美緒	歯科衛生過程	1. 歯科衛生過程の目的を説明する。 2. 歯科衛生過程の構成要素を列挙する。 3. クリティカルシンキングを説明する。 4. 主観的情報と客観的情報を分類する。 5. SOAP形式による実施記録について説明する。 専門 A-1-(3)(4)(5)、2-(1)(2)
	準備学習	教科書の【歯科衛生過程の進め方】に関する内容を一読する。	

授業科目名				授業形態			
歯科診療補助論				講義			
授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間			
◎榎 志佳	第1学年	前期	金曜日	13:00~14:20			
授業概要							
歯科診療補助論は、社会情勢や歯科医療の高度化とともに歯科衛生士としての専門生を多く発揮できる領域である。歯科診療補助を行うためには、基礎的倫理と基礎的技術の理解が必要である。そこで、本講義は、診療環境の真似地面地や歯科診療の流れを理解した上でアシスタントワークに必要な知識を修得する。							
一般目標(GIO)							
歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解するために、歯科診療補助に必要な基礎知識や器具・器材の名称、使用法などを身に付ける。							
学習成果(ディプロマ・ポリシー)							
<input type="checkbox"/>	① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。						
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。						
<input type="radio"/>	③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。						
<input type="checkbox"/>	④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。						
<input type="checkbox"/>	⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。						
学習成果(カリキュラム・ポリシー)							
<input type="radio"/>	① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。						
<input type="checkbox"/>	④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。						
<input type="radio"/>	⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。						
教科書							
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 医歯業出版株式会社							
参考書							
歯科衛生学シリーズ 歯科材料 医歯業出版株式会社 歯科衛生学シリーズ 歯科機器 医歯業出版株式会社							
アクティブラーニング(複数選択可)							
<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	ディベート	<input type="checkbox"/>	ディスカッション		
<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション				
<input type="checkbox"/>	その他()						
成績評価の方法と割合							
<input type="radio"/>	定期試験(60 %)	<input type="radio"/>	提出物(ノート・レポート)(40 %)				
<input type="checkbox"/>	ポートフォリオ(%)	<input type="checkbox"/>	成果発表(口頭・実技)(%)				
<input type="checkbox"/>	その他()(%)						
授業内で実践した項目について、マークシートおよび筆記試験(60%)と、小テストやレポート(40%)により評価を行う。レポートに関しては提出期限を過ぎた場合には減点を行う。また、欠席した場合には、自ら報告相談を行う事。なお、再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。							
オフィスアワー							
木曜日:16:00~17:00・3号館2階 研究室 email : enoki11@ngt.ndu.ac.jp ※事前にメールで要予約							

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第 1 回	◎土田 智子 ◎榎 志佳	感染予防対策①	1. 手洗い手法を分類する。 2. 衛生的手洗い方法を具体的に述べる。 3. 感染予防対策の具体的方法を説明する。 専門E-1-6) ①～④
	準備学習	事前予習資料を期限までに提出すること。	
第 2 回	◎榎 志佳 ◎土田 智子	感染予防対策②	1. 洗浄・消毒・滅菌の定義を述べる。 2. 消毒薬、各種滅菌機器・器具を列記する。 3. 消毒薬、各種滅菌機器・器具を選択する。 4. 消毒薬、各種滅菌機器・器具を取り扱う。 専門E-1-7) ①～④
	準備学習	事前予習資料を期限までに提出すること。	
第 3 回	◎榎 志佳 ◎土田 智子	歯科衛生材料の作成	1. 衛生材料の種類と用途を列举する。 2. 各種衛生材料を作製する。
	準備学習	授業終了後、苦手な操作を練習すること。	
第 4 回	◎土田 智子 ◎榎 志佳	歯科診療補助概要	1. 歯科診療の補助と介助の違いを述べる。 2. 歯科診療補助における歯科衛生士の役割を列举する。 専門E-1-1) ①～④
	準備学習	歯科診療補助論教科書P2～10を予習し、授業に参加すること。	
第 5 回	◎榎 志佳 ◎土田 智子	共同動作①	1. 歯科治療に用いる診療設備を操作する。 2. 共同動作を説明する。 3. 共同動作におけるポジションを具体的に述べる。 4. 歯科治療における患者対応を述べる。 専門E-1-3) ③・④、4) ①～③、5) ①～⑧
	準備学習	歯科診療補助論教科書P80～94を予習し、授業に参加すること。	
第 6 回	◎榎 志佳 ◎土田 智子	共同動作②	1. 共同動作を実践する。 2. フォーハンドシステムの基本動作を説明する。 3. 診療に応じた器具の受け渡しを実践する。 専門E-1-3) ③・④、4) ①～③、5) ①～⑧
	準備学習	前回の内容を復習したうえで授業に参加すること。	
第 7 回	◎榎 志佳 ◎土田 智子 ◎加藤 千景	バキューム操作	1. バキュームの目的について列举する。 2. 部位別に応じたバキューム操作を実施する。 専門E-4) ①～③
	準備学習	歯科診療補助論教科書P80～94を予習し、授業に参加すること。	
第 8 回	◎土田 智子 ◎榎 志佳	歯科材料の取り扱い	1. 基本的な歯科材料の種類・用途を列举する。 2. セメント練和に必要な器材を準備する。 3. スパチュラ・練板を利用してセメントを練和する。 4. 使用後の片付けを実施する。 専門E-2-2) ①・②
	準備学習	歯科診療補助論教科書P283～294を予習し、授業に参加すること。	

授業科目名

歯科材料学

授業形態

講義

授業責任者

◎五十嵐健輔

学年 学期 曜日

第1学年

前期

木曜日

授業時間

13:00~14:20

授業概要

歯科では種々の材料を用いて治療、修復を行う。これらの材料は、歯科医師、歯科衛生士による様々な操作を経て初めて効果的に利用することができる。
歯科理工学では、これらの歯科材料の特徴、性質および基本的な取り扱い方法を理解し、高度化する歯科医療に対応できる知識を習得する。

一般目標(GIO)

歯科診療補助に対応するするために、歯科治療で用いられる主要な歯科材料の種類、特徴および基本的性質を理解し、標準的な取り扱い方法についての知識を習得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科材料 第1版、一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会監修（医歯薬出版株式会社）

参考書

基礎歯科理工学 第1版（医歯薬出版株式会社）
最新 歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版（医歯薬出版株式会社）

アクティブラーニング（複数選択可）

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他（ ）

成績評価の方法と割合

- 定期試験(100%)
- 提出物(ノート・レポート)(%)
- ポートフォリオ(%)
- 成果発表(口頭・実技)(%)
- その他()(%)

一般目標で示した項目について、中間試験(50%)と本試験(50%)により評価する。問題形式は、多選択肢形式(50%)と記述式(50%)とする。
再試験、追試験は必要に応じて実施することができる。

オフィスアワー

歯科理工学講座 研究室(5号館3階)
木曜日 16:10~17:00
連絡先:igaken@ngt.ndu.ac.jp

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第 1 回	◎大熊 一夫	歯科材料の概要	1. 歯科材料の用途・用途別の名称を列挙する。 2. 歯科材料に用いられている素材を列挙する。 3. 歯科材料の使用法の概略を述べる。
	準備学習	教科書の歯科材料の基礎知識 (p 4 ~23) の範囲を予習する。	
第 2 回	◎五十嵐 健輔	印象材	1. 印象材を分類して列挙する。 2. 各種印象材の用途を説明する。 3. 各種印象材の基本的性質を説明する。 4. 各種印象材の取り扱い方法を説明する。専門E-2-3) -①
			準備学習 教科書の印象材 (p43~58) の範囲を予習する。
第 3 回	◎五十嵐 健輔	模型用材料	1. 模型用材料を分類して列挙する。 2. 模型用材料の用途を説明する。 3. 模型用材料の基本的性質を説明する。 4. 模型用材料の取り扱い方法を述べる。専門E-2-1) -①
			準備学習 教科書の模型用材料 (p59~70) の範囲を予習する。
第 4 回	◎五十嵐 健輔	印象採得と模型作製	1. 印象採得の手順を述べる。 2. 印象材に求められる性質を説明する。専門E-2-3) -① 3. 石膏模型作製の手順を述べる。 4. 模型用材料に求められる性質を説明する。専門E-2- 1) -①
			準備学習 教科書の模型用材料 (p43~71) の範囲を予習する。
第 5 回	◎五十嵐 健輔	合着・接着材	1. 合着・接着材の種類を列挙する。 2. 合着・接着材の用途を説明する。 3. 合着・接着材の基本的性質を説明する。 4. 合着・接着材の取り扱い方法を述べる。専門E-2-2) -①
			準備学習 教科書の合着材・接着材 (p72~88) の範囲を予習する。
第 6 回	◎五十嵐 健輔	仮封材・仮着材	1. 仮封材の種類と用途を述べる。 2. 仮封材の基本的性質を説明する。専門E-2-5) -① 3. 仮着材の種類と用途を述べる。 4. 仮着材の基本的性質を説明する。専門E-2-2) -①
			準備学習 教科書の仮封材 (p108~116) および仮着材 (p125~127) の範囲を予習する。
第 7 回	◎五十嵐 健輔	成形修復材料	1. 成形歯冠修復材の種類を述べる。 2. 成形歯冠修復材の用途を説明する。 3. 成形歯冠修復材の基本的性質を説明する。 4. 成形歯冠修復材の取り扱い方法を述べる。専門E-2-4) -①
			準備学習 教科書の成形修復材 (p90~105) の範囲を予習する。

第8回	◎五十嵐 健輔	その他の材料	1 . ワックスの種類と用途、及び基本的性質を述べる。 専門E-2-6) -① 2 . 歯冠修復用材料の種類と基本的性質を述べる。専門 E-2-4) -① 3 . 義歯床用材料の種類と基本的性質を述べる。専門E- 2-6) -② 4 . 歯科用インプラントに用いられる材料の特徴を説明 する。 専門E-2-6) -③
	準備学習		教科書のワックス (p128~133)、金属 (p135~141)、セラミックス (p142~148)、歯科 補綴にかかわる材料 (p162~169) の範囲を予習する。

授業科目名	歯科診療補助演習 I			授業形態	演習	
授業責任者	学年		学期	曜日	授業時間	
◎土田 智子	第1学年		前期	金曜日	13:00~16:00	
授業概要						
歯科診療補助は、社会情勢や歯科医療の高度化とともに歯科衛生士としての専門性を多く発揮できる領域である。歯科診療補助を行うためには、基礎的理論と基礎的技術の理解が必要である。そこで、本講義では、診療環境のマネジメントや歯科診療の流れを理解したうえでのアシスタントワークに必要な知識を修得する。						
一般目標(GIO)						
基本的な感染予防対策を実践するために、実習室の使い方やPPE(個人用防護具)の正しい着用方法など歯科医療行為の基本となる知識・技術・態度の習得する。また、印象材、模型材、コンポジットレジン、各種セメント等、本演習では主な歯科材料を実際に取り扱う事により、その性質を理解し、操作方法によってその性質がどのように変化するかを理解する。						
学習成果(ディプロマ・ポリシー)						
<input type="checkbox"/>	① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。					
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。					
<input type="radio"/>	③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。					
<input type="checkbox"/>	④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。					
<input type="checkbox"/>	⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。					
学習成果(カリキュラム・ポリシー)						
<input type="radio"/>	① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。					
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。					
<input type="checkbox"/>	③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。					
<input type="checkbox"/>	④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。					
<input type="radio"/>	⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。					
教科書						
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 医歯薬出版株式会社 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 医歯薬出版株式会社						
参考書						
歯科衛生学シリーズ 歯科器械 医歯薬出版株式会社						
アクティブラーニング(複数選択可)						
<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	ディベート	<input type="radio"/>	ディスカッション	
<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション			
<input type="checkbox"/>	その他()					
成績評価の方法と割合						
<input type="checkbox"/>	定期試験(%)	<input type="radio"/>	提出物(ノート・レポート)(60%)			
<input type="checkbox"/>	ポートフォリオ(%)	<input type="radio"/>	成果発表(口頭・実技)(40%)			
<input type="checkbox"/>	その他()(%)					
授業内で実践した項目について、授業毎の小テストやレポート(60%)と実技試験(40%)により評価を行う。レポートに関しては提出期限を過ぎた場合には減点を行う。また、欠席した場合には、自ら報告相談を行う事。なお、実技試験の再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。						
オフィスアワー						
金曜日:16:00~17:00・3号館2階 研究室 email:stjo@ngt.ndu.ac.jp ※事前にメールで要予約						

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	◎土田 智子 ◎榎 志佳	感染予防対策	1.衛生的手洗いを実践する。 2.PPE（個人用防護具）を装着する。 3.清潔な操作に配慮する。 専門E-1-6) ①～④
	準備学習	歯科診療補助論で学んだ感染予防対策を復習したうえで実習に参加してください。	
第2回	◎土田 智子 ◎榎 志佳	各種セメント稠度の測定	1.セメントの種類と基本的性質を説明する。 2.各種セメントの練和を実施する。 専門E-2-2) ①②, 5) ①②
	準備学習	合着用、仮着用、仮封用のセメントを復習したうえで実習に参加してください。	
第3回	◎榎 志佳 ◎土田 智子	印象材の稠度の測定	1.印象材の種類を列挙し、基本的性質を説明する。 2.各種印象材の練和を実施する。 3.各種印象材の稠度の変化を比較する。 専門E-2-3) ①～③
	準備学習	印象材の特徴を復習したうえで実習に参加してください。	
第4回	◎榎 志佳 ◎土田 智子	模型材の硬化測定	1.模型用材料の種類を列挙し、基本的性質を説明する。 2.模型材の練和を実施する。 3.模型材の硬化時間を測定する。 専門E-2-1) ①②
	準備学習	模型材の特徴を復習したうえで実習に参加してください。	
第5回	◎榎 志佳 ◎土田 智子	印象採得～模型作成①	1.印象採得を実施する。 2.模型を作製する。 専門E-2-1) ①②, 専門E-2-3) ①～③
	準備学習	印象材・模型材の特徴を復習したうえで実習に参加してください。	
第6回	◎榎 志佳 ◎土田 智子	印象採得～模型作成②	1.歯列模型上で概形印象の採得を実施する。 2.模型を作製する。 専門E-2-1) ①②, 専門E-2-3) ①～③
	準備学習	印象採得時の注意事項を復習したうえで、実習に参加してください。必要に応じて、練和の自己練習を積極的に進めておきましょう。	
第7回	◎土田 智子 ◎榎 志佳	コンポジットレジン硬化測定	1.コンポジットレジンの基本的性質を説明する。 2.コンポジットレジンの硬化深度を測定する。 専門E-2-4) ①②
	準備学習	歯科材料学で学んだ「コンポジットレジン」を復習したうえで参加してください。	
第8回	◎土田 智子 ◎榎 志佳	実技試験	1.セメント練和の前準備をする。 2.セメントを練和する。 3.清潔不潔に配慮した操作を工夫する。 専門E-2-2) ①②, 5) ①②
	準備学習	放課後や昼休みを利用して自己練習を積極的に行いましょう。	

授業科目名	英語 II			授業形態	演習	
授業責任者	木村富士枝		学年	学期	曜日	
			第1学年	後期	火曜日	
授業概要	<p>外國語を学ぶことは教養を身につけるという意味ではもちろん、特に医療を志す者にとって、第1には外國語の良い教科書、文献を読むため、第2には外國語で知識や情報を交換するために必要なことである。本講義では健康・医療に関する英文と、歯科医院での実用的な英会話を通じて英語の基礎を修得する。</p>					
一般目標(GIO)	<p>「読む」「聞く」「話す」「書く」に関する基本的知識と技能を修得し、英語の基礎力を身につける。</p>					
学習成果(ディプロマ・ポリシー)	<p><input type="checkbox"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。</p>					
学習成果(カリキュラム・ポリシー)	<p><input type="checkbox"/> ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。</p>					
教科書	歯科医院での実用英会話(医歯薬出版) Quality of Life (南雲堂)					
参考書	辞書持参 (種類は問わない)					
アクティブラーニング(複数選択可)	<p><input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> ディベート <input type="checkbox"/> ディスカッション</p> <p><input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>					
成績評価の方法と割合	<p><input type="checkbox"/> 定期試験(40 %) <input type="checkbox"/> 提出物(ノート・レポート)(30 %)</p> <p><input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%) <input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(30 %)</p> <p><input type="checkbox"/> その他()(%)</p>					
テキスト・授業内容に関する筆記試験(40%)、Unit 毎のレポート提出(30%)、会話テキスト内容に関する口頭試験(30%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。						
オフィスアワー						
授業終了後						
課題提出・質問等はメールにて(メールアドレスは授業中に提示する)						

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	木村 富士枝	始めに 学習の方法	テキスト各章のタイトルを理解する。
	準備学習	シラバスを熟読し、質問等をまとめておく。	
第2回	木村 富士枝	Periodontal Examination (1) Quality of Life Unit 5 (1)	1. 歯周検査について、基本的な表現を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第3回	木村 富士枝	Periodontal Examination (2) Quality of Life Unit 5 (2)	1. 歯周検査についての応対を聞き、内容を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-3
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第4回	木村 富士枝	Periodontal Examination (3) Quality of Life Unit 5 (3)	1. 歯周検査について、基本的な表現を列記できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第5回	木村 富士枝	Toothbrushing Instructions (1) Quality of Life Unit 6 (1)	1. ブラッシング指導について、基本的な表現を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第6回	木村 富士枝	Toothbrushing Instructions (2) Quality of Life Unit 6 (2)	1. ブラッシング指導についての応対を聞き、内容を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-3
	準備学習		
第7回	木村 富士枝	Toothbrushing Instructions (3) Quality of Life Unit 6 (3)	1. ブラッシング指導について、基本的な表現を列記できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第8回	木村 富士枝	Scaling (1) Quality of Life Unit 8 (1)	1. スケーリングについて、基本的な表現を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-3
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第9回	木村 富士枝	Scaling (2) Quality of Life Unit 8 (2)	1. スケーリングに関する応対を聞き、内容を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-3
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第10回	木村 富士枝	Scaling (3) Quality of Life Unit 8 (3)	1. スケーリングに関する基本的表現を列記できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第11回	木村 富士枝	Maintenance (1) Quality of Life Unit 11 (1)	1. メインテナンスに関する基本的な表現を理解できる。2. Quality of Life (QOL)に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	

第12回	木村 富士枝	Maintenance (2) Quality of Life Unit 11 (2)	1. メインテナンスに関する応対を聞き、内容を理解できる。2. Quality of Life (QOL) に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-3
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第13回	木村 富士枝	Maintenance (3) Quality of Life Unit 11 (3)	1. メインテナンスに関する基本的な表現を列記できる。2. Quality of Life (QOL) に関する文章を読み、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第14回	木村 富士枝	Explanations on Dental Cavities (1) Quality of Life まとめ (1)	1. むし歯の説明に関する基本的な表現を理解できる。2. Quality of Life (QOL) に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-1
	準備学習	次回の授業範囲を予習し、単語・熟語の意味を理解しておく	
第15回	木村 富士枝	Explanations on Dental Cavities (2) Quality of Life まとめ (2)	1. むし歯の説明に関する基本的な表現を列記できる。2. Quality of Life (QOL) に関する文章を聞き、内容を理解できる。基礎B-2-3
	準備学習	試験範囲を復習しておく	

授業科目名	口腔の構造と機能Ⅱ			授業形態	講義	
授業責任者	熊倉 雅彦		学年	学期	曜日	
			第1学年	後期	月曜日	
授業時間	10:40~12:00					
授業概要	<p>前期で学習した組織学・生理学の知識を元に、口腔領域の構造と機能について、口腔組織学・口腔生理学で詳しく学習し理解する。</p>					
一般目標(GIO)	<p>口腔組織学で細胞レベルの口腔領域の構造を、口腔生理学で口腔領域の生理を詳しく学習し、歯科衛生士にとって業務遂行上、密接な関係がある知識を習得する。</p>					
学習成果(ディプロマ・ポリシー)	<p><input type="checkbox"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。</p>					
学習成果(カリキュラム・ポリシー)	<p><input type="checkbox"/> ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。</p>					
教科書	<p>【歯科衛生学シリーズ】人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 第1版 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会(医歯薬出版)</p> <p>【歯科衛生学シリーズ】歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 第1版 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会(医歯薬出版)</p>					
参考書	<p>入門組織学 改訂第2版 牛木辰男 著(南江堂) 口腔の発生と組織 改訂3版 田端純 編著(南江堂) 基礎歯科生理学 第7版 岩田幸一・井上富雄・船橋 誠・加藤隆史 編(医歯薬出版)</p>					
アクティブ・ラーニング(複数選択可)	<p><input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> ディベート <input type="checkbox"/> ディスカッション</p> <p><input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>					
成績評価の方法と割合	<p><input type="checkbox"/> 定期試験(100%) <input type="checkbox"/> 提出物(ノート・レポート)(%)</p> <p><input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%) <input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%)</p> <p><input type="checkbox"/> その他()(%)</p>					
<p>一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験(100%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施する。</p>						
オフィスアワー						
<p>月曜日・12:00~12:30 4号館3階解剖学II研究室、5号館3階生理学研究室 ※事前にメールで要予約(メールアドレスは授業中に提示する)</p>						

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	辻村 麻衣子	人体の発生と顔面の発生	1. 人体の発生を概説する。(専門基礎A-1-3) -②(③④) 2. 顎顔面領域の発生を概説する。(専門基礎B-1-1)-③)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第2回	辻村 麻衣子	歯と歯周組織の発生	1. 歯と歯周組織の発生を概説する。(専門基礎B-1-2) -①)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第3回	辻村 麻衣子	歯の構造（1）エナメル質	1. エナメル質の組織学的構造を概説する。(専門基礎B-1-2) -⑤)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第4回	辻村 麻衣子	歯の構造（2）象牙質	1. 象牙質の組織学的構造を概説する。(専門基礎B-1-2) -⑤)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第5回	辻村 麻衣子	歯の構造（3）歯髄	1. 歯髄の組織学的構造を概説する。(専門基礎B-1-2) -⑥)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第6回	辻村 麻衣子	歯周組織の構造（1）セメント質、歯根膜	1. セメント質の組織学的構造を説明する。(専門基礎B-1-2) -⑤⑦) 2. 歯根膜の組織学的構造を説明する(専門基礎B-1-2) -⑦)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第7回	辻村 麻衣子	歯周組織の構造（2）歯槽骨、歯肉	1. 歯槽骨の組織学的構造を説明する。(専門基礎B-1-2) -⑦) 2. 歯肉の組織学的構造を説明する。(専門基礎B-1-2) -⑦)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第8回	熊倉 雅彦	唾液腺	1. 唾液腺の構造を説明する。(専門基礎B-1-1) -⑯)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第9回	熊倉 雅彦	舌	1. 舌の構造と機能を説明する。(専門基礎B-1-1) -⑰) 2. 口腔粘膜の構造を説明する。(専門基礎B-1-1) -⑯)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第10回	熊倉 雅彦	消化管	1. 消化器の基本構造と機能を概説する(専門基礎A-1-4) - (6) -①) 2. 口腔粘膜の構造を説明する。(専門基礎B-1-1) -⑯)
	準備学習	教科書の該当範囲を読み、要点を確認する。	
第11回	高橋 瞳	歯・歯周組織・口腔感覚	1. 口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明する。(専門基礎B-1-1) -⑰) 2. 歯と口腔粘膜の感覚を説明する。(専門基礎B-1-2) -⑯)
	準備学習	教科書第1章（P. 192-199）を読み、要点を確認する。	

第12回	高橋 瞳	特殊感覚	1. 味覚などの特殊感覚を説明する。(専門基礎B-1-1) -⑯)
	準備学習	教科書第2章(P. 200-212)を読み、要点を確認する。	
第13回	高橋 瞳	咬合・咀嚼・頸反射	1. 咀嚼筋の機能と下顎運動を説明する。(専門基礎B-1-1) -⑯⑰) 2. 咀嚼の意義と舌の機能を説明する。(専門基礎B-1-1) -⑯⑱)
	準備学習	教科書第3章(P. 213-232)を読み、要点を確認する。	
第14回	高橋 瞳	嚥下・嘔吐・発声	1. 摂食・咀嚼・嚥下の機序を説明する。(専門基礎B-1-1) -⑯) 2. 嘔吐を説明する。(専門基礎B-1-1)-⑰) 3. 構音器官としての口腔を説明する。(専門基礎B-1-1) -⑲)
	準備学習	教科書第4-5章(P. 233-259)を読み、要点を確認する。	
第15回	高橋 瞳	唾液	1. 唾液腺の位置と構造を説明する。(専門基礎B-1-1) -⑳) 2. 唾液の性状と役割を説明する。(専門基礎B-1-1)-㉑)
	準備学習	教科書第6章(P. 260-270)を読み、要点を確認する。	

授業科目名	病理学			授業形態	講義	
授業責任者	学年		学期	曜日	授業時間	
東理 賴亮	第1学年	後期		火曜日	14:40~16:00	
授業概要						
病理学とは、疾患の原因、経過や結果を観察・考慮し疾患の科学的根拠を確立する学問である。 本講義では、全身に関連する病理学について歯科衛生士として必要な知識と教養を修得させる。						
一般目標(GIO)						
病変の分類、代表的な疾患の肉眼的・組織学的な特徴や必要な用語の定義を十分に理解し、疾患概念を把握したうえで病態を患者さんにわかりやすく説明できるようになる。						
学習成果(ディプロマ・ポリシー)						
<input type="checkbox"/>	① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。					
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。					
<input type="checkbox"/>	③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。					
<input type="checkbox"/>	④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。					
<input type="checkbox"/>	⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。					
学習成果(カリキュラム・ポリシー)						
<input type="checkbox"/>	① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。					
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。					
<input type="checkbox"/>	③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。					
<input type="checkbox"/>	④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。					
<input type="checkbox"/>	⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。					
教科書						
【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 I 病理学・口腔病理学、配布プリント						
参考書						
歯学生のための病理学(医歯薬出版)						
アクティブラーニング(複数選択可)						
<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	ディベート	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	
<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション			
<input type="checkbox"/>	その他()					
成績評価の方法と割合						
<input type="checkbox"/>	定期試験(100%)	<input type="checkbox"/>	提出物(ノート・レポート)(%)			
<input type="checkbox"/>	ポートフォリオ(%)	<input type="checkbox"/>	成果発表(口頭・実技)(%)			
<input type="checkbox"/>	その他()(%)					
学期末試験(多選択肢形式および記述筆記試験)の成績(100%)で進級を決定する。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。						
オフィスアワー						
木曜日・16:00~17:00・病院3階 病理学講座 ※事前にメールで要予約(E-mail: ykanriy@ngt.ndu.ac.jp(東理)、h-sano@ngt.ndu.ac.jp(佐野))						

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	東理 賴亮	病因論（全身の病理と口腔病理） 病理学総論での6大病変の分類を知り、病因として外因と内因があることを理解する。	1.口腔領域に発生する疾病的発生機序および病理学的特徴を説明する。 専門基礎C-1
	準備学習	テキストI編 第1章 (P2~6) の要点確認	
第2回	佐野 拓人	退行性病変 細胞傷害と代謝障害の病因と病態を理解する。	1.細胞・組織の変性、萎縮、壊死について説明する。 2.ネクローシスとアポトーシスの違いを説明する。 専門基礎C-1-1) -①,②,③
	準備学習	テキストI編 第4章 (P23~33) の要点確認	
第3回	東理 賴亮	進行性病変 細胞の増殖・分化・細胞死を理解する。また、創傷治癒と異物処理および肉芽形成の役割を考察する。	1.肥大、増生、化生、再生について説明する。 2.肉芽組織とその構成成分について説明する。 3.肉芽組織が関与する病変を説明する。 4.創傷の治癒過程を説明する。 専門基礎C-1-2) -①~④
	準備学習	テキストI編 第5章 (P34~41) の要点確認	
第4回	東理 賴亮	循環障害 血管・リンパ管で構成される全身循環系と血球成分・血漿成分の役割を知り、それらの異常に伴う病変を理解する。	1.虚血、充血、うっ血の相違を説明する。 2.出血の原因、種類、転帰を説明する。 3.血栓、塞栓の形成機序、転帰を説明する。 4.梗塞の成因、転帰を説明する。 5.水腫（浮腫）の原因、症状、転帰を説明する。 6.一次性ショックと二次性ショックの相違を説明する。 専門基礎C-1-3) -①~⑥
	準備学習	テキストI編 第3章 (P14~21) の要点確認	
第5回	東理 賴亮	炎症 炎症の成り立ちと組織反応に寄与する細胞・因子を知り、局所の防御反応の意味を理解する。	1.炎症の定義を説明する。 2.炎症に関与する細胞の種類と機能を説明する。 3.炎症の分類を説明する。 4.滲出性炎とその経時的变化を説明する。 5.膿瘍、蜂窩織炎、蓄膿症の相違を説明する。 専門基礎C-1-4) -①~⑥
	準備学習	テキストI編 第6章 (P43~52) の要点確認	
第6回	東理 賴亮	免疫 自己と非自己を認識し、非自己を排除する生命維持の防御反応の全般を理解する	1.免疫応答の基本を説明する。 2.免疫異常を説明する。
	準備学習	テキストI編 第6章 (P52~58) の要点確認	
第7回	東理 賴亮	腫瘍 生理的・病的な可逆性増殖と腫瘍（新生物）の特徴である自律的増殖の違いを理解し、腫瘍の名称と分類、特徴を理解する。	1.腫瘍の定義を説明する。 2.腫瘍の病因と進展を説明する。 3.腫瘍の局所での発育、浸潤、転移を説明する。 4.良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明する。 5.腫瘍の分類を説明する。 専門基礎C-1-6) -①~⑥
	準備学習	テキストI編 第7章 (P60~68) の要点確認	

第8回	東理 賴亮	総括（一般病理のまとめ）各講義内容をふりかえり、歯科診療補助に繋がる知識の整理・整頓を行う。	
	準備学習	第1～7回までの講義内容で不明な点を抽出して、質問の準備をする。	

授業科目名	微生物学			授業形態	講義		
授業責任者	丸山 昂介	学年	第1学年	学期	後期	曜日	火曜日
授業概要	<p>口腔の病気には、2大疾患であるう蝕と歯周病をはじめ、微生物に起因する感染症が多い。そこで、さまざまな微生物の特質を学び、その上で口腔病原微生物の詳細な知識を習得する。また、生体側の防御機構である免疫反応は、病気の信頼や治療に深く関わると共にアレルギーや自己免疫疾患などの負の作用を引き起こす。それらを関連付けて理解するため、感染と免疫についての知識の習得を行う。</p>						
一般目標(GIO)	<p>歯科衛生士として必要な微生物学の知識を身につけるために、さまざまな微生物の性質と病原性を学び、歯科衛生士病無における清潔の概念や感染症について認識するとともに、演繹反応が生体に対して防御機能と傷害機能の二つの側面を持つことを理解する。</p>						
学習成果(ディプロマ・ポリシー)							
<input type="checkbox"/>	① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。						
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。						
<input type="checkbox"/>	③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。						
<input type="checkbox"/>	④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。						
<input type="checkbox"/>	⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。						
学習成果(カリキュラム・ポリシー)							
<input type="checkbox"/>	① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。						
<input type="checkbox"/>	④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。						
教科書	疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学・第2版・一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修・医薬出版社						
参考書							
アクティブラーニング(複数選択可)							
<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	ディベート	<input type="checkbox"/>	ディスカッション		
<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション				
<input type="checkbox"/>	その他()						
成績評価の方法と割合							
<input type="checkbox"/>	定期試験(100%)	<input type="checkbox"/>	提出物(ノート・レポート)(%)				
<input type="checkbox"/>	ポートフォリオ(%)	<input type="checkbox"/>	成果発表(口頭・実技)(%)				
<input type="checkbox"/>	その他()(%)						
一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験(100%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施する。							
オフィスアワー							
木曜日・16:00~17:00・新潟生命歯学部微生物学講座(4号館3階) E-mail : kou@ngt.ndu.ac.jp 事前にメールで予約すること							

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	丸山 昂介	微生物・化学療法・免疫学の概要	1. 疾病の原因としての病原微生物を概説する。 2. 化学療法の進歩と問題点を概説する。 3. 免疫学の進歩を概説する。 専門基礎分野C-2-1) -⑧ C-2-2) -① C-2-3) -①
	準備学習	教科書1~4ページを読み、要点を確認する。	
第2回	丸山 昂介	微生物の一般性状	1. 微生物の分類と性状の違いを説明する。 2. 細菌の分類と基本的な形態および構造との関連を説明する。 3. 細菌の代謝と増殖に関連する要因を説明する。 専門基礎分野C-2-1) -⑤⑨
	準備学習	教科書13~19ページを読み、要点を確認する。	
第3回	丸山 昂介	細菌の感染	1. 細菌の定着因子を説明する。 2. 細菌の毒素を説明する。 3. 微生物と宿主の相互作用を概説する。 専門基礎分野C-2-1) -②④⑤
	準備学習	教科書19~21ページを読み、要点を確認する。	
第4回	丸山 昂介	ウイルスの性状と病原性	1. ウィルスの構造と分類を説明する。 2. ウィルスの感染と増殖のシステムについて説明する。 3. 主なウィルス感染症を説明する。 専門基礎分野C-2-1) -①②④⑤
	準備学習	教科書22~27ページを読み、要点を確認する。	
第5回	丸山 昂介	真菌、原虫の性状と病原性	1. 真菌と原虫の構造を説明する。 2. 真菌と原虫の感染症を説明する。 専門基礎分野C-2-1) -①②④⑤
	準備学習	教科書27~31・154~160ページを読み、要点を確認する。	
第6回	丸山 昂介	化学療法	1. 選択性について説明する。 2. 化学療法薬の種類と特徴を説明する。 3. 薬剤感受性試験の意義と方法を説明する。 4. 薬剤耐性の機序を説明する。 5. 化学療法薬の有害作用を説明する。 専門基礎分野C-2-1) -⑧ C-3-11) -②
	準備学習	教科書40~50ページを読み、要点を確認する。	
第7回	丸山 昂介	口腔微生物	1. 口腔内の様々な部位における常在菌を説明する。 2. 唾液と歯肉滲出液に含まれる抗茵因子を説明する。 3. デンタルプラークの成り立ちについて説明する。 4. プラークの細菌叢について説明する。 専門基礎分野C-2-3) -①②③
	準備学習	教科書64~77ページを読み、要点を確認する。	
第8回	丸山 昂介	バイオフィルムとう蝕	1. バイオフィルムの性状と感染症を説明する。 2. う蝕の病態を説明する。 3. ミュータンスレンサ球菌の病原因子を説明する。 専門基礎分野C-2-3) -④⑤
	準備学習	教科書75~90ページを読み、要点を確認する。	

第9回	丸山 昂介	歯周病	1. 歯周病の分類と病態を説明する。 2. 歯周病原細菌の種類と病原因子を説明する。 専門基礎分野C-2-3) -④⑥
	準備学習	教科書91~100ページを読み、要点を確認する。	
第10回	丸山 昂介	その他の口腔感染症	1. 頸放線菌症の原因菌と病態を説明する。 2. 口腔カンジダ症の原因菌と病態を説明する。 3. 口腔内のウイルス関連疾患を説明する。 4. 口腔細菌と誤嚥性肺炎及び細菌性心内膜炎との関連を説明する。 専門基礎分野C-2-3) -②④
	準備学習	教科書101~105ページを読み、要点を確認する。	
第11回	丸山 昂介	免疫（1）	1. 非特異的防御機構を説明する。 2. 特定的防御機構を説明する。 3. 白血球の分類と機能を説明する。 4. 体液中の抗菌物質を説明する。 専門基礎分野C-2-2) -①②③
	準備学習	教科書162~168ページを読み、要点を確認する。	
第12回	丸山 昂介	免疫（2）	1. 抗原の提示と認識の機構を説明する。 2. 抗体産生機能を説明する。 3. 抗体の種類と機能を説明する。 4. 抗原抗体反応を利用した診断法を説明する。 5. 細胞性免疫の種類と機序を説明する。 専門基礎分野C-2-2) -①②③④
	準備学習	教科書168~174ページを読み、要点を確認する。	
第13回	丸山 昂介	免疫（3）	1. ワクチンの種類と機能を説明する。 2. アレルギーの分類と関連細胞を説明する。 3. アレルギーの機序を説明する。 4. アレルギーの症状を説明する。 専門基礎分野C-2-2) -④⑤
	準備学習	教科書175~189ページを読み、要点を確認する。	
第14回	丸山 昂介	感染論	1. 感染の分類を説明する。 2. 院内感染の感染経路を説明する。 3. 日見感染の経緯を説明する。 4. 減菌と消毒の重要性を説明する。 専門基礎分野C-2-1) -④⑦
	準備学習	教科書5~12ページを読み、要点を確認する。	
第15回	丸山 昂介	消毒と滅菌	1. 院内感染対策としての標準予防策を説明する。 2. 減菌と消毒の定義を説明する。 3. 減菌方法の種類と特徴を説明する。 4. 消毒薬の使い方を説明する。 専門基礎分野C-2-1) -⑥⑦
	準備学習	教科書51~61ページを読み、要点を確認する。	

授業科目名				授業形態
薬理学			講義	
授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間
福井 佳代子	第1学年	後期	金曜日	9:00~10:20

授業概要
薬理学とは薬と生体との相互作用の結果である生体反応を研究する学問である。薬は疾病を治療するために投与されるが、生体にとっては異物であるため適用法を誤ると「毒」となる。臨床業務に携わる歯科衛生士は、使用薬物の主作用が最大限に発揮され、副作用などの生体への悪影響が出現しないよう、薬に対する十分な知識を必要とし、患者に適切な服薬指導が行えなければならぬ。本講義では総論(薬物療法、作用機序、体内動態などの基本原理)と各論(臨床応用される薬物の適正使用)に分け、薬物の安全かつ適切な使用法を学習する。

一般目標(GLO)
コメディカルとして臨床において適正な薬物療法を実践するために、一般薬物の薬理作用、副作用、生体と薬物の相互作用を学習するとともに、臨床で使用される薬剤の正しい知識と適正な使い方を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)
<input type="checkbox"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
<input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
<input type="checkbox"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
<input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
<input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)
<input type="checkbox"/> ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
<input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
<input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
<input type="checkbox"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
<input type="checkbox"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書
歯科衛生学シリーズ(医歯薬出版) 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学 第2版

参考書
現代歯科薬理学 第7版(医歯薬出版)

アクティブラーニング(複数選択可)
<input type="checkbox"/> PBL
<input type="checkbox"/> ディベート
<input type="checkbox"/> ディスカッション
<input type="checkbox"/> フィールドワーク
<input type="checkbox"/> プレゼンテーション
<input type="checkbox"/> その他()

成績評価の方法と割合
<input type="radio"/> 定期試験(80 %)
<input type="radio"/> 提出物(ノート・レポート)(20 %)
<input type="radio"/> ポートフォリオ(%)
<input type="radio"/> 成果発表(口頭・実技)(%)
<input type="radio"/> その他()(%)

定期試験(多肢選択試験)80%、提出物 20%で評価する。

オフィスアワー
月曜日～木曜日 16:00～17:00 新潟生命歯学部薬理学研究室(5号館3階)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	原基	末梢神経作用薬、局所麻酔薬 ・自律神経作用薬と遮断薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬の種類、作用機序、特徴、適応症、副作用を理解する。	1.主な末梢神経作用薬を列記し、薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-3) -⑧,C-3-6) -① 2.主な局所麻酔薬を列記し、薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-6) -②
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、各論2、14章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	
第2回	原基	中枢神経作用薬 ・全身麻酔薬、催眠薬、向精神薬、抗てんかん薬、鎮痛薬の種類、作用機序、特徴、副作用、適応症を理解する。	1.主な中枢神経作用薬を列記できる。専門基礎C-3-5) -① 2.主な中枢神経作用薬の薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-5) -①
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、各論3章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	
第3回	原基	循環器系作用薬、腎臓作用薬 ・抗高血圧薬、抗狭心症薬、強心薬、抗不整脈薬の種類、作用機序、特徴、適応症、副作用を理解する。	1.循環器系に作用する主な薬物を列記できる。専門基礎C-3-9) -③ 2.循環器系に作用する主な薬物の薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-9) -③ 3.腎臓に作用する主な薬物の薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-9) -②
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、各論4、5章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	
第4回	原基	呼吸器系作用薬、消化器作用薬、抗炎症薬、鎮痛薬、免疫と薬 ・抗喘息薬、呼吸興奮薬、消化器作用薬、抗炎症薬、鎮痛薬の種類、作用機序、特徴、適応症、副作用を理解する。 ・炎症の成因、および抗炎症薬の種類、作用機序、特徴、副作用、歯科適応を理解する。	1.呼吸器系に作用する主な薬物を列記できる。専門基礎C-3-9) -① 2.呼吸器系に作用する主な薬物の薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-9) -① 3.消化器系に作用する主な薬物の薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-9) -② 4.炎症のメカニズムを概説できる。専門基礎C-3-8) -① 5.主な抗炎症薬、解熱鎮痛薬、消炎酵素薬を列記し、薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-8) -②,C-3-7) -①
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、各論6、7、9、12、13章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	
第5回	原基	抗貧血薬、止血薬、抗凝血薬 ・出血と血液凝固機構、および止血薬、抗凝血薬、抗貧血薬の種類、作用機序、特徴、適応症、薬物相互作用を理解する。	1.主なビタミンとホルモンを列記し、薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-8) -②,C-3-13) -① 2.主な抗アレルギー薬、骨粗鬆症治療薬を列記し、薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-13) -②
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、各論8章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	
第6回	原基	ビタミンとホルモン、抗アレルギー薬、骨粗鬆症治療薬 ・抗アレルギー薬の種類、作用機序、特徴、副作用、歯科適応を理解する。 ・骨粗鬆症治療薬の種類、作用機序、特徴、副作用を理解する。	1.主なビタミンとホルモンを列記し、薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-8) -②,C-3-13) -① 2.主な抗アレルギー薬、骨粗鬆症治療薬を列記し、薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-13) -②
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、各論1、11章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	

第7回	福井 佳代子	薬理作用と作用機序 ・薬理作用の基本形式、薬物の作用機序および薬物受容体の種類と機能を理解する。	1.薬物療法（原因療法、対症療法）を説明できる。専門基礎C-3-2) -① 2.薬理作用の基本形式と分類を説明できる。専門基礎C-3-2) -② 3.薬物の作用機序（受容体を介する作用、介さない作用）を説明できる。専門基礎C-3-3) -①
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、総論1章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	
第8回	福井 佳代子	薬物の用量と反応、薬物の適用方法 ・薬物の用量の区分（有効量、中毒量等）、作用強度と安全性を示す指標（ED50、LD50、安全域）ならびに薬物療法の基本となる適用方法の種類とその特徴を理解する。	1.薬理作用を規定する要因（用量、作用、感受性）とED50、LD50、安全域について説明できる。専門基礎C-3-3) -④ 2.薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。専門基礎C-3-3) -② 3.薬物の剤形を説明できる。専門基礎C-3-4) -③
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、総論3章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	
第9回	福井 佳代子	薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄） ・薬物の移行（吸収、分布）体内変化（代謝）体内消失（排泄）の基本的特性を理解する。	1.薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）を説明できる。専門基礎C-3-3) -③ 2.薬理作用を規定する要因（用量、作用、感受性）と生物学的半減期について説明できる。専門基礎C-3-3) -④
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、総論2章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	
第10回	福井 佳代子	医薬品の保管、剤形、法令、調剤と処方せん ・薬物に関する法令、保管法、剤形の種類と特徴、および調剤上の注意、処方せんの記載事項などを理解する。	1.医薬品、医療機器等の品質、有効性および安全性の確保等に関する法律（医薬品医療機器等法）を概説できる。専門基礎C-3-1) -① 2.日本薬局方を概説できる。専門基礎C-3-1) -② 3.医薬品、医薬部外品、化粧品の分類を説明できる。専門基礎C-3-1) -③ 4.毒薬、劇薬および麻薬などの表示と薬物の保存方法を説明できる。専門基礎C-3-1) -①,④、C-3-4) -② 5.処方箋の記載事項を概説できる。専門基礎C-3-4) -①
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、総論7.8章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	
第11回	福井 佳代子	薬物の副作用、薬物の連用・併用・相互作用 ・薬物の副作用・有害作用および連用による耐性、蓄積、依存性、薬物の併用による協力、拮抗、相互作用を理解する。	1.薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎頬面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。専門基礎C-3-3) -⑧ 2.薬物の併用による相互作用（協力作用、拮抗作用）を説明できる。 専門基礎C-3-3) -⑤ 3.薬物の連用の影響（薬物耐性、蓄積および薬物依存）を説明できる。。 専門基礎C-3-3) -⑥
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、総論4、5章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	
第12回	福井 佳代子	ライフステージと薬物、医薬品の開発 ・小児、高齢者、妊娠への薬物投与で注意すべき事項および医薬品の開発プロセスを理解する。	1.妊娠婦・小児・高齢者への薬物投与の特徴を説明できる。 専門基礎C-3-3) -⑦ 2.服薬に関する一般的な事項を説明できる。 専門基礎C-3-17) -① 3.対象者別の服薬指導を説明できる。 専門基礎C-3-17) -②
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、総論6章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	

第13回	福井 佳代子	消毒薬、う蝕とう蝕予防薬、歯磨剤 ・ 使用される薬物の種類、薬理作用、特徴、用法を理解する。	1.主な消毒薬を列記し、薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-11) -② 2.う蝕予防に用いる薬を列記し、薬理作用、作用機序、副作用について説明できる。専門基礎C-3-15) -② 3.洗口薬について説明できる。専門基礎C-3-4) -③
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、各論16、17章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	
第14回	二宮 一智	抗感染症薬、抗悪性腫瘍薬、頸口腔粘膜疾患と薬 ・ 抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬の分類、種類、作用機序、特徴、副作用、薬物相互作用、歯科適応を理解する。	1.感染症を概説できる。専門基礎C-3-11) -① 2.主な抗感染症薬を列記できる。専門基礎C-3-11) -② 3.主な抗感染症薬の薬理作用、作用機序、副作用について説明できる。専門基礎C-3-11) -② 4.主な抗悪性腫瘍薬の薬理作用、作用機序、副作用について説明できる。専門基礎C-3-14) -① 5.主な頸口腔粘膜疾患薬の薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-11) -②
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、各論10、15、20章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	
第15回	福井 佳代子	歯内療法薬、歯周疾患治療薬、漢方薬 ・ 使用される薬物の種類、薬理作用、特徴、用法を理解する。	1.歯・歯髓疾患に用いる薬物を列記し、薬理作用、作用機序、副作用について説明できる。専門基礎C-3-15) -① 2.歯周治療に用いる薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。専門基礎C-3-16) -① 3.歯周疾患の予防に用いる薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。専門基礎C-3-16) -② 4.代表的な漢方薬を列記し、薬理作用、作用機序、主な副作用について説明できる。専門基礎C-3-1) -③
	準備学習	教科書を用いて授業範囲、各論18、19、21章を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと	

授業科目名	口腔衛生学・衛生統計学			授業形態	講義
授業責任者	小松崎 明	学年	第1学年	学期	後期
曜日				授業時間	10:40~12:00
授業概要					
口腔衛生学は衛生学の一分野で、歯・口腔の健康を保持し、健康に導く理論や方法を医学的な面から追及する学問である。将来、地域を主体とする口腔保健活動に参画するために口腔衛生学的な考え方と保健医療統計分析に必要な知識を身につける。					
一般目標(GLO)					
口腔疾患の予防と口腔機能の保持増進の意義を理解し、口腔保健を向上させるために必要となる基本的知識と技法について修得し、口腔保健活動の基盤となる法律・組織とそれぞれの口腔保健サービスの進め方などについて必要な知識を身につける。					
学習成果(ディプロマ・ポリシー)					
<input type="checkbox"/>	① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。				
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。				
<input type="checkbox"/>	③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。				
<input type="checkbox"/>	④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。				
<input type="checkbox"/>	⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。				
学習成果(カリキュラム・ポリシー)					
<input type="checkbox"/>	① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。				
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。				
<input type="checkbox"/>	③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。				
<input type="checkbox"/>	④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。				
<input type="checkbox"/>	⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。				
教科書					
【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版株式会社) 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学					
参考書					
歯学生のための健康科学 第4版(一世出版)					
アクティブ・ラーニング(複数選択可)					
<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	ディベート	<input type="checkbox"/>	ディスカッション
<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション		
<input type="checkbox"/>	その他()				
成績評価の方法と割合					
<input type="checkbox"/>	定期試験(100%)	<input type="checkbox"/>	提出物(ノート・レポート)(%)		
<input type="checkbox"/>	ポートフォリオ(%)	<input type="checkbox"/>	成果発表(口頭・実技)(%)		
<input type="checkbox"/>	その他()(%)				
論述試験・客観試験(100点)					
オフィスアワー					
水曜日 16:00~17:00 連絡先 E-mail: rabbit@ngt.ndu.ac.jp(小松崎 明)新潟短期大学(3号館2階) E-mail: sachie@ngt.ndu.ac.jp(小野 幸絵)新潟生命衛生学部衛生学研究室(4号館3階) E-mail: mio@ngt.ndu.ac.jp(煤賀 美緒)新潟短期大学(3号館2階) E-mail: springsea@ngt.ndu.ac.jp(清野 可那子)新潟短期大学(3号館2階)					

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第 1 回	小野 幸絵	口腔衛生学の意義、口腔の形態と機能	1. 口腔の健康の定義を概説する。 専門基礎D-2-1) -①② 2. 齒・口腔の形成および発育・発達について説明する。 専門基礎D-2-1) -③④⑤ 3. 口腔と全身の健康の関係について説明する。 専門基礎D-2-1) -②
	準備学習	教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 ・歯・口腔の形成および発育・発達 ・口腔と全身の健康の関係	
第 2 回	清野 可那子	歯・口腔の不潔物	1. 齒・口腔の付着物と沈着物を説明する。 専門基礎D-2-1) -⑧ 2. 不潔物の評価法を説明する。
	準備学習	前期歯科予防処置論 第5回講義の内容を事前に確認の上、参加すること。	
第 3 回	煤賀 美緒	口腔清掃	1. 口腔清掃の意義・口腔清掃法の種類・分類・用具・不適切な口腔清掃による為害作用とその予防法を列挙する。 専門基礎D-2-2) -①②③ 2. 歯磨剤と洗口剤の種類を列挙する。 3. 歯磨剤と洗口剤の組成について説明する。 専門基礎D-2-2) -④⑤⑥
	準備学習	教科書の以下に関連する内容を一読する。 ・口腔清掃の意義や方法 ・口腔清掃に使用する用具、歯磨剤・洗口剤 ・口腔清掃による為害作用 歯科保健指導の実習と関連づける	
第 4 回	清野 可那子	う蝕予防	1. う蝕発生のメカニズム・発生要因・う蝕活動性試験の意義について説明する。 専門基礎D-2-4) -① 2. リスクに応じたう蝕予防法について概説する。 専門基礎D-2-4) -④ 3. う蝕発病の第一次予防、第二次予防および第三次予防について説明する。 専門基礎D-2-4) -⑤ 4. う蝕発生要因に対する予防法を列挙する。
	準備学習	前期歯科予防処置論 第5回講義の内容を事前に確認の上、参加すること。	
第 5 回	清野 可那子	フッ化物の特徴	1. 人間生態系におけるフッ化物の意義・生体におけるフッ化物の代謝を説明する。 専門基礎D-2-5) -① 2. フッ化物の毒性・う蝕予防のメカニズムを説明する。 専門基礎D-2-5) -③ 3. フッ化物応用によるう蝕予防を列挙する。 専門基礎D-2-5) -④ 4. ライフステージに応じたフッ化物の応用方法を説明する。 専門基礎D-2-5) -⑥
	準備学習	教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 ・フッ化物の全身応用法、局所応用法の種類 ・フッ化物の毒性	

第6回	小野 幸絵	公衆歯科衛生	1. 公衆衛生活動と歯科衛生士との関わり・進め方について説明する。 2. ヘルスプロモーションやノーマライゼーションなどの地域保健の新たな概念を概説する。 専門基礎D-3-1) -②
	準備学習	教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 ・公衆衛生活動 公衆衛生学（前期講義）の内容を復習する。	
第7回	小野 幸絵	歯周疾患、不正咬合の予防	1. 歯周疾患の炎症の広がりと症状・種類と原因を説明する。 専門基礎D-2-6) -①② 2. 歯周疾患の予防法を列挙する。 専門基礎D-2-6) -⑤ 3. 定期的予防処置の必要性を説明する。 専門基礎D-2-6) 4. 不正咬合を起こす要因を列挙し、予防可能な要因について説明する。 専門基礎D-2-7) -③
	準備学習	教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 ・歯周疾患の予防方法 ・定期的予防処置の内容	
第8回	小野 幸絵	地域歯科保健活動	1. 地域を担う組織の仕組みと特徴を概説する。 専門基礎D-3-1) -① 2. 地域歯科保健に関係する保健福祉関係施策の変革について概説する。 専門基礎D-3-1) -⑤ 3. ライフステージごとの口腔保健施策を概説する。 専門基礎D-3-1) -⑥
	準備学習	・地域保健の流れ（前期講義）を復習する。	
第9回	小野 幸絵	母子歯科保健	1. 妊産婦への歯科保健指導の要点を説明する。 専門基礎D-3-2) -③ 2. 1歳6か月児・3歳児健康診査の結果からう蝕罹患型を正確に分類する。 専門基礎D-3-2) -⑤ 3. う蝕罹患型に応じた歯科保健指導の要点を列挙する。 専門基礎D-3-2) -⑥ 4. 妊産婦期と乳幼児期の口腔保健管理について説明する。 専門基礎D-3-2) -⑦
	準備学習	・母子保健（前期講義）の内容を復習する。	
第10回	小野 幸絵	学校歯科保健	1. 学校歯科健康診査の検査項目を列挙し、事後措置内容・基準を説明する。 専門基礎D-3-3) -⑦⑧ 2. 学校歯科健康診査後のCOとGOの事後措置を説明する。 専門基礎D-3-3) -⑨ 3. 口腔領域に関連のある職業性疾病とそれに対する特殊健康診断について説明する。 専門基礎D-3-5) -⑦
	準備学習	・学校保健・産業保健（前期講義）の内容を復習する。	

第11回	小野 幸絵	成人歯科保健 高齢者歯科保健	1. 成人期の口腔保健管理について説明する。 専門基礎D-3-4) -② 2. 高齢者の歯科保健対策について説明する。 専門基礎D-3-6) -①
	準備学習	・成人保健・高齢者保健（前期講義）の内容を復習する。	
第12回	小野 幸絵	歯科疾患の疫学	1. データと情報の違いを説明する。 専門基礎D-5-1) -① 2. 疫学の目的を説明できる。 専門基礎D-5-2) -① 3. 調査方法・研究方法を分類し、スクリーニング検査を説明する。 専門基礎D-5-2) -③④⑤
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 データの取り扱い方、疫学の目的、調査・研究方法の種類	
第13回	小松崎 明	疫学指標の活用	1. 指標と指數を列挙する。 2. う蝕の指數・歯周疾患の指數・口腔清掃状態の指數を説明する。 専門基礎D-5-3)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 う蝕・歯周疾患の指標	
第14回	小野 幸絵	う蝕・歯周疾患の疫学特性	1. 検定の流れ、相関関係を説明する。 2. t検定・ χ^2 検定を説明する。 専門基礎D-5-6) -①②③
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 保健統計の方法、保健統計の分析演習	
第15回	小野 幸絵	総括	1. 講義の内容を理解し、これまでの学習項目を説明する。
	準備学習	各講義の内容の復習を行う。	

授業科目名				授業形態				
衛生行政・社会福祉			講義					
授業責任者	学年	学期	曜日	授業時間				
鶴田 剛司	第1学年	後期	水曜日	13:00~14:20				
授業概要								
<p>歯科衛生士の活躍の場は歯科診療室内だけではない。これから歯科衛生士は行政、学校、介護など社会の多くの現場で口腔領域の専門職として、口腔の健康維持を通じて人々の健康で幸せな生活を支えていく必要がある。そのためには、歯科医療従事者以外の他職種の関係者と連携をとり協力して業務を進める能力が必要となる。そこで、本講義では、こうした他職種の関係者と適切な業務を進めるために必要となる基礎的知識を修得し、今後の歯科衛生士がはたすべき役割について考えてみたい。</p>								
一般目標(GLO)								
<p>行政関係者、学校関係者、介護関係者などの他職種従事者との密接・良好な連携の中で業務を進めるために、衛生行政・社会福祉関係の制度と法律を理解し、歯科衛生士が果たすべき役割を修得する。</p>								
学習成果(ディプロマ・ポリシー)								
<p><input type="radio"/> ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。</p>								
学習成果(カリキュラム・ポリシー)								
<p><input type="radio"/> ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。</p> <p><input type="radio"/> ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。</p>								
教科書								
<p>【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度</p>								
参考書								
<p>歯学生のための健康科学 第4版(一世出版)</p>								
アクティブラーニング(複数選択可)								
<p><input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> ディベート <input type="checkbox"/> ディスカッション</p> <p><input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p>								
成績評価の方法と割合								
<p><input type="radio"/> 定期試験(90%) <input type="radio"/> 提出物(ノート・レポート)(10%)</p> <p><input type="checkbox"/> ポートフォリオ(%) <input type="checkbox"/> 成果発表(口頭・実技)(%)</p> <p><input type="checkbox"/> その他()(%)</p>								
<p>成績は以下の配点で評価する 本試験(論述試験:50点、客観試験:40点)、その他(課題提出状況等:10点)</p>								
オフィスアワー								
<p>月曜日 16:00~17:00 新潟生命歯学部衛生学講座(4号館3階) 連絡先 kamoda-t@ngt.ndu.ac.jp(鶴田 剛司)</p>								

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第 1 回	小松崎 明	衛生行政総論	1. 地域保健を担う組織の仕組みと特徴を説明する。 専門基礎D-3-1) -①②③④⑤⑥ 2. 日本の医療・福祉制度を説明する。 専門基礎D-4-1)、専門基礎D-4-5)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 日本の医療・福祉制度	
第 2 回	小野 幸絵	衛生関係法①（医師法、歯科医師法）	1. 各医療関係職種の身分法と資格概要を説明する。 専門基礎D-4-3)、専門基礎D-4-4) 2. 医療者の責任について説明する。 専門基礎D-4-2)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 医療関係職種と関連法規	
第 3 回	小野 幸絵	衛生関係法②（歯科衛生士法）	1. 歯科衛生士法の規定内容を説明する。 専門基礎D-4-2)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 歯科衛生士法の内容と歯科衛生士の業務	
第 4 回	小野 幸絵	衛生関係法③（歯科衛生士法、歯科技工士法）	1. 歯科衛生士法の規定内容を説明する。 専門基礎D-4-2) 2. 歯科技工士法の規定内容を説明する。 専門基礎D-4-1) -④、基礎D-4-3) -①
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 歯科技工士法の内容と歯科技工士の業務	
第 5 回	小野 幸絵	衛生関係法④（その他医療関係職種）	1. 看護師など関連職種を説明する。 専門基礎D-4-3) 2. その他医事薬事関係法規を説明する。 専門基礎D-4-4)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 歯科医療関連職種の種類、業務内容	
第 6 回	小野 幸絵	衛生関係法⑤（医療法薬事関係法）	1. 医療の提供体制と理念について説明する。 専門基礎D-1-1)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 医療提供施設の種類 薬剤師の業務	
第 7 回	鶴田 剛司	衛生関係法⑥（地域保健関係法）	1. 地域保健法の規定内容を説明する。 専門基礎D-3-1) -①②③④⑤ 2. 母子保健、学校保健活動の体系を説明する。 専門基礎D-3-2) -①②、専門基礎D-3-3) -①②③
	準備学習	・関連する公衆衛生学（前期講義 母子保健・学校保健）の内容を復習する。	
第 8 回	鶴田 剛司	衛生関係法⑦（地域保健関係法）	1. 地域保健関連法規と体系について説明する。 専門基礎D-3-1) -①②、専門基礎D-3-2)、 専門基礎D-3-3)、専門基礎D-3-6)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 産業保健、成人保健、高齢者保健の各法規	

第9回	鴨田 剛司	保健医療の動向①	1. 日本の疾病構造について説明する。 専門基礎D-1-1) 2. 成人期以降の保健体系を説明する。 専門基礎D-3-4)、専門基礎D-3-5)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 日本の疾病構造 健康・疾病の状態に関する統計資料の種類	
第10回	鴨田 剛司	保健医療の動向②	1. 関連する国家統計、国民医療費を説明する。 専門基礎D-5-1) 2. 國際保健の機関と体系を説明する。 専門基礎D-3-8)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 国家統計の種類 国民医療費	
第11回	小松崎 明	社会保障制度	1. 社会保障制度の概要を説明する。 専門基礎D-4-5) 2. 日本人口構造について説明する。 専門基礎D-1-3)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 社会保障制度 日本的人口構造	
第12回	小松崎 明	社会保険①	1. 日本における社会福祉の概要を説明する。 専門基礎D-4-5) 2. 医療保険制度の概要を説明する。 専門基礎D-4-5) -①②③)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 社会保険制度の概要	
第13回	小松崎 明	社会保険②	1. 介護保険制度の概要を説明する。 専門基礎D-3-6) -② 2. 成人・高齢者保健制度の概要を説明する。 専門基礎D-3-4)、6)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 介護保険制度	
第14回	小松崎 明	公的扶助、社会福祉	1. 日本における社会福祉の概要を説明する。 専門基礎D-4-5) 2. 生活保護者の動向と扶助の体系を説明する。 専門基礎D-4-5)
	準備学習	・教科書の以下に関連する内容を事前に一読する。 日本の社会福祉制度	
第15回	小松崎 明	公衆衛生学、他科目との関連と総括	1. 衛生行政の制度概要を説明する。 専門基礎D-1-1) -①②③④、専門基礎D-3-1) -①②③④、専門基礎D-4-1)、専門基礎D-4-5)
	準備学習	各講義の内容を復習する。	

授業科目名	総合講義 I (専門基礎分野)			授業形態	講義
授業責任者	土田 智子	学年	第1学年	学期	後期
授業時間					14:40～16:00
授業概要	1年生前期を終え、総合試験を受験するにあたり、専門職としての歯科衛生士に必要な知識、すなわち「歯科衛生学」として各自が知識の統合を行っていく。1年生で学んだ内容について再確認を行う。				
一般目標(GIO)	総合試験に合格しうる知識を習得するため、1年生で学んだ内容を統合する。				
学習成果(ディプロマ・ポリシー)					
<input type="checkbox"/>	① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。				
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。				
<input type="radio"/>	③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。				
<input type="checkbox"/>	④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。				
<input type="checkbox"/>	⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。				
学習成果(カリキュラム・ポリシー)					
<input type="checkbox"/>	① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。				
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。				
<input type="checkbox"/>	③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。				
<input type="checkbox"/>	④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。				
<input type="radio"/>	⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。				
教科書	各教科 教本				
参考書					
アクティブラーニング(複数選択可)					
<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	ディベート	<input type="checkbox"/>	ディスカッション
<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション		
<input type="checkbox"/>	その他()				
成績評価の方法と割合					
<input type="radio"/>	定期試験(100%)	<input type="checkbox"/>	提出物(ノート・レポート)(%)		
<input type="checkbox"/>	ポートフォリオ(%)	<input type="checkbox"/>	成果発表(口頭・実技)(%)		
<input type="checkbox"/>	その他()(%)				
1年学期末に実施される総合試験 Iにおいて、61点以上の獲得が進級審査の基準となる。					
オフィスアワー					
各授業担当者のメールアドレス *事前にメールで要予約					

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第 1 回	各科目担当者	総合講義①	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 2 回	各科目担当者	総合講義②	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 3 回	各科目担当者	総合講義③	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 4 回	各科目担当者	総合講義④	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 5 回	各科目担当者	総合講義⑤	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 6 回	各科目担当者	総合講義⑥	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 7 回	各科目担当者	総合講義⑦	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 8 回	各科目担当者	総合講義⑧	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	

授業科目名

臨床歯科医学Ⅰ 総論A(歯科放射線学)

授業形態

講義

授業責任者

○ 谷江美樹子

学年 学期 曜日

第1学年

後期

火曜日

授業時間

14:40~16:00

授業概要

画像診断と放射線治療を総称して放射線診療とよぶ。本講義では画像診断や放射線治療で使用される様々な画像検査法及び放射線治療機器についての知識を修得する。また、放射線の基本的な原理を学び、歯科衛生士として必要な知識を修得する。

一般目標(GIO)

歯科医療において、放射線を有効かつ安全に利用し、適切な画像検査と放射線治療を行うために必要な知識を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
 ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
 ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
 ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
 ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
 ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
 ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
 ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
 ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ歯科放射線学・第2版・一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修・医歯薬出版株式会社

参考書**アクティブラーニング(複数選択可)**

- PBL ディベート ディスカッション
 フィールドワーク プレゼンテーション
 その他()

成績評価の方法と割合

- 定期試験(80 %) 提出物(ノート・レポート)(20 %)
 ポートフォリオ(%) 成果発表(口頭・実技)(%)
 その他()(%)

多肢選択方式と記述式からなる本試験(80%)と講義後の課題レポート提出(20%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

講義終了後・新潟病院放射線科(病院1階)・メールにて確認すること
E-mail: hamikiko@ngt.ndu.ac.jp(谷江)、oda@ngt.ndu.ac.jp(織田)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第 1 回	◎諫江 美樹子	パノラマエックス線検査 頭部エックス線検査	1.パノラマエックス線検査の特徴と原理の概要を説明する。 2.顎頬面頭蓋部エックス線検査の種類と適応を説明する。 3.頭部エックス線規格撮影の特徴と原理の概要を説明する。 専門B-1-3) -③④、E-10-1) -②
	準備学習	教科書の該当項目を確認し、一読しておくこと。	
第 2 回	◎諫江 美樹子	口内法エックス線検査 デジタルエックス線画像	1.口内法エックス線検査の種類と特徴を説明する。 2.デジタルエックス線画像システムの種類と特徴を説明する。 3.DICOM、PACS等の医療情報システムについて説明する。 専門B-1-3) -④、E-10-1) -②
	準備学習	教科書の該当項目を確認し、一読しておくこと。	
第 3 回	◎諫江 美樹子	エックス線画像の形成原理	1.画像形成過程の概略を説明する。 2.エックス線フィルムと増感紙を説明する。 3.エックス線投影の原則を説明する。 専門B-1-3) -②
	準備学習	教科書の該当項目を確認し、一読しておくこと。	
第 4 回	◎諫江 美樹子	CT、MRI	1.CTの特徴と原理の概要を説明する。 2.MRIの特徴と原理の概要を説明する。 専門B-1-3) -⑦
	準備学習	教科書の該当項目を確認し、一読しておくこと。	
第 5 回	◎織田 隆昭	超音波検査 核医学検査	1.超音波検査の特徴と原理の概要を説明する。 2.核医学検査の特徴と原理の概要を説明する。 専門B-1-3) -⑦
	準備学習	教科書の該当項目を確認し、一読しておくこと。	
第 6 回	◎織田 隆昭	放射線の生物学的影響 放射線防護	1.放射線の生物学的影響を説明する。 2.放射線防護の概要を説明する。 専門B-1-3) -①、E-10-4) -①
	準備学習	教科書の該当項目を確認し、一読しておくこと。	
第 7 回	◎織田 隆昭	顎口腔領域の放射線治療	1.放射線治療の意義と目的を説明する。 2.放射線治療の種類と特徴を説明する。 3.放射線治療患者の口腔衛生管理を説明する。 4.嚥下造影検査の概要を説明する。 専門B-5-⑯、B-1-3) -⑧
	準備学習	教科書の該当項目を確認し、一読しておくこと。	
第 8 回	◎織田 隆昭	顎・口腔領域疾患の画像診断	1.う歎と歯周病の画像所見を説明する。 2.顎骨の囊胞と腫瘍の画像所見を説明する。 3.顎骨の炎症と骨折の画像所見を説明する。 専門B-1-3) -⑥
	準備学習	教科書の該当項目を確認し、一読しておくこと。	

授業科目名

臨床歯科医学Ⅱ 基礎(歯科保存学・歯周治療学)

授業形態

講義

授業責任者

◎加藤 千景

学年 学期 曜日

第1学年 後期 金曜日

授業時間

10:40~12:00

授業概要

【歯周病学】では、歯周病に関する歯科衛生士に必要な歯周病の病態、原因、検査の知識を修得する。

【保存修復学】では、う蝕を中心とした硬組織疾患の治療法、各修復方法についての前処置、特徴、使用する器具・器材について修復する。

【歯内療法学】では、う蝕の経発症といわれる歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の概要と治療法、使用器具・器材、薬剤の用途とその注意点について修得する。

一般目標(GIO)

う蝕を中心とした硬組織疾患、およびその経発症といわれる歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患に罹患した歯の保存方法を理解するために、治療方法と治療に必要な器具・器材および薬剤の用途についての知識を修得するとともに、歯周治療の重要な役割を担う歯科衛生士に必要な歯周組織、歯周病の病態、原因、治療法についての基礎的知識を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯周病学 第1版 1刷

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 保存修復学・歯内療法学 第1版 1刷

参考書

歯周病学用語集 第3版(医歯薬出版)

保存修復学 第7版(医歯薬出版) 保存修復学21 第8版(永末書店)

歯内療法学 第5版(医歯薬出版) 歯科衛生士講座 歯周病学 第5版(永末書店)

アクティブラーニング(複数選択可)

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他()

成績評価の方法と割合

- 定期試験(100%) 提出物(ノート・レポート)(%)
- ポートフォリオ(%) 成果発表(口頭・実技)(%)
- その他()(%)

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験(100%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施する。

オフィスアワー

E-mail: takasio@ngt.ndu.ac.jp(高塩智子) 新潟生命歯学部総合診療科(病院3階)

E-mail: chikage@ngt.ndu.ac.jp(加藤千景)新潟短期大学(短大2階)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	◎高塩 智子	正常な歯周組織の構造と機能 ・歯周組織の構造と機能を理解する。 歯周病の分類（1） ・歯肉病変を理解する。	1. 歯周組織の構造を説明する。 専門基礎B-1-2) -⑦ 2. 歯周組織の機能を説明する。 専門基礎B-1-2) -⑦ 3. 歯周病の種類を説明する。 専門B-3-① 4. 歯周病の病態を概説する。 専門B-3-①
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 歯周病学 I編 歯周治療の基礎知識 2章、3章①の要点を確認する。	
第2回	◎高塩 智子	歯周病の分類（2） ・歯周炎、壞死性歯周病、咬合性外傷を理解する。	1. 歯周病の種類を説明する。 専門B-3-① 2. 歯周病の病態を概説する。 専門B-3-①
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 歯周病学 I編 歯周治療の基礎知識 3章①の要点を確認する。	
第3回	◎高塩 智子	歯周病の原因 ・細菌因子、宿主因子、環境因子を理解する。	1. 歯周病の細菌因子を説明する。 専門基礎B-2-4) -②、専門基礎C-1-7) -③⑫、専門基礎C-2-3) -③ 2. 歯周病の宿主因子、環境因子を説明する。 専門基礎C-1-7) -③⑫
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 歯周病学 I編 歯周治療の基礎知識 3章②の要点を確認する。	
第4回	◎高塩 智子	ペリオドンタルメディシン ・ペリオドンタルメディシンを理解する。 歯周治療の進め方 ・歯周治療の進め方を理解する。 歯周病の検査（1） ・医療面接、口腔内一般検査を理解する。	1. 歯周治療の流れを説明する。 専門B-3-② 2. 歯周病の検査を説明する。 専門B-3-③
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 歯周病学 I編 3章③、II編 1, 2章の要点を確認する。	
第5回	◎高塩 智子	歯周病の検査（2） ・歯周病検査を理解する。	1. 歯周病の検査を説明する。 専門B-3-③
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 歯周病学 II編 歯周治療の実際 2章の要点を確認する。	
第6回	◎加藤 千景	歯科保存学の目的 ・歯の硬組織、歯髓および根尖性歯周組織疾患の概要を復習し、歯の保存方法について理解する。	1. う蝕の病態について説明する。 2. う蝕の分類について説明する。 専門基礎C-1-7) -④⑤⑥、専門B-2-①、専門C-1-3) -⑤
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 P. 22~25の事前学習	
第7回	◎加藤 千景	切削用器械・器具 ・硬組織切削のための器械・器具の種類、用途、使用方法について理解する	1. MIについて説明できる。 専門B-2-⑧ 2. 切削器械について説明する。 3. 切削器具について説明する。 専門B-2-⑥、専門E-3-2) -① 4. 歯を切削できるレーザーについて説明する。 専門E-1-5) -⑦
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 P. 40~44の事前学習	

第8回	◎加藤 千景	う蝕の除去と窩洞形成 ・う蝕の除去方法ならびに窩洞の分類とその条件、各部の名称、形成方法について理解する。	1. う蝕の除去法について説明する。 2. 窩洞について説明する。 3. 窩洞の分類について説明する。 専門B-2-(③)、専門E-3-2) -①
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 P. 59,25~28の事前学習	
第9回	◎加藤 千景	治療の前準備 ・防湿法、歯間分離法、歯肉排除法、隔壁法の目的、方法、使用器具・器材について理解する。	1. 防湿法について説明する。 2. 歯間分離法について説明する。 3. 歯肉排除法について説明する。 4. 隔壁法について説明する。 専門B-2-(②)、専門E-3-1) ①②③④⑤
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 P. 33~39,159~160の事前学習	
第10回	◎加藤 千景	コンポジットレジン修復と歯面処理 ・コンポジットレジン修復の特徴、組成、修復方法、診療補助について理解する。	1. コンポジットレジン修復について説明する。 2. コンポジットレジン修復の診療補助について理解する。 専門E-2-4) -①、専門E-3-3) -①②③
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 P. 46~57,66の事前学習	
第11回	◎加藤 千景	歯髓疾患 ・歯髓疾患の概要、原因、分類、症状について理解する。	1. 歯髓疾患の概要を説明する。 専門基礎C-1-7) -⑧ 2. 歯髓疾患の原因を説明する。 専門基礎C-1-7) -⑧ 3. 歯髓疾患の特徴を分類を説明する。 専門基礎C-1-7) -⑨ 4. 歯髓疾患の症状を説明する。 専門基礎C-1-7) -⑨
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 1章②③の事前学習	
第12回	◎加藤 千景	根尖性歯周組織疾患 ・根尖性歯周組織疾患の概要、原因、分類、症状について理解する。	1. 根尖性歯周組織疾患の概要を説明する。 専門基礎C-1-7) -⑩ 2. 根尖性歯周組織疾患の原因を説明する。 専門基礎C-1-7) -⑩ 3. 根尖性歯周組織疾患の分類を説明する。 専門基礎C-1-7) -⑪ 4. 根尖性歯周組織疾患の症状を説明する。 専門基礎C-1-7) -⑪
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 1章④の事前学習	
第13回	◎加藤 千景	歯内療法特有の検査と診断、無菌的処置法（防湿と隔壁形成法） ・歯内療法特有の検査と診断、無菌的処置法について理解する。	1. 歯髓・根尖性歯周組織疾患の診査・検査を説明する。 専門B-2-⑪、専門E-3-6) -③ 2. 歯内療法時の無菌的処置法を説明する。 専門E-3-1) -①②③
	準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 1章⑥、4章②-2,3 の事前学習	

第14回	◎加藤 千景	歯髓除去療法（生活歯髓切斷法、抜髓法）、感染根管治療 ・生活歯髓切斷法、抜髓法および感染根管治療の適応症、術式、器具・器材および薬剤について理解する。	1. 歯髓除去療法と感染根管治療の適応症を説明する。 専門B-2-⑪ 2. 歯髓除去療法と感染根管治療の術式を説明する。 専門B-2-⑬⑭ 3. 歯髓除去療法と感染根管治療に用いる器具器材を説明する。 専門B-2-⑮、専門E-3-6) -②、専門E-3-7) -① 4. 歯髓除去療法と感染根管治療に使用する薬剤を説明する。 専門E-3-6) -②、専門E-3-7) -①
		準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 1章7、3章④の事前学習
第15回	◎加藤 千景	根管治療1 ・髓室開拓、根管口の漏斗状拡大、根管長測定、根管の拡大形成について理解する。	1. 髓室開拓を説明する。 専門B-2-⑯、専門E-3-6) -① 2. 根管口の漏斗状拡大を説明する。 専門B-2-⑯、専門E-3-6) -① 3. 根管長測定を説明する。 専門B-2-⑯、専門E-3-6) -①、専門E-3-7) -② 4. 根管の拡大形成を説明する。 専門B-2-⑯、専門E-3-6) -①
		準備学習	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 4章④4,5,6,7の事前学習

授業科目名

歯科予防処置演習Ⅱ

授業形態

演習

授業責任者

◎清野 可那子

学年 学期 曜日

第1学年	後期	水曜日 金曜日
------	----	------------

授業時間

水曜日9:00~12:00 金曜日13:00~16:00

授業概要

歯科予防処置は、歯科衛生士の3大業務の一つであり、歯科医師や歯科衛生士などの専門家によって行われる、歯や口腔の疾患を予防するための処置である。実際に狭い口の中では、歯だけではなく歯ぐきや舌の裏や粘膜が接しており、そのような部位に様々な器具や薬物などを取り扱うためには、安定した確実な手技が必要となる。本実習では、歯科予防処置で使用する器具や薬剤の取り扱いについて実習で手技を修得する。

一般目標(GIO)

歯科予防処置における歯科衛生士の役割を理解し、口腔の健康管理目的とした歯科予防処置を行った知識・技能・態度を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版)
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学

参考書

【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯科予防処置論・歯科保健指導論
【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯周病学
【歯科衛生学シリーズ】(医歯薬出版) 歯の接組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法

アクティブラーニング(複数選択可)

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他()

成績評価の方法と割合

- 定期試験(40%)
- 提出物(ノート・レポート)(10%)
- ポートフォリオ(%)
- 成果発表(口頭・実技)(50%)
- その他()(%)

定期試験は、多選択肢形式および筆記試験形式で出題する。19回の授業終了後に試験を行う。定期試験による評価(40%)、実習に関するレポート評価(10%)、実技試験(50%)で評価する。また、レポートは提出日から1日遅れることに1点減点して評価する。

オフィスアワー

実習終了後E-mailにて連絡し確認してください。
E-mail:springsea@ngt.ndu.ac.jp(清野 可那子)新潟短期大学研究室II(3号館2階)
E-mail:kiyoka@ngt.ndu.ac.jp(嵐 聖芽)新潟短期大学研究室II(3号館2階)
E-mail:ikeday@ngt.ndu.ac.jp(池田 裕子)新潟短期大学研究室III(3号館2階)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
第1回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	う蝕活動性試験（実習）	1. う蝕活動性試験を実施する。 専門C-3-2) -① 2. う蝕活動性を評価し、う蝕予防プログラムを立案できる。 専門C-3-2) -② 3. う蝕のリスクとメインテナンスの必要性を理解する。 専門C-3-7) -③
	準備学習	歯科予防処置論・歯科保健指導論教科書の該当部分を事前に確認しておくこと。	
第2回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	小窩裂溝填塞法（頸模型実習）	1. 小窩裂溝填塞を実施する。 専門C-3-6) -④ 2. 小窩裂溝填塞実施上の注意点を説明する。 専門C-3-6) -⑤ 3. 小窩裂溝填塞におけるメインテナンスの目的および必要性を理解する。 専門C-3-7) -①③
	準備学習	歯科予防処置論 第11回講義内容を復習しておくこと	
第3回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	フッ化物歯面塗布法① (マネキン実習)	1. フッ化物歯面塗布を実施する。 専門C-3-3) - (1) -④⑤ 2. フッ化物応用におけるメインテナンスの目的と必要性を説明する。 専門C-3-7) -①③
	準備学習	歯科予防処置演習Ⅰ 第7・8回の実習内容を復習しておくこと。	
第4回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	フッ化物歯面塗布法②（相互実習）	1. フッ化物歯面塗布を実施する。 専門C-3-3) - (1) -④⑤ 2. フッ化物応用におけるメインテナンスの目的と必要性を説明する。 専門C-3-7) -①③
	準備学習		
第5回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	フッ化物歯面塗布法実技試験	1. フッ化物歯面塗布実施上の注意点を説明する。 専門C-3-3) - (1) -⑤ 2. フッ化物応用におけるメインテナンスの目的と必要性を説明する。 専門C-3-7) -①③
	準備学習		
第6回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	歯周ポケットの測定（マネキン）	1. プローピングにより得られる情報を列挙する。 2. 必要な器材を述べる。 3. 6点法でプローピングを行う。 専門C-2-2) -①③
	準備学習	歯科予防処置演習Ⅰ 第6回の内容を事前に復習しておくこと	
第7回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	歯周ポケットの測定（相互実習）	1. プローピングにより得られる情報を列挙する。 2. 必要な器材を述べる。 3. 6点法でプローピングを行う。 専門C-2-2) -①③
	準備学習	歯科予防処置演習Ⅱ 第6回の内容を事前に復習しておくこと	

第8回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	スケーリング卓上実習	1. 各部位における的確なスケーラー操作を行うための条件を述べる。 2. 部位に応じたスケーリング操作を実施する。 3. 部位に応じたスケーラーを選択する。 専門C-2-3) -①②
	準備学習	歯科予防処置演習Ⅰ 第3～第5回の実習内容をプリントで確認し、復習しておく。	
第9回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	スケーリング実習① (マネキン)	1. 各部位における的確なスケーラー操作を行うための条件を述べる。 2. 部位に応じたスケーリング操作を実施する。 3. 部位に応じたスケーラーを選択する。 専門C-2-3) -①②
	準備学習	歯科予防処置演習Ⅱ 第8回の実習内容をプリントで確認し、復習しておく。	
第10回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	スケーリング実習② (マネキン)	1. 各部位における的確なスケーラー操作を行うための条件を述べる。 2. 部位に応じたスケーリング操作を実施する。 3. 部位に応じたスケーラーを選択する。 専門C-2-3) -①②
	準備学習	歯科予防処置演習Ⅰ 第3～第5回の実習内容をプリントで確認し、復習しておく。	
第11回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	スケーリング実習③ (マネキン)	1. 各部位における的確なスケーラー操作を行うための条件を述べる。 2. 部位に応じたスケーリング操作を実施する。 3. 部位に応じたスケーラーを選択する。 専門C-2-3) -①②
	準備学習	歯科予防処置演習Ⅰ 第3～第5回の実習内容をプリントで確認し、復習しておく。	
第12回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	スケーリング実習④ (マネキン)	1. 各部位における的確なスケーラー操作を行うための条件を述べる。 2. 部位に応じたスケーリング操作を実施する。 3. 部位に応じたスケーラーを選択する。 専門C-2-3) -①②
	準備学習	歯科予防処置演習Ⅰ 第3～第5回の実習内容をプリントで確認し、復習しておく。	
第13回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	スケーリング部位別操作実技試験	1. 各部位における的確なスケーラー操作を行うための条件を述べる。 2. 部位に応じたスケーリング操作を実施する。 3. 部位に応じたスケーラーを選択する。 専門C-2-3) -①②
	準備学習	歯科予防処置演習Ⅱ スケーリング実習①～④を復習しておく。	
第14回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	スケーリング実習（相互実習）	1. 各部位における的確なスケーラー操作を行うための条件を述べる。 2. 部位に応じたスケーリング操作を実施する。 3. 部位に応じたスケーラーを選択する。 専門C-2-3) -①②
	準備学習	歯科予防処置演習Ⅱ スケーリング実習①～④を復習しておく。	
第15回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	シャープニング①（講義・実習）	1. シャープニングの目的を説明する。 2. 必要な器材を知る。 3. プラスチックスケーラーのシャープニングを行う。 専門C-2-3) -①⑥ 4. 銳利度の判定方法を説明する。
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	

第16回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子 ◎池田 裕子	シャープニング実習②（手用スケーラー）	1. シャープニングの目的を説明する。 2. 必要な器材を知る。 3. 練習用スケーラー（ダル#13/14）をシャープニングする。 4. グレーシータイプキュレットをシャープニングする。 5. 鋭利度の判定をする。 専門C-2-3) -①⑥
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第17回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	歯面研磨実習 (講義・マネキン)	1. 歯面研磨の目的を説明する。 2. 歯面研磨の使用器具を準備する。 3. 各種研磨器材を用いて歯面研磨を行う。 専門C-2-4) -①③⑤
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第18回	◎清野 可那子 ◎嵐 聖芽 ◎池田 裕子	歯面研磨実習（相互）	1. 歯面研磨の目的を説明する。 2. 歯面研磨の使用器具を準備する。 3. 各種研磨器材を用いて歯面研磨を行う。 専門C-2-4) -①③⑤
	準備学習	教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論の該当箇所を予習をしておくこと	
第19回	◎嵐 聖芽 ◎清野 可那子	総括	
	準備学習	歯科予防処置演習Ⅱ 第1回～18回を復習しておく。	

授業科目名

歯科保健指導論Ⅱ(生化学・栄養・食生活)

授業形態

講義

授業責任者

今井 あかね

学年 学期 曜日

第1学年

後期

月曜日

授業時間

13:00~14:20

授業概要

口腔にはさまざまな機能があるが、「食べる」ことは最重要である。「食生活」は、今の日本人の病気の主流たる生活習慣病(ガン、脳や心臓の血管障害など)の予防にとって最も大きな因子である。本講義の前半では、生体の構成成分や栄養素、および歯と口の中の生化学的な現象を学び、生命活動の概要を理解する。後半では、生化学的知識を踏まえて、さらに何をどの様に食べることが大切かを学んでいく。

一般目標(GLO)

生体の構成成分と化学的特徴、および糖質、脂質、タンパク質の代謝過程を理解しながら栄養学へと発展させ、ヒトが健康に生きる為に摂取すべき栄養素の種類と量、食品の摂取方法について修得する。さらに、口腔に深く関わる組織や唾液およびブラクについて生化学的に理解して、口腔保健のみならず、健康に生きていくための食生活についての知識を身につける。

学習成果(ディプロマ・ポリシー) ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。 ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。 ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。 ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。 ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。**学習成果(カリキュラム・ポリシー)** ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。 ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。 ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。 ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。 ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。**教科書**

【歯科衛生学シリーズ】人体の構造と機能2 生化学・口腔生化学(医歯薬出版), 【歯科衛生学シリーズ】人体の構造と機能3 栄養学(医歯薬出版)

参考書

【歯科衛生学シリーズ】歯科予防歯学論・歯科保健指導論 第2版(医歯薬出版)

アクティヴ・ラーニング(複数選択可) PBL ディベート ディスカッション フィールドワーク プレゼンテーション その他(練習問題プリント)**成績評価の方法と割合** 定期試験(95 %) 提出物(ノート・レポート)(5 %) ポートフォリオ(%) 成果発表(口頭・実技)(%) その他()(%)

一般目標で示した項目について多選択肢形式(70%)および記述式(25%)筆記試験(中間試験点数を含む)と提出物(5%)により評価を行う。再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー

在室時随時・短期大学教授室 (2号館3階) E-mail: imaiak@ngt.ndu.ac.jp (今井あかね)
在室時随時・短期大学教授室 (3号館2階) E-mail: akjc@ngt.ndu.ac.jp(宮崎晶子)

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第 1 回	今井 あかね	歯科衛生士が生化学を学ぶ意義 人体の代謝と機能（1）	1. 歯科衛生士が生化学・栄養学を学ぶ意義を説明する。 専門D-5-2) -④⑤ 2. 細胞の構造と機能を説明する。 専門基礎A-1-2) -① 3. 生体の反応に必要な水の働きを説明する。 専門基礎A-2-3) -④ 4. 生体を構成する成分と栄養素について説明する。 専門基礎A-2-1) -②
	準備学習	・教科書（生化学・口腔生化学）1～22 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第 2 回	今井 あかね	人体の代謝と機能（2）	1. 化学反応を概説する。 専門基礎A-2-5) -① 2. 栄養素の消化と吸収について説明する。 専門基礎A-2-2) -② 3. 酸素の運搬と二酸化炭素の排出について説明する。 専門基礎A-2-2) -③ 4. エネルギー代謝の全体像を説明する。 専門基礎A-2-3) -① 5. 糖質の代謝を説明する。 専門基礎A-2-4) -② 6. 脂質の代謝を説明する。 専門基礎A-2-4) -③
	準備学習	・教科書（生化学・口腔生化学）23～41ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第 3 回	今井 あかね	人体の代謝と機能（3）	1. タンパク質とアミノ酸の代謝を説明する。 専門基礎A-2-4) -① 2. アミノ酸を材料としてタンパク質が合成される過程を説明する。 専門基礎A-2-4) -④ 3. 恒常性の維持（ホメオスタシス）を理解し、血液の pH と血糖値の調節について概説する。 専門基礎A-2-6) -① 4. ホメオスタシスとしてのホルモン系と神経系を概説する。 専門基礎A-2-6) -②
	準備学習	・教科書（生化学・口腔生化学）32～51 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第 4 回	今井 あかね	口腔の代謝と機能（1）	1. 結合組織の成分を説明する。 専門基礎B-2-1) -①② 2. 齒の無機成分および有機成分について説明する。 専門基礎B-2-1) -③④
	準備学習	・教科書（生化学・口腔生化学）54～66 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第 5 回	今井 あかね	口腔の代謝と機能（2）	1. 血清中カルシウム濃度とリン酸濃度を説明する。 専門基礎B-2-2) -① 2. 硬組織の石灰化の仕組みを概説する。 専門基礎B-2-2) -② 3. 齒と骨の石灰化の特徴を説明する。 専門基礎B-2-2) -②④ 4. 血清カルシウム調節に関与する3つのホルモンと働きを説明する。 専門基礎B-2-2) -③
	準備学習	・教科書（生化学・口腔生化学）68～79 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第 6 回	今井 あかね	口腔の代謝と機能（3）	1. 唾液中の無機質と有機質を列挙して、その作用を説明する。 専門基礎B-2-3) -①～③
	準備学習	・教科書（生化学・口腔生化学）74～87 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	

第7回	今井 あかね	口腔の代謝と機能（4）	1. う蝕におけるプラークの関わりを説明する。 専門基礎C-1-7) -④、専門D-5-1) -①③
	準備学習	・教科書（生化学・口腔生化学）88～108 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第8回	今井 あかね	口腔の代謝と機能（5）	1. 歯周疾患におけるプラークの関わりを説明する。 専門基礎C-2-3) -③、専門D-5-1) -② 2. 歯周疾患と生体防御反応の関わりを説明する。 専門基礎C-2-1) -③、C-2-2) -②
	準備学習	・教科書（生化学・口腔生化学）109～117 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第9回	今井 あかね	栄養の基礎知識 栄養摂取現況と食事摂取基準	1. 食事摂取基準を説明する。 専門基礎A-3-2) -① 2. 現代人の食物の摂取における栄養上の問題点を列挙する。 専門基礎A-3-1) -③、専門D-5-2) -②、-3) -② 3. 基礎代謝を説明する。 専門基礎A-3-2) -④
	準備学習	・教科書（栄養学）1～12, 64～70ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第10回	今井 あかね	栄養素と食事摂取基準① ～糖質・タンパク質～	1. 糖質とタンパク質の生体での役割を概説する。 専門基礎A-3-3) -①
	準備学習	・教科書（栄養学）13～18, 23～28, 43～54 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第11回	今井 あかね	栄養素と食事摂取基準②③ ～脂質・ビタミン・無機質～ 食事バランスガイド	1. 脂質の生体での役割を概説する。 専門基礎A-3-3) -① 2. 脂肪エネルギー比率を概説する。 専門基礎A-3-2) -③ 3. 食事バランスガイドを説明する。 専門基礎A-3-5) -⑤、専門D-5-2) -②③⑥ 4. ビタミンの種類と働きを概説する。 専門基礎A-3-3) -② 5. ミネラル（無機質）の種類と働きを概説する。 専門基礎A-3-3) -③
	準備学習	・教科書（栄養学）18～22, 28～36, 54～60、73～86 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第12回	今井 あかね	栄養素と食事摂取基準④ ～水・食物繊維～ 食事と食品	1. 生体における水の役割を説明する。 専門基礎A-3-3) -④ 2. 食物繊維の生体での役割を概説する。 専門基礎A-3-3) -⑤ 3. 食品の機能と表示について説明する。 専門基礎A-3-4), 5)
	準備学習	・教科書（栄養学）38～42, 86～103 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第13回	宮崎 晶子	ライフステージと栄養①	1. 健康づくりにおける食生活改善の取り組みについて、歯科衛生士として果たすべき役割を概説する。 専門D-5-2) 2. 食生活と健康との関連について妊娠期・授乳期・乳児期・幼児期・学童期・思春期の特性を把握し、健康の維持と増進をはかるための栄養指導の必要性について概説する。 専門基礎D-3-1), 専門D-3-2), D-3-3) -①②④
	準備学習	・教科書（栄養学）105～128 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	

第14回	宮崎 晶子	ライフステージと栄養②	1. 健康づくりにおける食生活改善の取り組みについて、歯科衛生士として果たすべき役割を概説する。 専門D-5-2) 2. 食生活と健康との関連について成人期・高齢期の特性を把握し、健康の維持と増進をはかるための栄養指導の必要性について概説する。 専門基礎D-5-1), 専門D-5-2)、3) ①～④
	準備学習	教科書（栄養学）128～150 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	
第15回	青木 悠	栄養ケア・マネジメント	1. 栄養ケア・マネジメントを概説する。 専門D-5-2) -②～⑥ 2. 栄養アセスメント方法について説明する。 専門基礎D-5-2) -③④ 3. 栄養ケア計画と評価法を概説する。 専門基礎D-5-2) -④⑥ 4. 咀嚼と健康の関連を概説する。 専門D-5-1) -④⑤ 5. 健康を維持するための栄養情報を説明する。 専門D-5-1) -②
	準備学習	教科書（栄養学）151～170 ページを熟読し、わからない内容について調べる。	

授業科目名

歯科保健指導演習 I

授業形態

演習

授業責任者

◎ 煤賀 美緒

学年 学期 曜日

第1学年

後期

木曜日

授業時間

9:00～12:00

授業概要

歯科保健指導は歯科衛生士の主要な業務の一つであり、対象者の生活行動をその人々に適した歯科保健行動に変容させることを目的とし、専門的な立場からの指導・支援が必要とされる。本演習では保健指導に必要な観察、対象把握、伝達に関する知識、技術、態度を修得する。

一般目標(GIO)

歯科衛生士として人々の健康増進を指導・支援するために、自己および対象者に対して応用できる歯科保健指導の知識、技術、態度を修得する。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
 ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
 ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
 ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
 ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ① 全人的視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
 ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
 ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
 ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
 ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 (医歯薬出版)

参考書

歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科 (医歯薬出版)
歯科衛生学シリーズ 保健生態学 (医歯薬出版)
でんたるこみゆにけーしょん—歯科医療面接総論— (学連書院)

アクティブラーニング(複数選択可)

- PBL ディベート ディスカッション
 フィールドワーク プレゼンテーション
 その他()

成績評価の方法と割合

- 定期試験(40 %) 提出物(ノート・レポート)(10 %)
 ポートフォリオ(%) 成果発表(口頭・実技)(50 %)
 その他()(%)

示説、実習内容の範囲の記述試験(40%)、実技試験およびプレゼンテーション(50%)およびその他レポートや各課題の提出状況(10%)により評価する。
記述試験は追試験は実施する場合があるが、再試験は実施しない。

オフィスアワー

月～金曜日 16:00～18:00 (3号館2階 研究室II) 連絡先 : mio@ngt.ndu.ac.jp

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	◎煤賀 美緒	歯ブラシの基本知識と各種ブラッシング方法	1. 歯ブラシの構成要素を表記する。 2. 歯ブラシの各構成要素の特徴を列挙する。 3. 歯ブラシの管理方法を説明する。 4. 各種ブラッシング方法を実践する。 専門C-1-3) -③⑤⑥、専門D-3-1) -②、専門D-3-2) -②
	準備学習	教科書の【口腔衛生管理に関する指導：ブラッシング】に関する内容を一読する。 各種ブラッシング方法を自宅でも実践する。	
第2回	◎煤賀 美緒	清掃補助用具（講義）	1. 清掃補助用具の必要性を説明する。 2. 各種清掃補助用具の適応を列挙する。 3. 各種清掃補助用具の使用方法を述べる。 専門D-3-1) -②
	準備学習	教科書の【口腔衛生管理に関する指導：その他の清掃方法】に関する内容を一読する。	
第3回	◎煤賀 美緒 ◎清野 可那子	清掃補助用具	1. 各種歯間ブラシを自身の口腔内で使用する。 2. 各種デンタルフロスを自身の口腔内で使用する。 3. タフトブラシを自身の口腔内で使用する。 4. 舌ブラシを自身の口腔内で使用する。 5. 口腔洗浄器を自身の口腔内で使用する。 6. 義歯用ブラシを模型上で使用する。 7. 電動歯ブラシ類を自身の口腔内および模型上で使用する。 専門D-3-1) -②
	準備学習	第2回の講義内容を要復習のこと。 実習後も歯間ブラシ、デンタルフロス、タフトブラシ、舌ブラシを自宅で実践し習熟する。	
第4回	◎煤賀 美緒	歯垢染色と口腔清掃状態の評価（講義）	1. 歯垢染色剤の形状を列挙する。 2. 歯垢染色剤の所用条件を列挙する。 3. 歯垢染色の手順を説明する。 4. OHI, PHPの判定基準を列挙する。 5. OHI, PHPの算出方法を説明する。 専門D-3-2) -①
	準備学習	教科書の【歯垢染色剤】【口腔清掃状態の指標：OHI、PHP】に関する内容を一読する。	
第5回	◎煤賀 美緒 ◎清野 可那子	OHI、PHP	1. 歯垢染色を実施する。 2. 染色状況を記録する。 3. 染色状況の記録からOHIを算出する。 4. 染色状況の記録からPHPを算出する。 5. 自身の口腔清掃状態を把握する。 専門D-2-3) -①②、専門D-3-2) -①
	準備学習	第4回の講義内容を要復習のこと。	
第6回	◎煤賀 美緒	ブラッシングセミナー	1. 毛先磨きを説明する。 2. 刷毛部の部位を使い分ける。 3. メーカーの歯ブラシの特徴を列挙する。 4. 音波歯ブラシを口腔内で使用する。
	準備学習	第1、4、6回の内容を要復習のこと。	
第7回	◎煤賀 美緒 ◎清野 可那子	口腔状況に応じた清掃	1. 対象者の口腔状況を把握する。 2. 対象者の清掃状態を把握する。 3. 対象者の口腔状況・清掃状態に応じた清掃用具を選択する。 4. 選択した清掃用具で対象者のブラークを除去する。 専門D-3-1) -①
	準備学習	口腔清掃状態の評価方法について要復習のこと。 各種ブラッシング方法および補助用具の操作を習熟の上実習に臨むこと。	

第8回	◎煤賀 美緒 ◎清野 可那子	歯磨剤・洗口剤	1. 歯磨剤・洗口剤の種類を列挙する。 2. 歯磨剤・洗口剤の成分を列挙する。 3. 歯磨剤・洗口剤の成分の効果を説明する。 4. 歯磨剤・洗口剤の使用方法を説明する。 5. 歯磨剤・洗口剤を使用する。 専門D-3-1) -③
	準備学習	教科書の【口腔衛生管理に関する指導：歯磨剤・洗口剤】に関する内容を一読する。	
第9回	◎煤賀 美緒 ◎清野 可那子 ◎宮崎 晶子	歯ブラシ プレゼンテーション	1. 特徴の異なる歯ブラシを使用する。 2. 各種歯ブラシの利点、欠点を分析する。 3. 根拠をもって他者へ歯ブラシを推薦する。
	準備学習	事前に様々な歯ブラシを使用し、吟味・分析すること。 各自プレゼン資料の作成を進めること。	
第10回	◎煤賀 美緒	口腔清掃方法の 説明・指導（講義）	1. 指導環境の要素を列挙する。 2. インフォームドコンセントの重要性が分かる。 3. 口腔清掃の必要性が分かる。 4. 患者主体の重要性が分かる。 5. 口腔内及び媒体を用いた指導の利点を列挙する。 6. 効果的に媒体を用いるための工夫を列挙する。 専門D-2-4) -②、専門D-3-1) -②、専門D-3-2) -②③、 専門D-3-3) -①②
	準備学習	スクラビング法、バス法、1歯ずつの縦磨き法を要復習の上実習に臨むこと。	
第11回	◎煤賀 美緒 ◎清野 可那子 ◎宮崎 晶子 ◎榎 志佳	ブラッシング方法の 説明・指導	1. 指導の環境を整える。 2. 説明指導にあたり同意をとる。 3. 口腔清掃の必要性を説明する。 4. 患者主体の重要性を説明する。 5. 効果的に媒体を用いて指導する。 6. 患者の理解度を確認する。 7. 指導内容を要約する。 8. 分かりやすい言葉遣いで話す。 専門D-2-4) -②、専門D-3-1) -②、専門D-3-2) -②③、 専門D-3-3) -①②
	準備学習	スクラビング法、バス法、1歯ずつの縦磨き法を要復習の上実習に臨むこと。	
第12回	◎煤賀 美緒 ◎清野 可那子 ◎宮崎 晶子 ◎榎 志佳	補助用具の 説明・指導	1. 指導の環境を整える。 2. 説明指導にあたり同意をとる。 3. 口腔清掃の必要性を説明する。 4. 補助用具の必要性を説明する。 5. 患者主体の重要性を説明する。 6. 効果的に媒体を用いて指導する。 7. 患者の理解度を確認する。 8. 指導内容を要約する。 9. 分かりやすい言葉遣いで話す。 専門D-2-4) -②、専門D-3-1) -②、専門D-3-2) -②③、 専門D-3-3) -①②
	準備学習	デンタルフロス、歯間ブラシ、タフトブラシの使用補法を要復習の上実習に臨むこと。	

第13回	◎煤賀 美緒 ◎清野 可那子 ◎宮崎 晶子 ◎榎 志佳	プラッシング方法の説明・指導 実技試験	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指導の環境を整える。 2. 説明指導にあたり同意をとる。 3. 口腔清掃の必要性を説明する。 4. 補助用具の必要性を説明する。 5. 患者主体の重要性を説明する。 6. 口腔内及び媒体を用いた指導の利点を列挙する。 7. 効果的に媒体を用いて指導する。 8. 患者の理解度を確認する。 9. 指導内容を要約する。 10. 分かりやすい言葉遣いで話す。 専門D-2-4) -②、専門D-3-1) -②、専門D-3-2) -②③、専門D-3-3) -①②
	準備学習	第11回の内容を要復習の上試験に臨むこと。	

授業科目名

歯科診療補助演習Ⅱ

授業形態

演習

授業責任者

◎榎 志佳

学年 学期 曜日

第1学年

後期

木曜日

授業時間

13:00~16:00

授業概要

歯科診療補助は社会の情勢や歯科医療の高度化とともに歯科衛生士としての専門性を多く発揮できる領域である。歯科診療補助を行うためには、基礎的倫理と基礎的技術のりかいが必要である。そこで本演習では、診療環境のマネジメントや歯科診療の流れを理解した上でのアシスタントワークを学ぶ。

一般目標(GIO)

歯科診療を円滑に行うために、歯科衛生士として必要な知識、歯科医師との共同動作を行うための態度および使用器具、器材の使用方法を身に付ける。

学習成果(ディプロマ・ポリシー)

- ① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。
- ② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。
- ③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。
- ④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。
- ⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。

学習成果(カリキュラム・ポリシー)

- ① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。
- ② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。
- ③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。
- ④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。
- ⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。

教科書

歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版株式会社

参考書歯科衛生学シリーズ 歯科材料 医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科機器 医歯薬出版株式会社**アクティブラーニング(複数選択可)**

- PBL
- ディベート
- ディスカッション
- フィールドワーク
- プレゼンテーション
- その他()

成績評価の方法と割合

- 定期試験(40 %)
- 提出物(ノート・レポート)(20 %)
- ポートフォリオ(%)
- 成果発表(口頭・実技)(40 %)
- その他()(%)

授業内で実践した項目について、マークシートおよび記述試験(40%)と、小テストやレポート(20%)、実技試験(40%)により評価を行う。レポートに関しては提出期限を過ぎた場合には減点を行う。また、欠席した場合には、自ら報告相談を行う事。なお、再試験、追試験は必要に応じて実施することがある。

オフィスアワー木曜日 16:00~17:00・3号館2階 研究室
email : enoki11@ngt.ndu.ac.jp ※事前にメールで要予約

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第1回	◎榎 志佳 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子	口腔内洗浄 バキューム実習	1. 部位に応じたバキューム操作を実施する。 2. 口腔内洗浄を実施する。 3. スタンダードプリコーションを実践する。 専門E - 1-4) ①~③、6) ①~④
	準備学習	前期に学んだ、スタンダードプリコーション実践のために必要事項を復習し参加すること。	
第2回	◎榎 志佳 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子	フォーハンドテクニック バキューム実習	1. 部位に応じたバキューム操作を実施する。 2. フォーハンドシステムの基本動作を実践する。 3. 共同動作を実践する。 専門E - 1-4) ①~③、6) ①~④
	準備学習	口腔内洗浄で修得したバキューム操作について復習して参加すること。必要があれば自己練習をしてから参加することが望ましい。	
第3回	◎榎 志佳 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子	印象採得①	1. 印象材の種類とその性質を説明する。 2. 印象採得の手順を説明する。 専門E-2 - 3) ①~③
	準備学習	事前予習プリントの内容を確認し実習に参加すること。	
第4回	◎榎 志佳 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子	バキューム操作実技試験	1. フォーハンドシステムの基本動作を実施する。 2. 部位に応じたバキューム操作を実施する。 3. 部位に応じたライティングを実施する。 4. アシストのポジションを工夫する。 専門E-1-4) ①~③
	準備学習	練習時間を作り有効に使って、繰り返し練習を行い試験に臨むこと。	
第5回	◎榎 志佳 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子	印象採得②	1. 概形印象採得を実施する。 2. 患者に配慮した対応を行う。 3. 器具の受け渡しを工夫する。 専門E-2 - 3) ①~③、E-1-4) ①~③
	準備学習	予習プリントの内容を確認し実習に参加すること。	
第6回	◎榎 志佳 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子	印象採得③	1. 概形印象採得を実施する。 2. 患者に配慮した対応を行う。 3. 器具の受け渡しを工夫する。 専門E-2 - 3) ①~③、E-1-4) ①~③
	準備学習	予習プリントの内容を確認し実習に参加すること。	
第7回	◎土田 智子 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎榎 志佳	口腔内写真①	1. 口腔内写真の必要性を説明する。 2. 口腔内写真撮影時の患者の心理を述べる。 専門E-6-2) ①
	準備学習	歯科診療補助論P73~76を事前に確認し、実習に参加すること。	
第8回	◎榎 志佳 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子	印象採得～模型作成（下顎）	1. 概形印象を実施する。 2. 患者に配慮した対応を行う。 3. 模型作成を実施する。 専門E-2 - 1) ①②、3) ①~③、E-1 - 4) ①~③、E-4 - 2) ①②、E-4 - 3) ①~⑤
	準備学習	予習プリントの内容を確認し実習に参加すること。	

第9回	◎榎 志佳 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子	印象採得～模型作成（上顎）	1. 概形印象を実施する。 2. 患者に配慮した対応を行う。 3. 模型作成を実施する。 専門E-2 - 1) ①②、3) ①～③、E-1 - 4) ①～③、 E-4 - 2) ①②、E-4 - 3) ①～⑤
	準備学習	予習プリントの内容を確認し実習に参加すること。	
第10回	◎榎 志佳 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子	模型トリミング	1. スタディモデルのトリミングを実施する。
	準備学習	自分が採得した模型のトリミング終了後、咬合採得と合わせて提出すること。	
第11回	◎土田 智子 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎榎 志佳	口腔内写真②	1. 口腔内写真（5枚法）撮影時の患者を体験する。 2. 口腔内写真のための前準備をする。 3. 口腔内写真を撮影する 専門E-6 - 2) ①
	準備学習	歯科診療補助論P73～76を事前に確認し、実習に参加すること。	
第12回	◎榎 志佳 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎土田 智子	印象採得実技試験	1. 印象採得の前準備をする。 2. 印象材を練和する。 3. 診療に応じた受け渡しを実施する。 専門E-2 - 3) ①～③、E-1 - 4) ①～③
	準備学習	練習時間を使つて、繰り返し練習を行い試験に臨むこと。	
第13回	◎土田 智子 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎榎 志佳	精密印象採得	1. 精密印象採得に用いる印象材の種類と基本的性質を説明する。 2. 精密印象の採得方法、術式を理解する。 専門E-4 - 2) ①②
	準備学習	歯科診療補助論P113～119、P264～270を事前に確認し、実習に参加すること。	
第14回	◎土田 智子 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎榎 志佳	精密印象採得（寒天アルジネート印象）	1. 連合印象採得の手順を修得する。 2. 連合印象で用いる器材を準備する。 3. 齒肉圧排法に用いる器材を準備する。 4. 診療に応じた器具の受け渡しを行う。 5. フォーハンドシステムの基本動作を実践する。 専門E-1 - 4) ①～③、E-4 - 2) ①②
	準備学習	歯科診療補助論P113～119、P264～270を事前に確認し、実習に参加すること。	
第15回	◎土田 智子 ◎浅沼 直樹 ◎長谷川 優 ◎加藤 千景 ◎榎 志佳	精密印象採得（シリコーンゴム印象）	1. 連合印象採得の手順を修得する。 2. 連合印象で用いる器材を準備する。 3. 齒肉圧排法に用いる器材を準備する。 4. 診療に応じた器具の受け渡しを行う。 5. フォーハンドシステムの基本動作を実践する。 専門E-1 - 4) ①～③、E-4 - 2) ①②
	準備学習	歯科診療補助論P113～119、P264～270を事前に確認し、実習に参加すること。	

授業科目名	総合講義 I (専門分野)			授業形態	講義		
授業責任者	土田 智子	学年	第1学年	学期	後期	曜日	水曜日
授業概要	1年生前期を終え、総合試験を受験するにあたり、専門職としての歯科衛生士に必要な知識、すなわち「歯科衛生学」として各自が知識の統合を行っていく。1年生で学んだ内容について再確認を行う。						
一般目標(GIO)	総合試験に合格しうる知識を習得するため、1年生で学んだ内容を統合する。						
学習成果(ディプロマ・ポリシー)							
<input type="checkbox"/>	① 地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる。						
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性を持ち、相手を尊重した対応ができる。						
<input type="radio"/>	③ 歯科衛生の専門職としての倫理観と高度な知識・技術を有する。						
<input type="checkbox"/>	④ 歯科衛生士として生涯にわたり継続して自己研鑽ができる。						
<input type="checkbox"/>	⑤ 長寿社会に対応した地域包括ケアを実践できる。						
学習成果(カリキュラム・ポリシー)							
<input type="checkbox"/>	① 全人の視点から口腔の健康支援をするための基礎教育と専門教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	② 豊かな人間性、社会性、コミュニケーション能力を養うための教養教育を行う。						
<input type="checkbox"/>	③ 協調性、責任感、奉仕の精神を身に付けるための臨床・臨地実習を行う。						
<input type="checkbox"/>	④ 専門化・高度化する保健・医療・福祉に対応するため自己研鑽能力を高める教育を行う。						
<input type="radio"/>	⑤ 国家資格取得を支援するための教育を行う。						
教科書	各教科 教本						
参考書							
アクティブラーニング(複数選択可)							
<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	ディベート	<input type="checkbox"/>	ディスカッション		
<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション				
<input type="checkbox"/>	その他()						
成績評価の方法と割合							
<input type="radio"/>	定期試験(100%)	<input type="checkbox"/>	提出物(ノート・レポート)(%)				
<input type="checkbox"/>	ポートフォリオ(%)	<input type="checkbox"/>	成果発表(口頭・実技)(%)				
<input type="checkbox"/>	その他()(%)						
1年学期末に実施される総合試験 Iにおいて、61点以上の獲得が進級審査の基準となる。							
オフィスアワー							
各授業担当者のメールアドレス *事前にメールで要予約							

授業回数	授業担当者	授業内容	行動目標 (SBOS)
第 1 回	各科目担当者	総合講義①	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 2 回	各科目担当者	総合講義②	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 3 回	各科目担当者	総合講義③	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 4 回	各科目担当者	総合講義④	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 5 回	各科目担当者	総合講義⑤	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 6 回	各科目担当者	総合講義⑥	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 7 回	各科目担当者	総合講義⑦	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	
第 8 回	各科目担当者	総合講義⑧	1) 国家試験に合格する知識を有する。
	準備学習	総合試験に向け、自分の苦手分野を分析したうえで聽講すること。	

